

昭和56事業年度

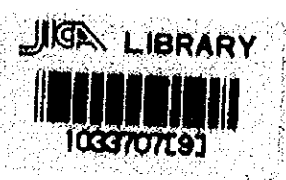
収入支出予算明細書

国藥協方事業所

昭和五十六事業年度 収入支出予算明細書

JICA
000
36
FA
LIBRARY

SC
000



国際協力事業団	
輸入 月日 87.6.22	000
登録No. 06099	561
	FAA

目

一般勘定収入	3
(款) 交付金収入	5
(款) 出資金収入	5
(款) 雑収入	5
(款) 他勘定より受入	18
一般勘定支出	19
(款) 管理費	21
I. 業務運営に必要な経費	21
1. 一般業務経費	21
(1) 人件費	21
(2) 管理経費	38
(3) 運営審議会経費	63
(4) 職員研修経費	84
2. 海外事務所に必要な経費	67
3. 国際協力計画調整調査及び効果測定経費	70
4. 情報管理に必要な経費	94
5. 電子計算機関係に必要な経費	101
6. 広報に必要な経費	108

次

7. 青年海外協力隊業務に必要な経費	113
(1) 協力隊事務局経費	113
(2) 駒ヶ根訓練所経費	119
II. 事業運営に必要な経費	122
1. 研修員受入業務経費	122
2. 帰国研修員アフターケア業務経費	125
3. 専門家フォローアップ業務経費	127
4. 専門家派遣業務経費	129
5. 機材供与事業経費	132
6. 技術協力センター業務経費	134
7. 開発調査事業経費	138
8. 保健医療協力事業経費	142
9. 農林業協力事業経費	147
10. 産業開発業務経費	150
11. 開発協力事業経費	153
12. 開発投融資事業経費	154
13. 賠償協力業務経費	156
14. 特殊機材仕様書等作成経費	158
III. 附属機関及び国内支所に必要な経費	161

1. 附属機関に必要な経費	161
(1) 国際研修センター業務に必要な経費	161
(2) 海外移住センター業務経費	167
(3) 海外移住研修所業務経費	172
2. 国内支部に必要な経費	177
IV. 予 備 費	182
(款) 海外技術協力事業費	183
1. 研 修 員 受 入 費	183
2. 専 門 家 派 遣 費	200
3. 開 発 調 査 費	213
4. 技術協力センター費	257
5. 機 材 供 与 費	274
6. 保健医療協力費	278
7. 人口家族計画協力費	304
8. 農 林 業 協 力 費	316
9. 専門家寄福利厚生費	341
10. 専門家養成確保費	346
11. 開 発 協 力 費	368
12. 産業開発協力費	385
13. 無償資金協力促進費	422

14. 青年海外協力隊派遣費	408
15. 技術協力事業調整費	435
(款) 海外移住事業費	436
1. 移住業務の調査統計に必要な経費	436
(1) 移住業務調査統計費	436
(2) 農業情報センター費	443
(3) 出資企業監督調査費	445
2. 海外移住知識の普及および相談施設に必要な経費	448
3. 訓練講習に必要な経費	463
4. 移住者の選出事業等に必要な経費	472
5. 移住者の援助指導に必要な経費	502
(1) 営 農 普 及 費	502
(2) 医療衛生対策費	538
(3) 教 育 対 策 費	556
(4) 生活環境整備費	572
(5) 道 路 対 策 費	579
(款) 出資金等施設整備費	584
国内研修施設勘定収入	589
国内研修施設勘定支出	595
開発投融資勘定収入	625
開発投融資勘定支出	629

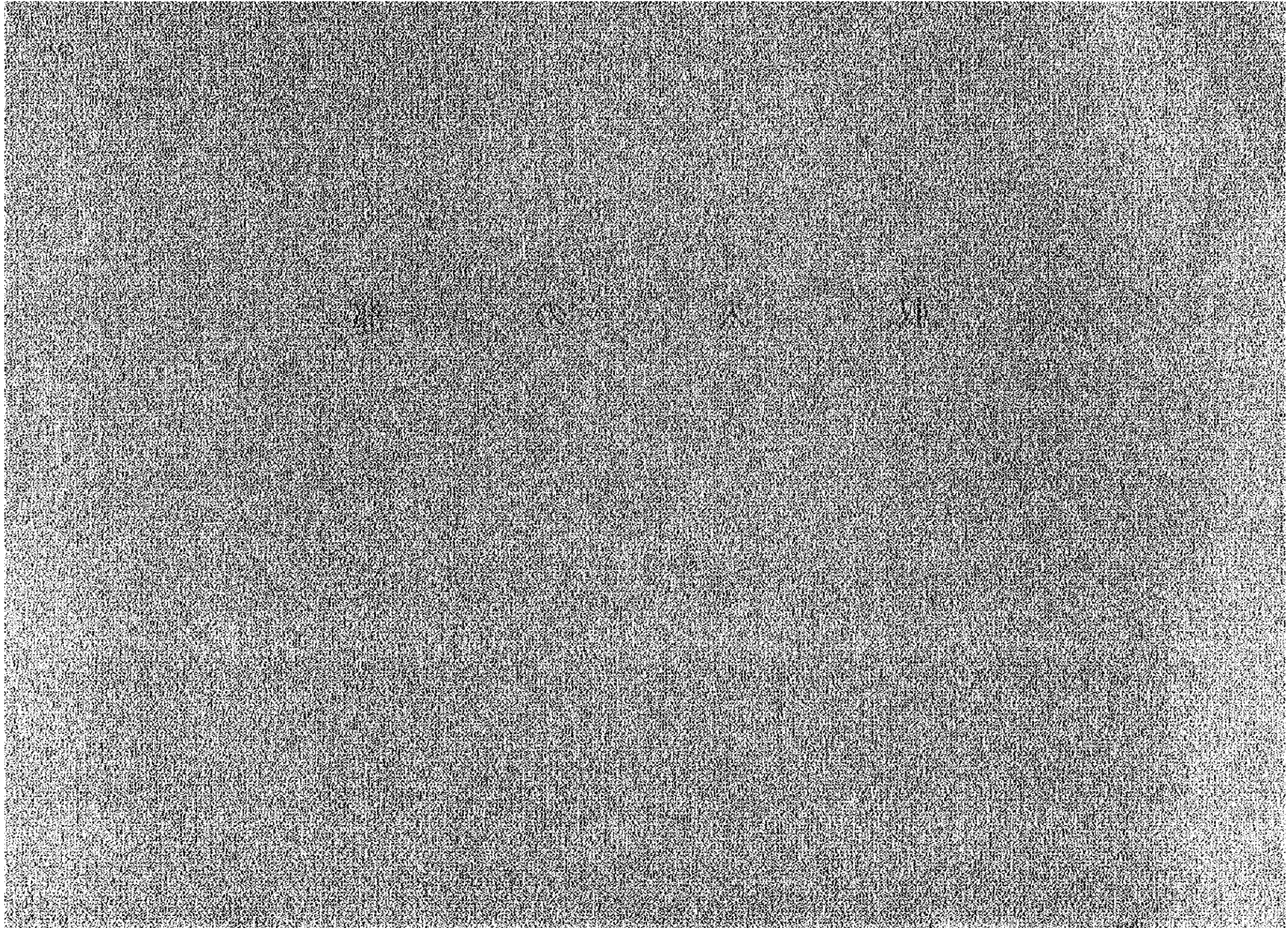
入植地勘定収入	635
入植地勘定支出	643
移住投融资勘定収入	663
移住投融资勘定支出	667
受託等事業勘定収入	673
(款) 受託事業収入	675
(款) 直営事業収入	676
受託等事業勘定支出	679
(款) 海外関係計画調査事業費	681
(款) 東南アジア漁業関係センター事業費	693
(款) 直営事業費	697

(参 考)

1. 昭和56年度一般勘定外職員定員表	705
2. 昭和56年度自己収入見合等の収入支出予算	706

一般動定

収入の部



(5)

(単位 千円)

事 項 及 び 科 目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	概 算 基 礎
(款) 交 付 金 収 入	(54,267,584) 54,585,038	61,010,570	6,425,532	(注) 前年度予算額欄の上段()内額は、補正後の予算額である。なお、前年度比較額は 当初予算額である。
(項) 管 理 費 収 入				
(目) 管 理 費 収 入	(9,450,643) 9,510,197	10,166,618	656,421	
(項) 海外技術協力事業費収入				
(目) 海外技術協力事業費収入	(43,089,924) 43,302,086	49,009,444	5,707,358	
(項) 海外移住事業費収入				
(目) 海外移住事業費収入	(1,721,077) 1,772,755	1,834,508	61,753	
(款) 出 資 金 収 入				
(項) 出 資 金 収 入				
(目) 出 資 金 収 入	(3,292,000) 3,341,000	4,260,000	919,000	
(款) 雑 収 入				
(項) 雑 収 入	(841,155) 841,155	1,142,196	301,041	
(目) 利 息 収 入	(353,297) 353,297	502,177	148,880	
(目) 所屬先給与補てん収入	(175,325) 175,325	197,025	21,700	技術協力派遣職員給与 $(333,000) \times (526.5) \div 555 \text{ 人月} = 197,025 (175,325)$

(6)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎																																																																					
(用)家賃収入	(74,517) 74,517	72,110	△ 2,407	1. 職員宿舍収入 33,498 (34,808)																																																																					
				(1) 東京地区																																																																					
				<table><thead><tr><th>職員住宅名</th><th>積算基礎</th><th>金額</th></tr></thead><tbody><tr><td>新原町田GH (1)</td><td>@ 11,500円 × 12月 × 3戸</td><td>414,000</td></tr><tr><td>新原町田GH (2)</td><td>@ 11,100円 × 12月 × 9戸</td><td>1,198,800</td></tr><tr><td>南海神田地</td><td>@ 11,700円 × 12月 × 2戸</td><td>280,800</td></tr><tr><td>面八王子ハイツ</td><td>@ 14,400円 × 12月 × 17戸</td><td>2,937,600</td></tr><tr><td>宮前平GH (1)</td><td>@ 10,700円 × 12月 × 4戸</td><td>513,600</td></tr><tr><td>宮前平GH (2)</td><td>@ 11,200円 × 12月 × 6戸</td><td>806,400</td></tr><tr><td>錦ヶ谷GH (1)</td><td>@ 10,500円 × 12月 × 10戸</td><td>1,260,000</td></tr><tr><td>錦ヶ谷GH (2)</td><td>@ 8,300円 × 12月 × 10戸</td><td>996,000</td></tr><tr><td>所沢住宅</td><td>@ 4,900円 × 12月 × 24戸</td><td>1,411,200</td></tr><tr><td>めじろ台ハイム</td><td>@ 14,200円 × 12月 × 10戸</td><td>1,704,000</td></tr><tr><td>京王北野M</td><td>@ 15,400円 × 12月 × 2戸</td><td>369,600</td></tr><tr><td>八王子セントラルM</td><td>@ 14,600円 × 12月 × 12戸</td><td>2,102,400</td></tr><tr><td>千人町光ハイム</td><td>@ 25,600円 × 12月 × 1戸</td><td>306,000</td></tr><tr><td>町屋ハイム</td><td>@ 12,800円 × 12月 × 12戸</td><td>1,843,200</td></tr><tr><td>宮前平ウィンザーハイム</td><td>@ 13,700円 × 12月 × 4戸</td><td>657,600</td></tr><tr><td>葛西第2スカイハイツ</td><td>@ 14,200円 × 12月 × 6戸</td><td>1,022,400</td></tr><tr><td>パイロットハウス東村山</td><td>@ 16,700円 × 12月 × 4戸</td><td>801,600</td></tr><tr><td>相模大野 (1)</td><td>@ 5,800円 × 12月 × 10戸</td><td>696,000</td></tr><tr><td>相模大野 (2)</td><td>@ 7,200円 × 12月 × 1戸</td><td>86,400</td></tr><tr><td>板岸住宅</td><td>@ 8,500円 × 12月 × 12戸</td><td>1,224,000</td></tr><tr><td>藤原町住宅</td><td>@ 15,700円 × 12月 × 2戸</td><td>376,800</td></tr><tr><td>三軒茶屋SH</td><td>@ 4,400円 × 12月 × 3戸 × 2人</td><td>316,800</td></tr></tbody></table>	職員住宅名	積算基礎	金額	新原町田GH (1)	@ 11,500円 × 12月 × 3戸	414,000	新原町田GH (2)	@ 11,100円 × 12月 × 9戸	1,198,800	南海神田地	@ 11,700円 × 12月 × 2戸	280,800	面八王子ハイツ	@ 14,400円 × 12月 × 17戸	2,937,600	宮前平GH (1)	@ 10,700円 × 12月 × 4戸	513,600	宮前平GH (2)	@ 11,200円 × 12月 × 6戸	806,400	錦ヶ谷GH (1)	@ 10,500円 × 12月 × 10戸	1,260,000	錦ヶ谷GH (2)	@ 8,300円 × 12月 × 10戸	996,000	所沢住宅	@ 4,900円 × 12月 × 24戸	1,411,200	めじろ台ハイム	@ 14,200円 × 12月 × 10戸	1,704,000	京王北野M	@ 15,400円 × 12月 × 2戸	369,600	八王子セントラルM	@ 14,600円 × 12月 × 12戸	2,102,400	千人町光ハイム	@ 25,600円 × 12月 × 1戸	306,000	町屋ハイム	@ 12,800円 × 12月 × 12戸	1,843,200	宮前平ウィンザーハイム	@ 13,700円 × 12月 × 4戸	657,600	葛西第2スカイハイツ	@ 14,200円 × 12月 × 6戸	1,022,400	パイロットハウス東村山	@ 16,700円 × 12月 × 4戸	801,600	相模大野 (1)	@ 5,800円 × 12月 × 10戸	696,000	相模大野 (2)	@ 7,200円 × 12月 × 1戸	86,400	板岸住宅	@ 8,500円 × 12月 × 12戸	1,224,000	藤原町住宅	@ 15,700円 × 12月 × 2戸	376,800	三軒茶屋SH	@ 4,400円 × 12月 × 3戸 × 2人	316,800
職員住宅名	積算基礎	金額																																																																							
新原町田GH (1)	@ 11,500円 × 12月 × 3戸	414,000																																																																							
新原町田GH (2)	@ 11,100円 × 12月 × 9戸	1,198,800																																																																							
南海神田地	@ 11,700円 × 12月 × 2戸	280,800																																																																							
面八王子ハイツ	@ 14,400円 × 12月 × 17戸	2,937,600																																																																							
宮前平GH (1)	@ 10,700円 × 12月 × 4戸	513,600																																																																							
宮前平GH (2)	@ 11,200円 × 12月 × 6戸	806,400																																																																							
錦ヶ谷GH (1)	@ 10,500円 × 12月 × 10戸	1,260,000																																																																							
錦ヶ谷GH (2)	@ 8,300円 × 12月 × 10戸	996,000																																																																							
所沢住宅	@ 4,900円 × 12月 × 24戸	1,411,200																																																																							
めじろ台ハイム	@ 14,200円 × 12月 × 10戸	1,704,000																																																																							
京王北野M	@ 15,400円 × 12月 × 2戸	369,600																																																																							
八王子セントラルM	@ 14,600円 × 12月 × 12戸	2,102,400																																																																							
千人町光ハイム	@ 25,600円 × 12月 × 1戸	306,000																																																																							
町屋ハイム	@ 12,800円 × 12月 × 12戸	1,843,200																																																																							
宮前平ウィンザーハイム	@ 13,700円 × 12月 × 4戸	657,600																																																																							
葛西第2スカイハイツ	@ 14,200円 × 12月 × 6戸	1,022,400																																																																							
パイロットハウス東村山	@ 16,700円 × 12月 × 4戸	801,600																																																																							
相模大野 (1)	@ 5,800円 × 12月 × 10戸	696,000																																																																							
相模大野 (2)	@ 7,200円 × 12月 × 1戸	86,400																																																																							
板岸住宅	@ 8,500円 × 12月 × 12戸	1,224,000																																																																							
藤原町住宅	@ 15,700円 × 12月 × 2戸	376,800																																																																							
三軒茶屋SH	@ 4,400円 × 12月 × 3戸 × 2人	316,800																																																																							

(7)

(単位 千円)

(単位 円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額

(8)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎	金額
				職員住宅名	
				ピアソ西宮	@ 13,000円 × 12月 × 1戸 156,000
				ルネ十里丘	@ 15,800円 × 12月 × 6戸 1,137,600
				メゾン新大阪 (1)	@ 6,300円 × 12月 × 2戸 127,200
				メゾン新大阪 (2)	@ 8,000円 × 12月 × 2戸 192,000
				メゾン新大阪 (3)	@ 9,300円 × 12月 × 2戸 223,200
				メゾン新大阪 (4)	@ 14,200円 × 12月 × 1戸 170,400
				名古屋センター	@ 9,600円 × 12月 × 1戸 115,200
				千種住宅	@ 12,300円 × 12月 × 1戸 147,600
				ハイツサンライズ	@ 16,600円 × 12月 × 1戸 199,200
				日進町住宅	@ 8,800円 × 12月 × 2戸 211,200
				平和ヶ丘サンハイツ	@ 25,000円 × 12月 × 1戸 300,000
				名鉄新栄町H	@ 17,000円 × 12月 × 1戸 204,000
				パールマンション金山	@ 16,000円 × 12月 × 1戸 192,000
				エスポアール社	@ 5,700円 × 12月 × 1戸 × 2人 136,800
				須磨一の谷GH (1)	@ 10,500円 × 12月 × 2戸 252,000
				須磨一の谷GH (2)	@ 11,100円 × 12月 × 1戸 133,200
				甲府本山コーポラス	@ 8,600円 × 12月 × 1戸 103,200
				(小計 3)	4873,200
				(4) 福岡・那覇	
				スカイマンション高宮	@ 19,100円 × 12月 × 1戸 229,200
				エグゼルH大濠公園北	@ 18,400円 × 12月 × 1戸 220,800
				ロイヤルマンション泉崎	@ 14,500円 × 12月 × 1戸 174,000
				(小計 4)	624,000

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎		
				(5) 借上職員住宅		
				職員住宅名	積算基礎	金額
				北海道(支)	@ 5,300円 × 12月 × 1戸	63,600
				東北(支)(1)	@ 4,800円 × 12月 × 1戸	57,600
				東北(支)(2)	@ 3,300円 × 12月 × 1戸	39,600
				東北(支)(3)	@ 15,400円 × 12月 × 1戸	184,800
				中国(支)(1)	@ 7,700円 × 12月 × 1戸	92,400
				中国(支)(2)	@ 5,900円 × 12月 × 1戸	70,800
				四国(支)	@ 8,600円 × 12月 × 1戸	103,200
				九州(支)(1)	@ 11,700円 × 12月 × 1戸	140,400
				九州(支)(2)	@ 7,800円 × 12月 × 1戸	93,600
				九州(支)(3)	@ 8,700円 × 12月 × 1戸	104,400
				九州(支)(4)	@ 16,000円 × 12月 × 1戸	192,000
				九州(支)(5)	@ 6,600円 × 12月 × 1戸	79,200
				九州(支)(6)	@ 4,200円 × 12月 × 1戸	50,400
				神奈川(他)(1)	@ 4,100円 × 12月 × 1戸	49,200
				神奈川(他)(2)	@ 5,000円 × 12月 × 1戸	60,000
				駒ヶ根(訓)	@ 6,700円 × 12月 × 1戸	80,400
				(小計 5)		1,461,600
				小計 (1) ~ (5)	33,498,000円	
				2. 厚生施設利用収入〔伊東及び那須保養所〕		
				@ 800円 × 376人 × 2泊	= 602 (552)	
				3. 派遣職員用借上げ住宅収入		38,010 (39,156)

事項及び科目		前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	演算基礎				契約期間
承造地区及び 氏名	住居手 当の号	住居手当の月額取戻額	契約家賃の月額		月数	年間借上げ住宅使用料		演算基礎	
			市賃	邦賃		市賃	邦賃		
ラングーン 武田	2	$518 \times 125\% = 647.50$	700	157,500	12	6,531	1,470,000	$(518 + 26.25) \times 12$ 月	57. 2. 1 ~ 58. 1. 31
ジャカルタ 宮本	1	$1,064 \times 125\% = 1,330$	1,350	303,750	12	12,888	2,900,000	$(1,064 + 10) \times 12$ 月	56. 9. 1 ~ 58. 8. 31
" 小島	2	$875 \times 125\% = 1,093.75$	900	202,500	12	10,800	2,430,000	875 × 12月	55. 5. 14 ~ 58. 5. 13
" 後藤	2	$875 \times 125\% = 1,093.75$	750	168,750	8	6,000	1,350,000	750 × 8月	53. 11. 10 ~ 56. 11. 10
" "	2	"	1,100	244,500	4	3,500	784,500	875 × 4月	56. 11. 11 ~ 59. 11. 10
" 内田	3	$760 \times 125\% = 950$	770	173,250	12	9,120	2,052,000	760 × 12月	54. 7. 27 ~ 57. 7. 26
" 渡田	3	$760 \times 80\% \times 125\% = 760$	700	157,500	11	6,688	1,505,000	608 × 11月	54. 2. 16 ~ 57. 2. 15
" "	3	"	760	171,000	1	760	171,000	760 × 1月	57. 2. 16 ~ 60. 2. 14
" 杉原	11	$647 \times 125\% = 808.75$	725	163,125	12	7,464	1,746,900	647 × 12月	55. 10. 4 ~ 58. 10. 3
ダツカ 村越	1	$862 \times 125\% = 1,077.50$	700	157,500	4	2,800	630,000	700 × 4月	55. 8. 10 ~ 56. 8. 9
" "	"	"	1,080	243,000	8	8,640	1,944,000	1,080 × 8月	56. 8. 10 ~ 57. 8. 9
" 海老名	3	$676 \times 80\% \times 105\% = 616$	626	140,850	12	5,973.00	1,346,000	$(492.00 + 5) \times 12$ 月	54. 9. 10 ~ 57. 9. 9
リヤド 小森	4	$D.7,831.2 \times 125\% = D.9,788.80 / 49,224.52$	4,255	957,375	12	51,060	11,488,500	4,255 × 12月	54. 11. 1 ~ 57. 10. 31
ダレサラム 谷川	2	$304 \times 125\% = 380$	342.00	77,157	12	3,612	812,700	304 × 12月	55. 7. 1 ~ 57. 12. 31
ブラジリア 榎谷	2	$528 \times 105\% = 660$	564.50	127,016	6	3,168	712,800	528 × 6月	55. 10. 23 ~ 56. 10. 22
" "	2	"	683.00	153,900	6	3,237.00	729,000	$(528 + 11.93) \times 6$ 月	56. 10. 23 ~ 57. 10. 22
" 清水	3	$459 \times 125\% = 573.75$	574.19	129,200	8	3,672	826,200	459 × 8月	55. 11. 21 ~ 56. 11. 20
" "	3	"	689.00	155,100	4	2,048	461,000	$\{459 + (240,300 \times 5\%)\} \times 4$ 月	56. 11. 21 ~ 57. 11. 20
小 計						148,264.18	33,361,600		
ダツカ 協和隊	3	$616 \times 125\% = 770$	600	135,000	12	7,200	1,620,000	600 × 12月	54. 11. 1 ~ 57. 10. 31
ルサカ "	2	$627 \times 125\% = 783.75$	878.00	198,000	12	8,095	1,822,000	$(627 + 47.52) \times 12$ 月	57. 7. 1 ~ 57. 12. 31
ブライヤ "	2	$363 \times 125\% = 453.75$	711.57	160,100	12	5,362	1,206,000	$\{363 + (354,700 \times 5\%)\} \times 12$ 月	54. 9. 1 ~ 57. 8. 31
小 計						20,657	4,648,000		
合 計						168,921.18	38,009,600		

(単位: 千円)

事 項 及 科 目	前年度予算額	昭和56年度 予 算 額	対前年度比較 増△減額	項 算 基 礎
(目) 施設利用収入	(5,122) 5,122	3,627	△ 1,495	1. 宿泊料収入
				(1) 移住センター (横浜・沖縄)
				(400) 450円 × 650人 = 293 (480)
				(600) 650円 × 350人 = 227 (360)
				小 計 520 (840)
				(2) 海外移住研修所
				(400) 450円 × 100人 = 45 (40)
				(600) 650円 × 100人 = 65 (60)
				小 計 110 (100)
				計 (1) + (2) 630 (940)
				2. 宿泊者食費収入
				(1) 移住センター (横浜・沖縄)
				(1,020) 1,110円 × 1,000人 = 1,110 (1,836)
				(2) 海外移住研修所
				講 師 (1,020) 1,110円 × 100人 = 111 (102)
				職 員 (1,020) 1,110円 × 300日 × 5人 = 1,665 (2,142)
				外 部 (1,020) 1,110円 × 100人 = 111 (102)
				小 計 1,887 (2,346)
				計 (1) + (2) 2,997 (4,182)
				合 計 1 + 2 3,627 (5,122)

(22)

(単位 千円)

事 項 及 び 科 目	前年度予算額	昭和56年度 予 算 額	対前年度比較 増△減額	積 算 基 礎
(目) 海外移住研修所収入	(5,848) 5,848	5,321	△ 527	1. 園 場 (野菜、果樹) 198 (184) 2. 温 室 (切花、鉢物) 470 (436) 3. 畜 産 (1) 肥 育 豚 $\frac{(40,000)}{43,000 \text{ 円}} \times 70 \text{ 頭} = 3,010 (3,200)$ (2) ブロイラー $\frac{(600)}{650 \text{ 円}} \times 500 \text{ 羽} = 325 (360)$ (3) 鶏 卵 $\frac{(310)}{20 \text{ 円}} \times 235 \text{ 個} \times 240 \text{ 日} = 1,128 (1,488)$ (4) 肥 育 牛 $\frac{(180,000)}{190,000 \text{ 円}} \times 1 \text{ 頭} = 190 (180)$ 小 計 (1) ~ (4) 4,653 (5,228) 合 計 1 ~ 3 5,321 (6,848)
(目) 農 場 収 入	(20,964) 20,964	22,250	1,286	1. 海 外 分 (1) パラグアイ農業総合試験場 本場 イ、畜産売却収入 サントヘルトルデイス(産牛) $\frac{(53,760)}{58,060 \text{ 円}} \times 10 \text{ 頭} = 581 (538)$ サントヘルトルデイス(育成牛) $\frac{(40,320)}{43,550 \text{ 円}} \times 20 \text{ 頭} = 871 (806)$ ネローレ産(育成牛) $\frac{(26,880)}{29,030 \text{ 円}} \times 10 \text{ 頭} = 290 (269)$ 小 計 1,742 (1,613) ロ、蘭売却収入 $\frac{(420)}{4,500 \text{ 円}} \times 3 \text{ 箱} \times 2 \text{ 日} \times \frac{25 \text{ kg}}{\text{箱}} = 68 (63)$ 計 1,810 (1,676)

(単位 千円)

事 項 及 び 科 目	前年度予算額	昭和56年度 予 算 額	対前年度比較 増△減額	積 算 基 礎
				(2) パラグアイ農業総合試験場 アルトパラナ分場
				イ、雑作物売却収入
				大豆 $\frac{(53)}{60 \text{ 円}} \times \frac{(60,000)}{53,170 \text{ kg}} = 3,190 (3,180)$
				とうもろこし $\frac{(21)}{25 \text{ 円}} \times 25,000 \text{ kg} = 625 (525)$
				小麦 $\frac{(53)}{60 \text{ 円}} \times 21,600 \text{ kg} = 1,296 (1,145)$
				計 5,111 (4,850)
				(3) スエーデンペランサ畜産試験農場
				イ、畜類売却収入
				雑牛(鹿牛) $\frac{(33,920)}{38,630 \text{ 円}} \times 20 \text{ 頭} = 133 (678)$
				パールドスイス(育成牛) $\frac{(20,580)}{22,230 \text{ 円}} \times 20 \text{ 頭} = 445 (412)$
				小 計 1,178 (1,090)
				ロ、薬品販売収入 $\frac{(116)}{130 \text{ 円}} \times 4,000 \text{ 頭} = 520 (464)$
				ハ、往診料収入 $\frac{(168)}{180 \text{ 円}} \times 10 \text{ 件} \times 12 \text{ 月} = 22 (20)$
				計 1,720 (1,574)
				(4) サンタクルス支部 サンファン試験農場
				イ、畜類売却収入
				牛(鹿牛) $\frac{(33,920)}{38,630 \text{ 円}} \times 4 \text{ 頭} = 147 (136)$
				牛(育成牛) $\frac{(25,410)}{27,440 \text{ 円}} \times 9 \text{ 頭} = 247 (229)$
				小 計 394 (365)
				ロ、農産物売却収入

(14)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				種子類 $\begin{matrix} (74) \\ 80 \text{ 円} \times 9,200 \text{ Kg} = \end{matrix}$ 736 (681)
				大豆 $\begin{matrix} (74) \\ 80 \text{ 円} \times 11,000 \text{ Kg} = \end{matrix}$ 880 (814)
				ボンカン $\begin{matrix} (11) \\ 15 \text{ 円} \times 14,200 \text{ 個} = \end{matrix}$ 213 (264)
				柑 橘 $\begin{matrix} (5) \\ 10 \text{ 円} \times 10,000 \text{ 個} = \end{matrix}$ 100 (50)
				マ ン ゴ $\begin{matrix} (3) \\ 5 \text{ 円} \times 10,000 \text{ 個} = \end{matrix}$ 50 (30)
				マカダミアナッツ $\begin{matrix} (347) \\ 370 \text{ 円} \times 300 \text{ Kg} = \end{matrix}$ 111 (104)
				果樹苗木 $\begin{matrix} (683) \\ 740 \text{ 円} \times 100 \text{ 本} = \end{matrix}$ 74 (68)
				小 計 2,164 (2,011)
				計 2,558 (2,376)
				(5) アマゾンア熱帯農業総合試験場
				(イ) 胡椒売却収入 $\begin{matrix} (420) \\ 450 \text{ 円} \times 17,000 \text{ Kg} = \end{matrix}$ 7,650 (7,140)
				(ロ) 胡椒苗木売却収入 $\begin{matrix} (32) \\ 35 \text{ 円} \times 5,000 \text{ 本} = \end{matrix}$ 175 (160)
				(ハ) 畜産売却収入
				仔 豚 $\begin{matrix} (6,510) \\ 7,030 \text{ 円} \times 11 \text{ 頭} = \end{matrix}$ 77 (72)
				鶏 卵 $\begin{matrix} (16) \\ 20 \text{ 円} \times 12,000 \text{ 個} = \end{matrix}$ 240 (192)
				肉 鶏 $\begin{matrix} (515) \\ 560 \text{ 円} \times 500 \text{ 羽} \times 1.5 \text{ Kg/羽} = \end{matrix}$ 420 (386)
				小 計 737 (650)
				(ニ) 土壌検査手数料収入 $\begin{matrix} (1,281) & (400) \\ 1,380 \text{ 円} \times 2.63 \text{ 点} = \end{matrix}$ 363 (512)
				計 8,925 (8,462)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	前年度比 増△減額	決算 基 礎																																					
(6) アルゼンチン園芸センター																																									
イ) 販売収入																																									
カーネーション苗				(14) (100,000) 20円 × 75,000本 = 1,500 (1,400)																																					
合 計 (1) ~ (6)				21,624 (20,338)																																					
2. 国 内 分																																									
筑波農業センター農場実習による収穫物換金収入																																									
米				200円 × 2,050Kg = 410 (410)																																					
芝 葉 類				216 (216)																																					
合 計				626 (626)																																					
総 計 1 + 2				22,250 (20,964)																																					
(田) 医 療 収 入	54,257	58,522	4,265																																						
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>支部及び診療所</th><th>区 分</th><th>数 量</th><th>単 価(円)</th><th>金 額(千円)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(ベレン支部)</td><td>初 診 料</td><td>3,000</td><td>(1,550) 1,670</td><td>(4,650) 5,010</td></tr> <tr> <td>再 診 料</td><td>600</td><td>(1,170) 1,260</td><td>(702) 756</td></tr> <tr> <td rowspan="2">第2トリアス診療所</td> <td>往 診 料</td><td>300</td><td>(2,320) 2,500</td><td>(696) 750</td></tr> <tr> <td>処 置 料</td><td>2,000</td><td>(1,550) 1,670</td><td>(3,100) 3,340</td></tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>注 射 料</td><td>3,000</td><td>(120) 130</td><td>(360) 390</td></tr> <tr> <td>入 院 料</td><td>600</td><td>(1,550) 1,670</td><td>(930) 1,002</td></tr> <tr> <td></td> <td>薬 品 代</td><td>12月</td><td>(545,160) 587,510</td><td>(6,542) 7,050</td></tr> </tbody> </table>	支部及び診療所	区 分	数 量	単 価(円)	金 額(千円)	(ベレン支部)	初 診 料	3,000	(1,550) 1,670	(4,650) 5,010	再 診 料	600	(1,170) 1,260	(702) 756	第2トリアス診療所	往 診 料	300	(2,320) 2,500	(696) 750	処 置 料	2,000	(1,550) 1,670	(3,100) 3,340		注 射 料	3,000	(120) 130	(360) 390	入 院 料	600	(1,550) 1,670	(930) 1,002		薬 品 代	12月	(545,160) 587,510	(6,542) 7,050
支部及び診療所	区 分	数 量	単 価(円)	金 額(千円)																																					
(ベレン支部)	初 診 料	3,000	(1,550) 1,670	(4,650) 5,010																																					
	再 診 料	600	(1,170) 1,260	(702) 756																																					
第2トリアス診療所	往 診 料	300	(2,320) 2,500	(696) 750																																					
	処 置 料	2,000	(1,550) 1,670	(3,100) 3,340																																					
	注 射 料	3,000	(120) 130	(360) 390																																					
	入 院 料	600	(1,550) 1,670	(930) 1,002																																					
	薬 品 代	12月	(545,160) 587,510	(6,542) 7,050																																					

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	前年度比較 増△減額	積算基礎				
				支所及び診療所	区分	数量	単価(円)	金額(千円)
					雑収入			(912) 984
					計			(17,892) 19,282
				(アスンシオン支部) フラム診療所	初診料	500人	(300) 320	(150) 160
					再診料	2,000	(150) 160	(300) 320
					往診料	500	(590) 630	(295) 315
					処置料	2,500	(590) 630	(1,475) 1,575
					注射料	2,000	(300) 320	(600) 640
					入院料	500	(300) 320	(150) 160
					薬品代	12月	(163,800) 175,120	(1,966) 2,101
					雑収入			(2,081) 2,225
					計			(7,017) 7,496
				(アスンシオン支部) アルト・ペラナ診療所	初診料	1,000人	(300) 320	(300) 320
					再診料	3,000	(150) 160	(450) 480
					往診料	1,250	(590) 630	(738) 788
					処置料	5,000	(590) 630	(2,950) 3,150
					注射料	3,500	(300) 320	(1,050) 1,120

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
				支所及び診療所	区分	数量	単価(円)	金額(千円)
					処置料	1,500人	(660) 730	(990) 1,095
					注射料	2,500	(200) 220	(500) 550
					入院料	1,200	(300) 330	(360) 396
					薬品代	12月	(455,600) 503,720	(5,467) 6,045
					雑収入			(332) 378
					計			(9,904) 10,950
				合 計				(54,257) 58,522
(目) 不動産売却収入	(39,000) 39,000	170,000	131,000	内原副産農業研修センター跡地売却収入				
(目) 有償技術協力事業収入	(90,000) 90,000	86,800	△ 3,200	有償専門会議遠隔費 交付金負担 相手面負担 221,689 - 134,889 = 86,800				
(目) 雑 収 入	(22,825) 22,825	24,364	1,539	雇用保険料繰り金 $4,429,935 \times \frac{5.5}{1,000} = 24,364$				
(款) 他勘定より受入								
(項) 他勘定より受入								
(目) 他勘定より受入	(3,601) 3,601	184,902	181,301					

支出の部



(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
(款) 管 理 費	(10,077,233) 10,136,787	10,762,720	826,133	
I 業務運営に必要経費	(8,802,878) 8,837,614	7,577,280	759,606	
1 一般業務経費	(7,520,723) 7,527,727	8,106,016	578,087	
(1) 人 件 費	(6,301,084) 6,301,084	6,823,333	522,249	
(2) 既定定員分	(6,301,084) 6,301,084	6,801,762	500,078	
(3) 役職員給与	(5,991,399) 5,991,399	6,457,402	468,003	
(4) 役員給与	(213,269) 213,269	229,772	16,503	(1) 役員俸給
				総 裁 1,041,000円 × 1人 × 12月 = 12,492 (12,060)
				副総裁 855,000円 × 2人 × 12月 = 20,520 (19,800)
				理 事 715,000円 × 11人 × 12月 = 94,380 (91,080)
				監 事 625,000円 × 2人 × 12月 = 15,000 (14,472)
				計 153,062 (137,412)
				(2) 特別調整手当
				11,866千円 × 0.08 × 12月 = 12,245 (10,331)
				(3) 特別手当
				11,866千円 × 1.08 × 3.8月 = 48,702 (47,442)
				割増分 11,866千円 × 0.25 × 3.8月 = 11,274 (10,223)
				計 64,465 (57,665)
				(4) 在勤基本手当 (前年度繰り) 0 (3,744)
				(5) 配偶者手当 (") 0 (2,403)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
				(6) 在外住居手当 (前年度限り) (2,403) (7) 子女教育手当 () (216) 合 計 (1) ~ (7) 229,772 (213,269)
(目) 職員基本給	(2,835,120) 2,835,120	3,008,268	173,148	(1) 職員俸給 (イ) 一 般 $\frac{(244,272)}{259,361 \text{ 円}} \times (775 - 5 + 1)^{\wedge} \times 12 \text{ 月} = 246,855 (2,317,950)$ (ロ) 派遣職員 $\frac{(244,272)}{259,361 \text{ 円}} \times \frac{80}{100} \times (85 - 1)^{\wedge} \times 12 \text{ 月} = 202,149 (199,326)$ ハ) 現採職員 伯国専門職 $\frac{(196,063)}{209,218 \text{ 円}} \times 41^{\wedge} \times 12 \text{ 月} = 102,935 (96,463)$ “ 一般職 $\frac{(170,906)}{182,373 \text{ 円}} \times (10 - 3)^{\wedge} \times 12 \text{ 月} = 15,319 (20,509)$ その他専門職 $\frac{(196,063)}{209,218 \text{ 円}} \times 40^{\wedge} \times 12 \text{ 月} = 100,425 (94,111)$ “ 一般職 $\frac{(170,906)}{182,373 \text{ 円}} \times (10 - 1)^{\wedge} \times 12 \text{ 月} = 19,676 (20,509)$ 小 計 238,375 (231,592) 計 (1) ~ ハ) 2,709,379 (2,748,868) (2) 扶養手当 $\frac{(8,185)}{9,418 \text{ 円}} \times (775 - 5 + 1 + 85 - 1)^{\wedge} \times 12 \text{ 月} = 98,889 (86,252)$ 合 計 (1) ~ (2) 3,008,268 (2,835,120)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
(目)職責手当	(2,163,251) 2,163,251	2,375,550	212,299	(1) 管理職手当 $\frac{(8,345)}{2,964 \text{ 円}} \times (795 + 1 + 85 - 1) \times 12 \text{ 月} = 105,220 (98,320)$ (2) 通勤手当 $\frac{(7,067)}{2,650 \text{ 円}} \times (795 - 5 + 1) \times 12 \text{ 月} = 75,314 (67,145)$ (3) 宿日直手当 (海外移住センター 2人、海外移住研修所 1人、沖縄支部 1人、協力隊 4人) (イ) 宿日直 $2,400 \text{ 円} \times 8 \times 52 \text{ 月} = 999 (999)$ (ロ) 宿直 $1,600 \text{ 円} \times 8 \times 313 \text{ 日} = 4,007 (4,007)$ (ハ) 日直 $1,600 \text{ 円} \times 8 \times 68 \text{ 日} = 857 (871)$ 計 (イ) ~ (ハ) $5,863 (5,877)$ (4) 特別手当 (イ) 一般職 $\frac{\text{職責手当}}{(2,461,855 \text{ 円} + 98,889 \text{ 円})} \times 1,0165 \times \frac{4.9}{12} = 1,062,890 (997,179)$ $\text{増加分} \frac{\text{職責手当}}{2,461,855 \text{ 円}} \times (0.01) = 27,080 (23,180)$ 小計 $1,089,970 (1,020,359)$ (ロ) 派遣職員 $\frac{\text{職責}}{2,021,49 \text{ 円}} \times \frac{4.9}{12} = 85,403 (81,392)$ (ハ) 現採職員 $\text{伯 國} \frac{\text{専門職手当 (一般職手当)}}{(1,02,925 \text{ 円} + 15,319 \text{ 円})} \times \frac{1.5}{12} = 14,782 (14,622)$

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
				$\frac{\text{専門職待遇} - \text{一般職待遇}}{\text{その他}} = \frac{(100,425 \text{ 千円} + 12,678 \text{ 千円}) \times \frac{1}{12}}{10,010} = 2,552$
				小計 24,772 (24,174)
				計 (イ) ~ (ハ) 1,200,165 (1,125,925)
				(5) 寒冷地手当
				(イ) 一般寒冷地手当
				$\begin{aligned} & \text{3級地} \quad \frac{\text{職責俸給単価} - \text{扶養手当単価}}{(252,361 \text{ 円} + 2,418 \text{ 円}) \times \frac{30}{100} \times 10 \text{ 人}} = 806 (1,137) \\ & \text{2級地} \quad \frac{\text{職責俸給単価} - \text{扶養手当単価}}{(252,361 \text{ 円} + 2,418 \text{ 円}) \times \frac{23}{100} \times 8 \text{ 人}} = 425 (707) \\ & \text{1級地} \quad \frac{\text{職責俸給単価} - \text{扶養手当単価}}{(252,361 \text{ 円} + 2,418 \text{ 円}) \times \frac{17}{100} \times 15 \text{ 人}} = 674 (747) \end{aligned}$
				(ロ) 定額部分
				$\begin{aligned} & \text{3級地} \quad 63,100 \text{ 円} \times 10 \text{ 人} = 631 (268) \\ & \text{2級地} \quad 49,100 \text{ 円} \times 8 \text{ 人} = 393 (161) \\ & \text{1級地} \quad 36,100 \text{ 円} \times 15 \text{ 人} = 742 (252) \end{aligned}$
				(ハ) 北海道分
				$81,600 \text{ 円} \times 6 \text{ 人} = 313 (185)$
				(ニ) 3級地及び2級地(除く北海道)
				$\begin{aligned} & \text{3級地} \quad 26,100 \text{ 円} \times 4 \text{ 人} = 68 (44) \\ & \text{2級地} \quad 13,000 \text{ 円} \times 8 \text{ 人} = 67 (44) \end{aligned}$
				計 (イ) ~ (ニ) 4,207 (3,745)
				(6) 住居手当
				$\begin{aligned} & (2,893) \\ & 2,900 \text{ 円} \times (795 - 5 + 1) \text{ 人} \times 12 \text{ 月} = 27,492 (27,478) \end{aligned}$

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
				(7) 特別都市手当 一般職賃金給) 扶養手当 管理職手当 (0.0163) (246,855千円 + 98,889千円 + 105,220千円) × 0.0165 = 43,988 (40,792)
				(8) 通勤基本手当 (イ) 56人 イラン基準 テヘラン $283,100 \text{円} \times (55\% + 1\%) \times 12 \text{月} = 190,243 (158,519)$ (ロ) 84人 パラグアイ アスンシオン 基準 $243,300 \text{円} \times (85\% - 1\%) \times 12 \text{月} = 245,219 (218,484)$ 計 (イ) ~ (ロ) 435,462 (377,003)
				(9) 配偶者手当 (イ) 56人 イラン基準 テヘラン $283,100 \text{円} \times \frac{40}{100} \times (55\% + 1\%) \times 12 \text{月} = 76,097 (63,410)$ (ロ) 84人 パラグアイ アスンシオン 基準 $243,300 \text{円} \times \frac{40}{100} \times (85\% - 1\%) \times 12 \text{月} \times \frac{87}{100} = 85,337 (76,033)$ 計 (イ) ~ (ロ) 161,434 (139,443)
				(10) 在外住居手当 (イ) 56人 イラン基準 テヘラン $SF 4765 \times 132 \text{円} \times \frac{50}{100} \times (55\% + 1\%) \times 12 \text{月} = 211,337 (181,459)$

(26)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比増△減額	(単位 千円) 積算基礎
				(Ⅱ) 84人 パラグライアシオン 基準 $4.5\% \times 464 \times 217 \text{円} \times (85\% - 1\%) \times 12 \text{月} \times \frac{70}{100} = 70,947 (65,546)$ 計 (Ⅰ) ~ (Ⅲ) 282,284 (247,005) (11) 子女教育手当 (イ) 56人 イラン 基準 $20,900 \text{円} \times (55\% + 1\%) \times 12 \text{月} \times \frac{1}{3} = 4,682 (3,906)$ (ロ) 84人 パラグライアシオン 基準 $20,900 \text{円} \times (85\% - 1\%) \times 12 \text{月} \times \frac{4.2}{100} = 8,656 (7,712)$ 計 (イ) ~ (ロ) 13,338 (11,618) (12) 租税負担金 (借入金及びサント・ドミンゴ支那職員所得税) $410,159 \text{円} \times \frac{\left(\frac{39\% \times 12 \text{月}}{85\% \times 12 \text{月}} \right) \times \frac{(39\% - 1\%) \times 12 \text{月}}{(85\% - 1\%) \times 12 \text{月}}}{1} \times 11.2\% = 20,781 (18,900)$ 合 計 (Ⅰ) ~ (12) 2,375,550 (2,163,251)
(Ⅲ) 超運動者手当	(219,149) 219,149	232,402	13,253	一般職員給与率価 特別勤務手当率価 $\frac{259,381 \text{円} + 4,599 \text{円}}{52 \times 44} \times 12 \text{月} \times 1.25 = 1,730.51 \text{円}$ (イ) $\frac{(1,629.41)}{1,730.51} \text{円} \times (534 - 2 + 5 + 1) \times 12 \text{月} \times 15 \text{円} = 167,583 (157,091)$ (ロ) $\frac{(1,629.41)}{1,730.51} \text{円} \times (59 - 3) \times 12 \text{月} \times 10 \text{円} = 11,629 (11,539)$

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	概算基礎
				$(1,629.41)$ $1,730.51 \text{ 円} \times (6,000 \text{ H} + 5,000 \text{ H} + 5,000 \text{ H} + 4,000 \text{ H})$ $= 34,610 (32,589)$
				計 213,822 (201,211)
				(II) 現採職責専門職
				$\text{伯 岡} \frac{209,218 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} \times 1.25}{52 \times 44} = 1,371.62 \text{ 円}$ $(1,285.38)$ $1,371.62 \text{ 円} \times 41 \text{ 人} \times 10 \text{ H} \times 12 \text{ 月} = 6,748 (6,325)$ $(1,258.38)$ $1,371.62 \text{ 円} \times 2,200 \text{ H} \times \frac{41 \text{ 人}}{97 \text{ 人}} = 1,275 (1,148)$
				$\text{その他} \frac{209,218 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} \times 1.25}{52 \times 44} = 1,371.62 \text{ 円}$ $(1,285.38)$ $1,371.62 \text{ 円} \times 40 \text{ 人} \times 10 \text{ H} \times 12 \text{ 月} = 6,584 (6,170)$ $(1,285.38)$ $1,371.62 \text{ 円} \times 2,200 \text{ H} \times \frac{40 \text{ 人}}{97 \text{ 人}} = 1,244 (1,120)$
				計 15,851 (14,763)
				(III) 現採職責一般職
				$\text{伯 岡} \frac{182,373 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} \times 1.25}{52 \times 44} = 1,195.63 \text{ 円}$ $(1,120.45)$ $1,195.63 \text{ 円} \times (10-3) \text{ 人} \times 10 \text{ H} \times 12 \text{ 月} = 1,004 (1,345)$ $(1,120.45)$ $1,195.63 \text{ 円} \times 2,200 \text{ H} \times \frac{7 \text{ 人}}{97 \text{ 人}} = 190 (244)$
				$\text{その他} \frac{182,373 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} \times 1.25}{52 \times 44} = 1,195.63 \text{ 円}$ $(1,120.45)$ $1,195.63 \text{ 円} \times (10-1) \text{ 人} \times 10 \text{ H} \times 12 \text{ 月} = 1,291 (1,345)$

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
				$\frac{(1,120.45)}{1,175.63} \text{円} \times 2,200 \text{人} \times \frac{9人}{97人} = 244 (244)$
				計 2,729 (3,178)
				合計 (イ) ~ (ロ) 232,402 (219,149)
(甲)休職者給与	(2,381) 2,381	2,959	578	$\text{俸給} \frac{(244,272)}{252,361 \text{円}} \times \frac{80}{100} \times 4人 \times 12 \text{月} = 2,959 (2,381)$
(目)法定福利費	(547,484) 547,484	600,130	52,646	(1)健康保険料 (イ)役員分 $(380 \text{円} \times 16人 \times 6 \text{月} \times \frac{47}{1,000}) + (470 \text{円} \times 16人 \times 6 \text{月} \times \frac{47}{1,000}) = 3,835 (3,565)$ (ロ)一般分 一般職俸給 派遣職俸給 扶養手当 管理職手当 通勤手当 $(246,855 \text{円} + 202,149 \text{円} + 98,889 \text{円} + 105,220 \text{円} + 75,314 \text{円})$ 宿日直手当 住居手当 特別給付手当 在勤基本手当 雑費手当 $+ 5,863 \text{円} + 27,492 \text{円} + 43,988 \text{円} + 435,462 \text{円} + 161,434 \text{円}$ 子女教育手当 超過勤務手当 $+ 13,338 \text{円} + 213,822 \text{円}) \times \frac{47}{1,000} = 155,267 (133,717)$ 計 (イ) ~ (ロ) 159,102 (137,282) (2)厚生年金保険料 (イ)役員分 $410 \text{円} \times 16人 \times 12 \text{月} \times \frac{37}{1,000} = 2,913 (2,822)$ (ロ)一般分 一般職俸給 派遣職俸給 扶養手当 管理職手当 通勤手当 $(246,855 \text{円} + 202,149 \text{円} + 98,889 \text{円} + 105,220 \text{円} + 75,314 \text{円})$ 宿日直手当 住居手当 特別給付手当 超過勤務手当 $+ 5,863 \text{円} + 27,492 \text{円} + 43,988 \text{円} + 213,822 \text{円}) \times \frac{37}{1,000}$ $= 119,918 (112,642)$ 計 (イ) ~ (ロ) 122,831 (115,464)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増減額	積算基礎
				(3) 厚生年金基金
				(i) 役員分 $410千円 \times 16人 \times 12月 \times = 2,713(2,759)$
				(ii) 一般分
				一般職員俸給 退職職員俸給 扶養手当 管理職手当 通勤手当 (2,461,855千円 + 202,149千円 + 98,889千円 + 105,220千円 + 25,314千円 病日退手当 住居手当 特別都市手当 超通勤手当 + 5,863千円 + 27,492千円 + 43,988千円 + 213,822千円) $\times \frac{37}{1,000}$ $= 11,8918(105,032)$
				計 (i) ~ (ii) 122,831(107,791)
				(4) 雇用保険料
				(i) 一般職員俸給 退職職員俸給 扶養手当 管理職手当 通勤手当 (2,461,855千円 + 202,149千円 + 98,889千円 + 105,220千円 + 25,314千円 病日退手当 一般職員特別手当 退職職員特別手当 寒地手当 住居手当 5,863千円 + 1,082,970千円 + 85,403千円 + 4,209千円 + 27,492千円 特別都市手当 超通勤手当 + 43,988千円 + 213,822千円) $\times \frac{8.5}{1,000} = 37,580(37,349)$
				(ii) 課税入見合分 $4,421,174 \times \frac{5.5}{1,000} = 24,316(22,825)$
				計 (i) ~ (ii) 61,896(60,174)
				(5) 労働災害保険料
				(i) 国内分
				一般職員俸給 扶養手当 管理職手当 通勤手当 病日退手当 (2,461,855千円 + 98,889千円 + 105,220千円 + 25,314千円 + 5,863千円 一般職員特別手当 寒地手当 住居手当 特別都市手当 超通勤手当 1,082,970千円 + 4,209 + 27,492千円 + 43,988千円 + 213,822千円) $\times \frac{5}{1,000} = 20,633(19,346)$
				(ii) 海外分 $2,555,000千円 \times \frac{11}{1,000} \times 140人 = 3,935(3,993)$

(30)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎 (単位:千円)
				計 (イ) ~ (ロ) 24,568 (23,339)
				(6) 共済組合員組合 $\frac{1358,745}{382,816 \text{ 円}} \times 97 \times \frac{71.5}{1000} \times 12 \text{ 月} = 31,658 (29,857)$
				(7) 派遣職員共済給付制度負担金 $283,100 \text{ 円} \times \frac{140}{100} \times 56 \times \frac{1}{12} \times \frac{12}{1000} = 3,212 (2,224)$
				(8) 派遣職員福利厚生基金付金 派遣職員俸給 $\frac{(199,326)}{209,149 \text{ 千円}} \times \frac{35}{1000} = 7,320 (6,977)$
				(9) 公務災害補償費 (イ) 5,000 円 $\times$ 56 $\times$ 12 月 = 3,314 (3,270) ※派遣職員俸給 月率 0.25% (ロ) $(209,149 \text{ 千円} + 52,287 \text{ 千円}) \times$ = 392 (374) (ハ) 伯国現採職員分 専門職俸給 一般職俸給 特別手当 専門職超勤手当 一般職超勤手当 $(102,935 \text{ 千円} + 15,319 \text{ 千円} + 14,782 \text{ 千円} + 8,023 \text{ 千円} + 1,194 \text{ 千円})$ $\times \frac{1.38}{100} = 1,963 (1,942)$
				(ニ) その他現採職員分 専門職俸給 一般職俸給 $(100,425 \text{ 千円} + 19,696 \text{ 千円}) \times \frac{1.5}{1000} = 180 (172)$
				計 (イ) ~ (ニ) 5,849 (5,758)

(3/)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算	昭和56年度予算	対前年度比較増△減額	積算基礎
				(10) 海外福利費
				(イ) 伯国家族職員社会保険料
				$\begin{aligned} & \text{在勤基本手当} \quad \text{配偶者手当} \quad \text{在外仕族手当} \quad \text{子女教育手当} \\ & (245,219 \text{ 千円} + 85,337 \text{ 千円} + 70,947 \text{ 千円} + 8,656 \text{ 千円}) \times \frac{\left(\frac{40}{85}\right) \times (40-1) \times}{(85-1) \times} \\ & \quad \times \frac{50}{100} \times \frac{8}{100} = 7,674 (6,923) \end{aligned}$
				(ロ) 伯国現職職員社会保険料
				$\begin{aligned} & \text{専門職俸給} \quad \text{一般職俸給} \quad \text{特別手当} \quad \text{専門職超過勤務手当} \quad \text{一般職超過勤務手当} \\ & (102,935 \text{ 千円} + 15,319 \text{ 千円} + 14,782 \text{ 千円} + 8,023 \text{ 千円} + 1,194 \text{ 千円}) \\ & \quad \times \frac{15.1}{100} = 2,559 (2,242) \end{aligned}$
				(ハ) その他現職職員社会保険料
				$\begin{aligned} & \text{専門職俸給} \quad \text{一般職俸給} \quad \text{特別手当} \\ & (100,425 \text{ 千円} + 12,696 \text{ 千円} + 10,010 \text{ 千円}) \times \frac{18}{100} \\ & = 23,438 (22,351) \end{aligned}$
				(ニ) 社会統合プログラム基金納付金
				④ ジヤミック(商企業)
				$\begin{aligned} & \text{(年間仕組 高)} \quad \text{納付率} \quad \text{交換レート} \\ & \text{C\$} 11,044,126 \times 0.0075 \times 24.71 = 2,047 (2,047) \end{aligned}$
				⑤ ジェミス(金融業)
				$\begin{aligned} & \text{所得税減税額} \\ & \text{1981年所得税額} \quad \text{率} \quad \text{交換レート} \\ & \text{C\$} 2,800 \times 0.05 \times 24.71 = 3 (3) \end{aligned}$
				自己資金による分(所得税減税額と同額)
				3 (3)
				小 計
				2,053 (2,053)
				(ホ) 家族手当基金納付金(伯国)
				$\begin{aligned} & \text{専門職俸給} \quad \text{一般職俸給} \quad \text{特別手当} \quad \text{専門職超過勤務手当} \quad \text{一般職超過勤務手当} \\ & (102,935 \text{ 千円} + 15,319 \text{ 千円} + 14,782 \text{ 千円} + 8,023 \text{ 千円} + 1,194 \text{ 千円}) \end{aligned}$

(32)

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
				$\times \frac{4.3}{100} = 6,139 (6,049)$
				計 (イ) ~ (ホ)
				合計 (イ) ~ (ロ)
(目)児童手当	(3,745) 3,745	3,321	△ 424	(1) 役員分 $410千円 \times 16\% \times 12月 \times \frac{1}{1000} = 79 (91)$ (2) 一般分 一般職員俸給 非常勤職員俸給 扶養手当 管理職手当 通勤手当 $(2,461,855千円 + 209,149千円 + 98,889千円 + 105,220千円 + 75,314千円$ 臨時手当 住居手当 特別補助手当 旭通勤務手当 $+ 5,863千円 + 22,492千円 + 43,988千円 + 213,822千円) \times \frac{1}{1,000}$ $= 3,242 (3,654)$
				計 (1) ~ (2)
(寅)退職手当	(134,360) 134,360	144,735	10,375	(1) 役員分 総裁 $1,041,000円 \times \frac{36}{100} \times 1\% \times 12月 = 4,497 (4,342)$ 副総裁 $855,000円 \times \frac{36}{100} \times 2\% \times 12月 = 7,387 (7,128)$ 理事 $715,000円 \times \frac{36}{100} \times 11\% \times 12月 = 33,977 (32,789)$ 監事 $625,000円 \times \frac{36}{100} \times 2\% \times 12月 = 5,400 (5,210)$ 計 55,103 (49,469) (2) 一般職員、非常勤職員分 一般職員俸給 非常勤職員俸給 同左の25% $(2,461,855千円 + 209,149千円 + 52,287千円) \times 0.027411$ $= 74,648 (70,198)$

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
				(3) 伯国現保給分 勤続期間保証基金 (F. G. T. S.) 専門職俸給 一般職俸給 特別手当 専門職超過勤務手当 一般職超過勤務手当 (102,735千円 + 15,317千円 + 14,782千円 + 8,023千円 + 1,174千円) $\times \frac{8}{100} = 11,380 (11,254)$
				(4) その他現保給分 専門職俸給 一般職俸給 (100,425千円 + 12,676千円) $\times 0.03 = 3,604 (3,439)$ 合 計 (1) ~ (4) 144,735 (134,360)
(庚) 技術協力派遣職員給与				(23) 経 営 19人、(28) 帰国 17人、(14) 交 替 15人、(20) 新 規 13人 (333,000) 355,000円 $\times \frac{(526.5)}{55.5} \text{人・月} = 197,025 (193,325)$
(目) 技術協力派遣職員給与	(193,325) 193,325	197,025	2,700	
(ロ) 新 規 増 員	0	22,171	22,171	
(Ⅰ) 役 職 員 給 与	0	21,998	21,998	
(Ⅱ) 職 員 基 本 給	0	6,598	6,598	(1) 職 員 俸 給 (留 内) (イ) 174,476円 $\times 3人 \times 6月 = 3,141 (0)$ (海 外) (ロ) 174,476円 $\times 2人 \times 6月 = 2,094 (0)$ (") (ハ) 174,476円 $\times 2人 \times 3月 = 1,047 (0)$ 計 (1) ~ (ハ) 6,282 (0) (2) 扶 養 手 当 (イ) 8,767円 $\times 5人 \times 6月 = 263 (0)$

(36)

(単位 千円)

事 項 及 び 科 目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積 算 基 礎
				$(Ⅳ) 8,833円 \times 2人 \times 3月 = 53(0)$ 計 (Ⅰ) ~ (Ⅳ) 316(0) 合 計 (Ⅰ) ~ (Ⅱ) 6,598
(Ⅱ) 職 員 諸 手 当	0	13,825	13,825	(Ⅰ) 通勤手当 $(Ⅰ) 2,650円 \times 5人 \times 6月 = 239(0)$ $(Ⅱ) 2,650円 \times 2人 \times 3月 = 48(0)$ 計 (Ⅰ) ~ (Ⅳ) 287(0) (Ⅱ) 特別手当 (Ⅰ) 職員俸給 扶養手当 特別都市手当 $(5,235千円 + 263千円 + 91千円) \times \frac{1.25}{6} = 1,164(0)$ (Ⅱ) 職員俸給 扶養手当 特別都市手当 $(1,047千円 + 53千円 + 19千円) \times \frac{0.5}{3} \times \frac{60}{100} = 112(0)$ (Ⅲ) 割増分 職員俸給 $5,235 \times 0.011 = 70(0)$ 計 (Ⅰ) ~ (Ⅲ) 1,346(0) (Ⅲ) 住居手当 $(Ⅰ) 2,900円 \times 5人 \times 6月 = 87(0)$ $(Ⅱ) 2,900円 \times 2人 \times 3月 = 18(0)$ 計 (Ⅰ) ~ (Ⅳ) 105(0) (Ⅳ) 特別都市手当 (Ⅰ) 一般職員俸給 扶養手当 $(5,235千円 + 263千円) \times 0.0165 = 91(0)$

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	概 算 基 礎
				(17) 一般職員俸給 扶養手当 $(1047 \text{ 千円} + 53 \text{ 千円}) \times 0.0165 = 19 (0)$ 計 (1) ~ (17) 110 (0) (5) 在勤基本手当 $\frac{1}{2}$ ラン 基準 $283,100 \text{ 円} \times (2 \times 6 \text{ 月} + 2 \times 3 \text{ 月}) = 5,095 (0)$ (6) 配偶者手当 $\frac{1}{2}$ ラン 基準 $283,100 \text{ 円} \times \frac{40}{100} \times (2 \times 6 \text{ 月} + 2 \times 3 \text{ 月}) = 2,039 (0)$ (7) 在外住居手当 $\frac{1}{2}$ ラン 基準 $57,765 \times 132 \text{ 円} \times \frac{50}{100} \times (2 \times 6 \text{ 月} + 2 \times 3 \text{ 月}) = 4,717 (0)$ (8) 子女教育手当 $\frac{1}{2}$ ラン 基準 $20,900 \text{ 円} \times (2 \times 6 \text{ 月} + 2 \times 3 \text{ 月}) = 126 (0)$ 合 計 (1) ~ (9) 13,825 (0) 職員俸給率 特別都市手当率 $\frac{(174,476 \text{ 円} + 3,024 \text{ 円})}{52 \times 44} \times 12 \text{ 月} \times 1.25 = 1,163.22 \text{ 円}$ $1,163.22 \text{ 円} \times 3 \times 15 \text{ 月} \times 6 \text{ 月} = 315 (0)$ (1) 健康保険料 一般職員俸給 扶養手当 通勤手当 住居手当 特別都市手当 在勤基本給 $(8,282 \text{ 千円} + 316 \text{ 千円} + 287 \text{ 千円} + 105 \text{ 千円} + 110 \text{ 千円} + 5,095 \text{ 千円})$ 配偶者手当 子女教育手当 超過勤務手当 $\times \frac{47}{1,000} = 349 (0)$
(18) 超過勤務手当	0	315	315	
(19) 法定福利費	0	1,250	1,250	

(56)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和54年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
				(2) 厚生年金保険料 一般職賃俸給 扶養手当 通勤手当 住居手当 特別給付手当 (6,282千円 + 316千円 + 287千円 + 105千円 + 110千円 + 超過勤務手当 + 315千円) $\times \frac{37}{1000}$ = 275 (0)
				(3) 厚生年金基金 一般職賃俸給 扶養手当 通勤手当 住居手当 特別給付手当 (6,282千円 + 316千円 + 287千円 + 105千円 + 110千円 + 超過勤務手当 + 315千円) $\times \frac{37}{1000}$ = 275 (0)
				(4) 雇用保険料 (i) 一般職賃俸給 扶養手当 通勤手当 一般職賃特別手当 住居手当 6,282千円 + 316千円 + 287千円 + 1,346千円 + 105千円 + 特別給付手当 超過勤務手当 + 110千円 + 315千円) $\times \frac{8.5}{1000}$ = 76 (0) (ii) 雑収入見合分 8,761千円 $\times \frac{5.5}{1000}$ = 48 (0) 計 (i) ~ (ii) 124 (0)
				(5) 労働災害保険料 (i) 国内分 一般職賃俸給 扶養手当 通勤手当 一般職賃特別手当 住居手当 (6,282千円 + 316千円 + 287千円 + 1,346千円 + 105千円 + 特別給付手当 超過勤務手当 + 110千円 + 315千円) $\times \frac{5}{1000}$ = 45 (0) (ii) 海外分 2,555,000円 $\times \frac{11}{1000} \times 4\%$ = 14 (0) 計 (i) ~ (ii) 59 (0)

(32)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
				(6) 派遣職員共済給付制度負担金 $283,100 \text{ 円} \times \frac{140}{100} \times (2 \times 6 \text{ 月} + 2 \times 3 \text{ 月}) \times \frac{12}{1,000} = 86 (0)$ (7) 英語組合負担金 $174,476 \text{ 円} \times (2 \times 6 \text{ 月} + 2 \times 3 \text{ 月}) \times \frac{71.5}{1,000} = 82 (0)$ 合 計 (1) ~ (7) 1,250 (0)
(四) 児童手当	0	10	10	一般職員俸給 扶養手当 通勤手当 住居手当 特別都市手当 $(6,282 \text{ 千円} + 316 \text{ 千円} + 287 \text{ 千円} + 105 \text{ 千円} + 110 \text{ 千円})$ 超過勤務手当 超過勤務手当 $+ 315 \text{ 千円} + 315 \text{ 千円}) \times \frac{1}{1,000} = 10 (0)$
(項) 退職手当	0	173	173	
(目) 退職手当	0	173	173	一般職員俸給 $6,282 \text{ 千円} \times 0.0274 = 173 (0)$

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
(2) 管理経費	(1,219,036) 1,214,711	1,213,168	58,457	
(1) 既定分	(1,219,036) 1,214,711	1,212,656	57,945	
(項) 業務諸費	(1,187,346) 1,181,420	1,239,365	57,945	
(目) 諸謝金	(51,000) 51,283	52,814	1,531	1. 顧問謝金 (1) 顧問謝金 $\{593,000円 + (593,000円 \times 0.08)\} \times 1人 \times 12月 = 7,685 (7,685)$ (2) 特別慰労金 $\{(593,000円 \times 0.08) + (593,000円 \times 1.25)\} \times 3.8$ $= 2,997 (2,997)$ (3) 退職慰労金 $593,000円 \times 1人 \times \frac{36}{100} \times 12月 = 2,562 (2,562)$ (4) 社会保険料 (a) 健康保険料 $5,640,000円 \times \frac{4.7}{1,000} = 265 (265)$ (b) 厚生年金 $3,840,000円 \times \frac{30.5}{1,000} = 117 (117)$ (c) 厚生年金基金 $3,840,000円 \times \frac{36.5}{1,000} = 140 (140)$ 小計 (1) ~ (c) 522 (522) 計 (1) ~ (4) 13,766 (13,766) 2. その他謝金 (1) 技術顧問謝金 $(389,625)$ $401,270円 \times 1人 \times 12月 = 4,815 (4,604)$ $(305,760)$ $319,820円 \times 4人 \times 12月 = 15,351 (14,676)$ 小計 20,166 (19,280) (2) 調査委託謝金 $(63,310)$ $66,220円 \times 2人 \times 12月 = 1,589 (1,519)$ (3) 会計士謝金 $(47,530)$ $49,720円 \times 2人 \times 12月 = 1,193 (1,141)$

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増減額	積算 基 礎
				(46,480) 48,620円 × 3人 × 12月 = 1,750 (1,673)
				(129,140) 135,080円 × 1人 × 12月 = 1,621 (1,550)
				(107,330) 112,270円 × 1人 × 12月 = 1,347 (1,288)
				88,420円 × 1人 × 12月 = 1,061 (1,061)
				3,550円 × 20人 = 71 (71)
				4,250円 × 20人 = 85 (85)
				3,310円 × 5人 × 5日 × 2件 = 166 (166)
				※(1) 語学授受謝金
				海外 138,142円 × 4人 × 1回 = 553 (553)
				国内 138,142円 × 3人 × 2回 = 829 (829)
				計 1,382 (1,382)
				(2) 嘱託謝金
				(1) 一般 (81,878) 85,640円 × 3人 × 12月 = 3,083 (2,948)
				3,540円 × 30人 = 106 (106)
				(4) 語学 3,668 (3,602)
				英語 (119,810) 125,320円 × 1人 × 12月 = 1,504 (1,438)
				仏語 18,030円 × 60人月 = 1,082 (1,082)
				西語 18,030円 × 60人月 = 1,082 (1,082)
				(5) 入植地管理謝金
				(97,920) 104,970円 × (12月 + 4.8月) × 1人 = 1,760 (1,645)
				計 (1) ~ (5) 8,617 (8,301)
				合計 (1) ~ (2) 39,048 (37,517)
				総計 1 + 2 52,814 (51,283)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
(甲) 赴任旅費	(12,612) 12,612	12,151	△ 461	1. 本部～附属機関 258,512円 × 47人 = 12,151 (12,151) 2. その他 前年度限り 0 (461) 計 1 + 2 12,151 (12,612)				
区分	等級	基準地	鉄道賃	日当	宿泊料	移動料	着後手当	計
赴任旅費	3	大阪	(14,234) 14,950円 × 2.5人 (37,585) = 37,375円	(1,100円 × 1日) × (1 + $\frac{2}{3}$ + $\frac{1}{3}$) = 2,200円	(5,100円 × 1泊) × (1 + $\frac{2}{3}$ + $\frac{1}{3}$) = 10,200円	148,527円	(6,200円 × 5日) × (1 + $\frac{2}{3}$ + $\frac{1}{3}$) = 62,000円	258,512円
(甲) 職員旅費	(6,618) 6,966	6,966	0	1. 役員分 (1) 一般 28,985円 × 47人 = 1,363 (1,363) (2) 基研研修コース開閉式 13,140円 × 50回 = 657 (657) 小計 2,020 (2,020) 2. 職員分 (1) 国内研修センター監査指導 19,278円 × 2人 × 5カ所 × 9回 = 1,735 (1,735) (2) 国内事務所予算会計指導 19,750円 × 2人 × 16回 = 632 (632) (3) 移住センター事務連絡 500円 × 2人 × 13回 = 13 (13) (4) 役員随行 20,880円 × 5人 × 5回 = 522 (522) (5) 業務状況視察 24,038円 × 2人 × 40回 = 1,923 (1,923) ※(6) 語学授受 20,167円 × 3人 × 2回 = 121 (121) 小計 4,946 (4,946) 計 1 + 2 6,966 (6,966)				

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比 増△減額	積算基礎			
区分	等級	基準地	期間	鉄道賃	日当	宿泊料	計
役員旅費							
一級役員	役員	大阪	3泊4日	5,421円×2=10,842円	765円×4日=3,860円	4,761円×3泊=14,283円	28,985円
コース期間開式	"	名古屋	1泊2日	3,225円×2=6,450円	765円×2日=1,530円	4,760円×1泊=4,760円	13,140円
職員旅費							
国内研修センター (監査指導)	3	大阪 名古屋 波島 横濱 兵庫	4泊5日	4,309円	722円×23日× $\frac{1}{5}$ =3,321円	(3,345円×12泊)+ (3,017円×6泊)}× $\frac{1}{5}$ =11,648円	19,278円
国内事務所 (予算会計指導)	4	大阪	3泊4日	3,539円×2=7,078円	708円×4日=2,832円	3,280円×3泊=9,840円	19,750円
移住センター (事務連絡)	4		日帰り	500円	0	0	500円
役員随行	3	大阪	3泊4日	7,957円	722円×4日=2,888円	3,345円×3泊=10,035円	20,880円
業務状況視察	3	大阪	4泊5日	3,681円×2=7,362円	708円×5日=3,540円	3,280円×4泊=13,120円	24,038円
語学校定	3	大阪	3泊4日	8,244円	722円×4日=2,888円	3,345円×3泊=10,035円	20,167円
(B) 庁費	(1,100,943) 1,094,386	1,150,187	55,801	1. 人当庁費 (役員16人、本部519人、国内研修センター59人 計594人) 既 定 39,730円×(594-9)人=23,242(23,142) 2. 厚生費 (1) 人当厚生費 (役員16人、本部519人、国内研修センター59人) (海外事務所39人、計633人) 既 定 3,900円×(633-5)人=2,449(2,421) (2) 職員厚生費 (1) 成人病予防及び精液検査費			

(単位:千円)

事 項 及 び 科 目	前年度予算額	昭和56年度 予 算 額	対前年度比較 増△減額	積 算 基 礎
				(役員 76人、本部 519人、国際研修センター 59人、 海外事務所 39人、移住センター 19人、移住研修所 7人、 国内支部 67人、計 726人) 既 定 $5,210円 \times (726-5)人 \times \frac{2}{3} = 2,501 (2,501)$ (四) 海外帰国職員特別健康診断費 $11,250円 \times 33人 \times 1 \times 2.5人 = 929 (929)$ (ハ) 診察所運営費 $120,870円 \times 12月 = 1,450 (1,450)$ (ニ) 海の家、山の家借上げ費 $359,280円 \times 5ヵ所 = 1,796 (1,796)$ (ホ) 保養所借上げ費 $170,850円 \times 4ヵ所 \times 12月 = 8,201 (8,201)$ (ハ) 職員厚生施設借上げ費 $176,667円 \times 12月 = 2,120 (2,120)$ (ト) グラウンド借上げ費 野 球 場 $1,000円 \times 5ヵ所 \times 2面 \times 12月 = 120 (120)$ テニスコート $25,500円 \times 12月 = 306 (306)$ 計 (イ) ~ (ト) $17,423 (17,423)$ 合 計 (イ) + (2) $19,872 (19,844)$ 3. 備 品 費 (1) 既 定 備 品 キャビネット $29,118円 \times 17 = 461 (461)$ 戸 棚 $39,615円 \times 26 = 1,030 (1,030)$ 卓上電子計算機 $93,667円 \times 3 = 281 (281)$ 間仕切り $21,113円 \times 80 = 1,689 (1,689)$ 衝 立 $21,000円 \times 5 = 105 (105)$

(単位 千円)

事 項 及 び 科 目	前年度予算額	昭和56年度 予 算 額	対前年度比較 増△減額	積 算 基 礎
				ロ ッ カ ー 22,886円 × 35 = 976 (976)
				並 机 23,720円 × 25 = 593 (593)
				椅 子 8,840円 × 25 = 221 (221)
				欧文タイプライター 100,000円 × 2 = 200 (200)
				複 写 機 247,600円 × 5 = 1,238 (1,238)
				診療所備品 2,080 (2,080)
				その他備品 4,690 (4,690)
				小 計 13,564 (13,564)
				(2) カセットプリンター 350,000円 × 2 = 700 (0)
				(3) シュレッダー 500,000円 × 3 = 1,500 (0)
				(4) 電動タイプライター 300,000円 × 4 = 1,200 (0)
				(5) 応接セット 157,330円 × 3 = 505 (472)
				(6) その他前年度限り 0 (3,433)
				合 計 (1) ~ (6) 17,469 (17,469)
				4. 消 耗 品 費
				(1) 用紙帳簿類 245,583円 × 12月 = 2,947 (2,947)
				(2) 雑誌・新聞購読料 48,750円 × 12月 = 585 (585)
				(3) その他事務用品 73,500円 × 12月 = 882 (882)
				計 4,414 (4,414)
				5. 被 服 費
				(1) 電話交換手、タイピスト、秘書 10,000円 × 15人 = 150 (150)
				(2) 運 販 手 20,000円 × 16人 × 2着 = 640 (640)
				計 (1) + (2) 790 (790)

(單位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				6. 印刷製本費
				(1) 予算関係 $631円 \times 375部 \times 20種 = 4,736 (4,736)$
				(2) 経理決算関係 $654円 \times 290部 \times 15種 = 2,844 (2,844)$
				(3) 物品不備管理関係及台帳類 $18,6円 \times 1,500部 \times 30種 = 836 (836)$
				(4) 法令規程集追録 $394円 \times 500部 \times 3回 = 591 (591)$
				(5) 事業計画達事例 $3,336円 \times 300部 \times 3回 = 3,002 (3,002)$
				(6) 関係国法例集(原文対比和訳) $550円 \times 100部 \times 7種 = 385 (385)$
				(7) 移住地概況 $423円 \times 400部 = 169 (169)$
				(8) 概況紙「移住研究」 $171円 \times 2,000部 \times 2回 = 683 (683)$
				(9) 移住親睦月報 $468円 \times 100部 \times 2種 \times 12月 = 1,123 (1,123)$
				(10) 融資業務諸報告用紙 $13,500円 \times 12月 = 162 (162)$
				(11) 入植地管理業務諸用紙 $97円 \times 1,810枚 \times 4種 = 70 (70)$
				(12) 証憑書製本 $223円 \times 776冊 = 173 (173)$
				(13) その他諸資料 $62.3円 \times 250部 \times 30種 \times 12月 = 5,606 (5,606)$
				計 (1) ~ (13) $20,380 (20,380)$
				7. 通信運搬費
				(1) 電話料(旧庁舎及び新庁舎)
				(イ) 電話交換維持費 $56,944円 \times 3台 \times 12月 = 2,050 (2,050)$
				(ロ) 基本料 $1,932円 \times 50本 \times 3台 \times 12月 = 3,477 (3,477)$
				(ハ) 内線使用料 $149円 \times 350本 \times 3台 \times 12月 = 1,877 (1,877)$
				(ニ) 度数料 $24円 \times 203回 \times 25日 \times 50本 \times 3台 \times 12月 = 67,666 (67,666)$
				(ホ) 市外通話料 $270円 \times 24通話 \times 350回 \times 12月 = 27,216 (27,216)$

(単位 千円)

事 項 及 び 科 目	前年度予算額	昭和56年度 予 算 額	対前年度比較 増△減 額	積 算 基 礎
				(ハ) 国際通話料 $8,126 \text{ 円} \times 3 \text{ 回} \times 19 \text{ カ月} = 772 (772)$
				(ト) 専用電話料
				外務省分 $2,250 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} = 27 (27)$
				東京センター分 $1,625 \text{ 円} \times 2 \text{ 本} \times 12 \text{ 月} = 39 (39)$
				小 計 66 (66)
				計 (ハ) ~ (ト) 103,124 (103,124)
				私宅電話公費負担分 $\Delta 1,974 (\Delta 1,974)$
				合 計 101,150 (101,150)
				(2) テレックス
				(イ) 機器使用料 $22,125 \text{ 円} \times 2 \text{ 台} \times 12 \text{ 月} = 531 (531)$
				(ロ) 通 信 費 $840 \text{ 円} \times 20 \text{ 分} \times 25 \text{ 日} \times 12 \text{ 月} = 5,037 (5,037)$
				計 (イ) + (ロ) 5,568 (5,568)
				(3) 郵 便 料
				(国 内)
				普 通 郵 便 $37 \text{ 円} \times 306 \text{ 通} \times 25 \text{ 日} \times 12 \text{ 月} = 3,397 (3,397)$
				ハ カ キ $15 \text{ 円} \times 50 \text{ 通} \times 25 \text{ 日} \times 12 \text{ 月} = 225 (225)$
				速 達 $156 \text{ 円} \times 26 \text{ 通} \times 25 \text{ 日} \times 12 \text{ 月} = 1,217 (1,217)$
				書 留 $238 \text{ 円} \times 30 \text{ 通} \times 25 \text{ 日} \times 12 \text{ 月} = 2,142 (2,142)$
				小 包 $505 \text{ 円} \times 150 \text{ 枚} \times 12 \text{ 月} = 909 (909)$
				(国 外)
				航 空 便 $334 \text{ 円} \times 1,680 \text{ 通} \times 12 \text{ 月} = 6,749 (6,749)$
				小 包 $653 \text{ 円} \times 60 \text{ 枚} \times 12 \text{ 月} = 470 (470)$
				計 13,109 (13,109)

(単位:千円)

事 項 及 び 科 目	前年度予算額	昭和56年度 予 算 額	対前年度比較 増△減額	積 算 基 礎
				(4) 印刷物発送費
				(イ) 事務用印刷物送料 $554,417 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} = 6,653 (6,653)$
				(ロ) 在外支部等伝票等地送料 $19,275 \text{ 円} \times 10 \text{ 月} \times 12 \text{ 月} = 2,313 (2,313)$
				計 (イ) + (ロ) $8,966 (8,966)$
				(5) 電 報 料
				(イ) 国 内 $149 \text{ 円} \times 317 \text{ 通} \times 12 \text{ 月} = 566 (566)$
				(ロ) 国 外 $3,718 \text{ 円} \times 250 \text{ 通} \times 12 \text{ 月} = 11,153 (11,153)$
				計 (イ) + (ロ) $11,719 (11,719)$
				合 計 (1) ~ (5) $142,512 (142,512)$
				8. 光 熱 水 料
				(1) 共通相当額
				(イ) 三井ビル庁舎
				電 気 $\frac{(24.6)}{344 \text{ 円} \times 66.25 \text{ 円} \times 12 \text{ 月}} = 23,220 (16,605)$
				ガ ス $\frac{(123,750)}{167,060 \text{ 円} \times 12 \text{ 月}} = 2,005 (1,485)$
				水 道 $234,000 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} = 2,808 (2,808)$
				小 計 $28,033 (20,898)$
				(ロ) 桑樹ビル庁舎
				電 気 $\frac{(13,600,029)}{19,040,040 \text{ 円} \times \frac{39.7}{100}} = 7,559 (5,399)$
				ガ ス $\frac{(640,564)}{864,760 \text{ 円} \times \frac{39.7}{100}} = 343 (255)$
				燃 料 $\frac{(1,300,218)}{1,846,310 \text{ 円} \times \frac{39.7}{100}} = 733 (516)$
				水 道 $\frac{7,167,264 \text{ 円} \times \frac{39.7}{100}}{100} = 2,845 (2,845)$
				小 計 $11,480 (9,015)$

(42)

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				計 (イ) + (ロ) 39,513 (29,913)
				(2) 電子計算機費(経協ビル庁舎)
				電 費 ^(4,921) 6,89円 × { 34.2KVA + (55×2KVA) } × (12H×25日×12月) = 3,577 (2,553)
				合 計 (1) + (2) 43,090 (32,466)
				9. 借料及び損料
				(1) 事務所借料(三井ビル)
				(イ) 事務所(45～48階)
				5,500円 × 6,718.82 m ² × 12月 = 443,441 (419,253)
				事務所(9階)
				5,300円 × 839.85 m ² × 12月 = 53,414 (50,391)
				計 496,855 (469,644)
				(ロ) コ ア
				3,950円 × 664.36 m ² × 12月 = 31,491 (29,776)
				(ハ) 倉 庫
				2,840円 × 51.23 m ² × 12月 = 1,746 (1,651)
				(ニ) 車 庫
				(60,000) 71,280円 × 30台 × 12月 = 25,661 (23,760)
				計 (イ) ～ (ニ) 555,753 (524,831)
				(2) 経済協力センター土地借料
				(イ) アジア経済研究所所有地借料
				定 物 敷 地

(48)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎 (単位:千円)
				$\left\{ \frac{(307,230)}{(368,370円 \times 0.06 \times 752.8m^2)} + \frac{(8,978,841)}{10,765,630円 \times \frac{752.8m^2}{3,378.5m^2}} \right\}$ $\times \frac{39.7}{100} = 7,558 (6,303)$
				駐車場敷地 $\left\{ \frac{(307,230)}{(368,370円 \times 0.06 \times 306.9m^2)} + \frac{(8,978,841)}{10,765,630円 \times \frac{306.9m^2}{3,378.5m^2}} \right\}$ $\times \frac{14台}{21} = 5,174 (4,315)$
				小計 12,732 (10,618)
				(H) 民有地借料 $\frac{(418,740)}{502,070円 \times 12月 \times \frac{39.7}{100}} = 2,392 (1,995)$
				(ハ) 国有地借料(警視庁及び防衛庁)
				$\frac{(16,094)}{19,300円 \times \frac{39.7}{100}} = 8 (7)$
				計 (H) ~ (ハ) 15,132 (12,620)
				(3) ゼロックス借料 $\frac{(86,090)}{92,980円 \times 7台 \times 12月} = 7,810 (7,232)$
				(4) 在外住宅借上料 $3,499 + 39,690 (自己収入分) = 43,189 (42,239)$
				(5) 国内住宅借上料
				(A) $\frac{(35,325)}{38,150円} \times 41戸 \times 12月 = 18,770 (17,380)$
				(B) $\frac{(37,110)}{40,079円} \times 7戸 \times 12月 = 3,367 (3,117)$
				小計 (A) + (B) 22,137 (20,497)
				計 (1) ~ (5) 644,021 (607,419)
				10. 会議費
				理事会 $205円 \times 18人 \times 4回 \times 12月 = 177 (177)$
				部長会 $205円 \times 23人 \times 4回 \times 12月 = 226 (226)$

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				全国支部長会議 $3,444 \times 86人 \times 1回 = 27(27)$
				関係各省連絡会議 $3,184 \times 10人 \times 6回 \times 12月 = 229(229)$
				一般事務打合せ $200.44 \times 16人 \times 24回 \times 12月 = 922(922)$
				確定選考連絡会議 $3,174 \times 10人 \times 4回 \times 12月 = 152(152)$
				特別会議 $63,590 \times 2回 \times 12月 = 1,527(1,527)$
				計 $3,260(3,260)$
				11. 交 通 費
				地下鉄等 $89 \times 2,567回 = 229(229)$
				自動車 $327 \times 645回 = 211(211)$
				自動車借上 $6,575 \times 7台 \times 25回 \times 12月 = 13,807(13,807)$
				計 $14,247(14,247)$
				12. 図書購入費
				縦横参考図書和解 $676 \times 720冊 = 487(487)$
				〃 洋書 $1,797 \times 360冊 = 647(647)$
				計 $1,134(1,134)$
				13. 賃 金
				(1) 常備賃金
				一般事務
				$(56,746)$ $60,490 \times 2人 \times (12月 + 4.9月) = 2,045(1,918)$
				会計事務
				$(114,675)$ $122,240 \times 1人 \times (12月 + 4.9月) = 2,066(1,938)$
				小 計 $4,111(3,856)$
				(2) 臨時雇賃金
				$2,420 \times 6人 \times 13日 \times 6月 = 1,133(1,133)$

(52)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	前年度比較 増△減額	積算基礎 (単位:千円)	
				$2,420 \text{円} \times 10 \text{人} \times 148 \times 12 \text{月} = 4,066 (4,066)$ $2,420 \text{円} \times 1,390 \text{人} = 3,364 (3,364)$ 小計 8,570 (8,570)	
				計 (1) + (2)	12,681 (12,426)
				Ⅲ. 保険料	
				(1) 自動車保険料	
				強制賠償 $\frac{(39,080)}{42,210 \text{円}} \times 8 \text{台} = 338 (586)$ 任意賠償 $\frac{(102,840)}{111,070 \text{円}} \times 20 \text{台} = 2,221 (2,157)$ 小計 2,559 (2,743)	
				(2) 火災保険料	
				(A) 経協ビル庁舎	
				庁舎 $280,000 \text{円} \times \frac{50}{100} \times \frac{1.16}{1,000} = 163 (163)$ ボイラー $\{1 \text{台} \times (3,600 \text{円} \times \frac{2.82}{1,000} + 6,500 \text{円}) + (5,000 \text{円} \times \frac{0.3}{1,000})\} \times \frac{387}{100} = 15 (15)$ 小計 178 (178)	
				(B) 職員住宅	
				$\frac{(1264)}{1,768 \text{千円}} \times \frac{(126,000)}{(153,400 \text{千円} \times \frac{4}{1,000})} + 160 \text{(自己収入分)} = 2,542 (1,928)$	
				(C) 塋産	
				$11,200 \text{千円} \times \frac{4}{1,000} = 45 (45)$	
				計 (1) ~ (C)	2,765 (2,151)
				合計 (1) + (2)	5,324 (4,894)

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	費 算 基 礎
				15. 諸 税 公 課
				(1) 不動産取得税
				(イ) 職員住宅 $\frac{(126,000)}{153,400 \text{ 円}} \times \frac{80}{100} \times \frac{3}{100} = 3,682 (3,024)$
				(ロ) その他 0 (4,689)
				計 (イ) + (ロ) 3,682 (7,713)
				(2) 固定資産税
				(イ) 職員住宅 $\frac{(1,817,470)}{1,962,868 \text{ 円}} \times \frac{14}{1,000} = 27,480 (25,445)$
				(ロ) 経協ビル庁舎 $308,000 \text{ 円} \times \frac{80}{100} \times \frac{14}{1,000} = 3,450 (3,450)$
				(ハ) 償却資産税 $\frac{(39,967)}{43,164 \text{ 円}} \times \frac{14}{1,000} = 604 (560)$
				計 (イ) ~ (ハ) 31,534 (29,455)
				(3) 都市計画税
				(イ) 経協ビル庁舎 $308,000 \text{ 円} \times \frac{80}{100} \times \frac{3}{1,000} = 740 (740)$
				(ロ) 土地・建物 $\frac{(227,886)}{246,117 \text{ 円}} \times \frac{3}{1,000} = 738 (684)$
				計 (イ) + (ロ) 1,478 (1,424)
				(4) 法人郡民税 10 (10)
				(5) 自動車重量税
				$\frac{(13)}{37,800 \text{ 円}} \times 6 \text{ 台} + \frac{(2)}{50,100 \text{ 円}} \times 3 \text{ 台} = 340 (592)$
				(6) 自動車税 $34,500 \text{ 円} \times 17 \text{ 台} + 77,000 \text{ 円} \times 1 \text{ 台}$ $+ 28,500 \text{ 円} \times 2 \text{ 台} = 721 (721)$
				合 計 (1) ~ (6) 37,765 (39,915)
				16. 自動車購入費 $\frac{(2,380)}{2,203 \text{ 円}} \times \frac{(2)}{3 \text{ 台}} = 6,609 (4,760)$
				17. 自動車維持費 $15,997 \text{ 円} \times 20 \text{ 台} = 3,040 (3,040)$

(52)

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				18. 修繕費
				(1) 機械器具修繕費
				タイフ修理 13,917円 × 12月 = 167(167)
				会計器修理 84,250円 × 4台 = 337(337)
				その他 14,417円 × 12月 = 173(173)
				計 677(677)
				(2) 住宅等修繕
				(a) 東京地区
				(a) 所沢住宅 (S40, 3棟、24戸)
				畳取替 4,870円 × 10.5畳 × 10戸 = 512(512)
				襖張替 2,440円 × 14枚 × 10戸 = 341(341)
				小計 853(853)
				(b) 西八王子住宅 (S45, 10棟、17戸)
				畳取替 4,870円 × 16.5畳 × 6戸 = 482(482)
				襖張替 2,440円 × 12枚 × 6戸 = 175(175)
				小計 657(657)
				(c) 宮前平住宅 (S46, 10棟、10戸)
				畳取替 4,870円 × 16.5畳 × 5戸 = 402(402)
				襖張替 2,440円 × 15枚 × 5戸 = 183(183)
				小計 585(585)
				(d) 南海神住宅 (S41, 1棟、2戸)
				畳取替 4,870円 × 16畳 × 2戸 = 156(156)
				襖張替 2,440円 × 10枚 × 2戸 = 49(49)
				小計 205(205)
				(e) 鎌ヶ谷住宅 (S47, 8棟、10戸)
				畳取替 4,870円 × 18畳 × 7戸 = 614(614)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				模張替 $2,440\text{円} \times 17\text{枚} \times 6\text{戸} = 249(249)$
				小計 863(863)
				(6) 三軒茶屋住宅 (S46, 3建, 3戸)
				畳取替 $4,870\text{円} \times 12\text{畳} \times 3\text{戸} = 175(175)$
				模張替 $2,440\text{円} \times 4\text{枚} \times 3\text{戸} = 29(29)$
				小計 204(204)
				(7) 高円寺住宅 (S46, 12建, 7戸)
				畳取替 $4,870\text{円} \times 12\text{畳} \times 7\text{戸} = 409(409)$
				模張替 $2,440\text{円} \times 4\text{枚} \times 7\text{戸} = 69(69)$
				小計 478(478)
				(8) 新原町住宅 (S44, 3建, 12戸)
				風呂釜取替 $81,400\text{円} \times 5\text{戸} = 407(407)$
				模張替 $2,440\text{円} \times 13\text{枚} \times 6\text{戸} = 190(190)$
				畳取替 $4,869\text{円} \times 16.5\text{畳} \times 6\text{戸} = 482(482)$
				小計 1,079(1,079)
				(9) 京王北野マンション (S51, 2建, 2戸)
				畳取替 $4,870\text{円} \times 16.5\text{畳} \times 2\text{戸} = 160(160)$
				模張替 $2,440\text{円} \times 10\text{枚} \times 2\text{戸} = 49(49)$
				小計 209(209)
				(10) 横須賀ハイム (S51, 7建, 1戸)
				畳取替 $4,870\text{円} \times 16.5\text{畳} \times 1\text{戸} = 80(80)$
				模張替 $2,440\text{円} \times 10\text{枚} \times 1\text{戸} = 25(25)$
				小計 105(105)
				(11) ハ王子セントラルマンション (S51, 12建, 10戸)
				畳取替 $4,870\text{円} \times 12\text{畳} \times 5\text{戸} = 293(293)$
				模張替 $2,440\text{円} \times 10\text{枚} \times 5\text{戸} = 122(122)$

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	前年度比較増△減額	積算基礎	
				小計	415(415)
				(b) ハ王子セントラルマンション (S52、3棟、1戸)	
				畳取替 $4,870円 \times 12畳 \times 1戸 =$	58(58)
				襖張替 $2,440円 \times 10枚 \times 1戸 =$	25(25)
				小計	83(83)
				(m) ハイネス江川 (S52、11棟、1戸)	
				畳取替 $4,870円 \times 6畳 \times 1戸 =$	29(29)
				襖張替 $2,440円 \times 2枚 \times 1戸 =$	5(5)
				小計	34(34)
				(n) 両屋ハイム (S53、3棟、12戸)	
				畳取替 $4,870円 \times 12畳 \times 6戸 =$	351(351)
				襖張替 $2,440円 \times 4枚 \times 6戸 =$	58(58)
				小計	409(409)
				(o) 相模大野住宅 (S41、11棟、10戸)	
				内壁塗装 $855円 \times 54.6m^2 \times 10戸 =$	467(467)
				小計	467(467)
				(p) 相模大野住宅 (S45、10棟、1戸) プレハブ造	
				風呂釜取替 $81,000円 \times 1戸 =$	81(81)
				畳取替 $4,870円 \times 16.5畳 \times 1戸 =$	80(80)
				襖張替 $2,500円 \times 10枚 \times 1戸 =$	25(25)
				小計	186(186)
				(q) 相武台住宅 (S45、10棟、4戸) プレハブ造	
				風呂釜取替 $81,250円 \times 4戸 =$	325(325)
				畳取替 $4,870円 \times 16.5畳 \times 4戸 =$	322(322)
				襖張替 $2,440円 \times 10枚 \times 4戸 =$	97(97)
				小計	744(744)

(単位 千円)

事 項 及 科 目	前年度予算額	昭和56年度 予 算 額	前年度比 増△減額	積 算 基 礎
				(R) 根岸住宅 (S47, 3棟, 12戸)
				風呂釜取替 $81,280円 \times 6戸 = 488 (488)$
				畳 取 替 $4,870円 \times 15畳 \times 6戸 = 438 (438)$
				襖 張 替 $2,440円 \times 10枚 \times 6戸 = 146 (146)$
				小 計 $1,072 (1,072)$
				計 (a) ~ (R) $8,648 (8,648)$
				(W) 地 方
				(a) 大阪センター住宅 (S44, 1棟, 4戸)
				襖 張 替 $2,440円 \times 10枚 \times 4戸 = 97 (97)$
				小 計 $97 (97)$
				(b) 桃山台住宅 (S47, 2棟, 3戸)
				畳 取 替 $4,870円 \times 12畳 \times 3戸 = 175 (175)$
				襖 張 替 $2,440円 \times 10枚 \times 3戸 = 73 (73)$
				小 計 $248 (248)$
				(c) ルネ千聖丘住宅 (S51, 7棟, 6戸)
				畳 取 替 $4,870円 \times 12畳 \times 3戸 = 175 (175)$
				襖 張 替 $2,440円 \times 10枚 \times 3戸 = 73 (73)$
				小 計 $248 (248)$
				(d) 須磨一ノ谷住宅 (S48, 6棟, 2戸)
				畳 取 替 $4,870円 \times 12畳 \times 2戸 = 117 (117)$
				襖 張 替 $2,440円 \times 10枚 \times 2戸 = 49 (49)$
				小 計 $166 (166)$
				(e) メゾン新大阪住宅 (S49, 2棟, 7戸)
				風呂釜取替 $81,167円 \times 6戸 = 487 (487)$
				畳 取 替 $4,870円 \times 10.5畳 \times 5戸 = 256 (256)$

(58)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 要求額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎 (単位 千円)
				$2,440 \text{ 円} \times 6 \text{ 枚} \times 4 \text{ 戸} = 59 (59)$ $802 (802)$ (6) 国内支那等借上往宅 (23戸) $4,870 \text{ 円} \times 10.5 \text{ 畳} \times 12 \text{ 戸} = 614 (614)$ $2,440 \text{ 円} \times 6 \text{ 枚} \times 12 \text{ 戸} = 176 (176)$ $790 (790)$ $2,351 (2,351)$ (1) 宿舍等保衛管理(自己収入分) $434,930 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} = 5,219 (5,219)$ (2) その他 $2,440 \text{ 円} \times 40 \text{ 戸} \times 1 \text{ 回} = 97 (97)$ $1,628 \text{ 円} \times 16 \text{ 畳} \times 150 \text{ 戸} \times \frac{1}{3} = 1,302 (1,302)$ $1,628 \text{ 円} \times 20 \text{ 枚} \times 150 \text{ 戸} \times \frac{1}{3} = 1,627 (1,627)$ $3,026 (3,026)$ $19,244 (19,244)$ (3) 各所修繕 $24,245 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} = 290 (290)$ (4) 特別修繕 $899 (899)$ $21,110 (21,110)$

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増減額	積算基
				19. 資料収集費
				賦課金 $76,000 \text{ 円} \times 9 \text{ 件} = 684 (684)$
				資料収集費 $25,500 \text{ 円} \times 12 \text{ 件} = 306 (306)$
				各種移転関係資料 $12,713 \text{ 円} \times 20 \text{ 種} = 255 (255)$
				計 $1,245 (1,245)$
				20. 雑役務費
				(1) 支払手数料
				(イ) 海外為替送金手数料
				$\frac{(2,760)}{(2,970 \text{ 円} \times 2 \text{ 回})} + \frac{(830)}{(890 \text{ 円} \times 10 \text{ 回})} \times 2,120 \text{ 件} = 31,461 (29,298)$
				(ロ) 国内送金手数料
				$\frac{(250)}{270 \text{ 円} \times 315 \text{ 件} \times 12 \text{ 月}} = 1,021 (945)$
				(ハ) 雑手数料
				土地売買契約証 $\frac{(4,447)}{4,790 \text{ 円} \times 5 \text{ 件} \times 12 \text{ 月}} = 287 (267)$
				委任状公正証書証 $\frac{(1,271)}{1,370 \text{ 円} \times 2 \text{ 件} \times 12 \text{ 月}} = 33 (31)$
				登記簿本証拠料 $\frac{(762)}{820 \text{ 円} \times 7 \text{ 件} \times 12 \text{ 月}} = 69 (64)$
				推証拠料 $\frac{(254)}{270 \text{ 円} \times 10 \text{ 件} \times 12 \text{ 月}} = 32 (30)$
				小計 $421 (392)$
				計 (イ) ~ (ハ) $32,903 (30,635)$
				(2) 事務管理委託費
				(イ) 三井ビル庁舎
				事務所清掃料
				$\frac{(322)}{350 \text{ 円} \times 7434.38 \text{ m}^2 \times 12 \text{ 月}} = 31,224 (28,726)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	(単位:千円) 積算基礎
				電話交換管理委託費 $\frac{(86,1917)}{930,870円 \times 12月} = 11,170 (10,343)$
				小 計 42,394 (39,069)
				(II) 経協ビル庁舎
				(a) 事務所保管料 $\frac{(14,239,295)}{15,093,650円} \times \frac{39.7}{100} = 5,992 (5,653)$
				(b) 事務所管理料 $\frac{(26,809,827)}{27,888,420円} \times \frac{39.7}{100} = 11,072 (10,445)$
				(c) 事務所清掃料 $\frac{(25,649,874)}{27,188,870円} \times \frac{39.7}{100} = 10,794 (10,183)$
				小 計 27,858 (26,281)
				計 (I) + (II) 70,252 (65,350)
				(3) 職員採用試験広告料
				$1,941円 \times 25行 \times 3段 \times 2回 = 291 (291)$
				(4) 身体検査料 $1,005円 \times 100人 = 100 (100)$
				(5) 関係法令外注翻訳料 $2,315円 \times 1,000枚 = 2,315 (2,315)$
				(6) 事務省力化研究費 346 (346)
				(7) 職員住宅等管理費(自己収入分) 20,944 (20,051)
				(8) 雑 費 $69,313円 \times 12月 = 831 (831)$
				合 計 (I) ~ (8) 127,982 (119,919)
				総 合 計 1 ~ 20 1,150,187 (1,094,386)
(II) 央済会負担金	(16,173) 16,173	17,247	1,074	自己収入見合支出予算
(項) 交 際 費				
(II) 交 際 費	(2,177) 2,225	2,225	0	954 + 1,271 (自己収入分) = 2,225

(単位 千円)

事項及び科目		前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	費 率 基 礎				
(項) 外 国 旅 費		(29,513) 31,066	31,066	0					
(目) 外国出張旅費		(28,185) 29,668	29,668	0					
区 分	等級	人員	期間	航 空 賃	支 度 料	日 当 ・ 宿 泊 料	旅行雑費	計	目 的 地
国 際 会 議 出 席									
(1) 工 白 ン 米 会 議	役員	1	21	346,074	54,274	(2,077円×21日)+(6,545円×20泊)=174,516	1,573	576	テヘラン
"	2	1	21	250,351	44,100	(1,636円×21日)+(5,098円×20泊)=136,316	1,573	432	"
(2) D A C 会 議	2	2	21	297,488×2人 566,380	44,100×2人 88,200	[(1,636円×21日)+(5,098円×20泊)]×2=272,632	1,573×2人 = 3,146	958	パ ー リ
(3) E S C A P 会 議	2	1	21	106,988	44,100	(1,636円×21日)+(5,098円×20泊)=136,316	1,573	289	バンコック
(4) U N I D O 会 議	2	1	21	312,298	44,100	(1,636円×21日)+(5,098円×20泊)=136,316	1,573	494	パ ー リ
(5) U N D P 会 議	2	1	21	215,989	44,100	136,316	1,573	398	ニューヨーク
(6) A D B 会 議	2	1	21	74,640	44,100	129,953	1,573	250	マニラ
先進国の技術協力実施調査									
(1) 技術協力実施機関実地調査	2	1	21	312,298	44,100	(1,636円×21日)+(5,098円×20泊)=136,316	1,573	494	パ ー リ
業 務 調 査									
アジア地域	役員	1	21	296,985	54,274	(2,077円×21日)+(6,545円×20泊)=174,517	1,573	527	インド、パキスタン ビルマ、インドネシア
"	3	1	21	174,516	39,013	(1,510円×21日)+(4,783円×20泊)=127,370	1,573	350	"
中近東地域	3	1	21	216,211	39,013	127,370	1,573	444	トルコ、イラン アフガニスタン
アフリカ地域	3	1	21	363,690	39,013	127,370	1,573	531	エチオピア ザイール

(単位: 千円)

事項及び科目		前年度予算額		昭和56年度 予算額		対前年度比較 増減額		積算 基		破	
区	分	等級	人員	期間	航空賃 円	支度料 円	日当・宿泊料 円	旅行雑費 円	計	目的	
中南米地域		3	1	30	331,662	39,013	(1,510円×30日)+(4,783円×29泊)=184,007	1,573	556	メキシコ、ブラジル ベネズエラ	
派遣専門委員等との業務 打合せ		2	2	16	151,142×2人 = 338,560	44,100×2人 = 88,200	{(1,573円×16日)+(4,846円×15泊)}×2人=195,716	1,573×2人 = 3,146	589	グアタマラ	
中南米事務所長会議		2	3	10	251,711×3人 = 845,760	22,050×3人 = 66,150	{(1,573円×10日)+(4,846円×9泊)}×3人=178,032	1,573×3人 = 4,719	1,003	メキシコ	
技術協力状況調査		2	1	14	108,681	22,050	(1,573円×14日)+(4,846円×13泊)=85,020	1,573	217	バンコック	
"		4	2	14	103,212×2人 = 236,200	22,050×2人 = 44,100	{(1,322円×14日)+(4,154円×13泊)}×2人=145,020	1,573×2人 = 3,146	390	ニューデリー、グアタマラ インドネシア	
供与機材状況調査		3	6	21	186,260×6人 = 1,261,660	39,013×6人 = 234,078	{(1,510円×21日)+(4,783円×20泊)}×6人=764,220	1,573×6人 = 9,438	2,125	バンコック、マニラ ジャカルタ、 クアラルンプール	
業務調査											
(1) 中近東地域	役員	1	21		346,124	54,274	(2,077円×21日)+(6,545円×20泊)=174,517	1,573	576	テヘラン	
"	1	1	21		347,131	49,189	(1,762円×21日)+(5,412円×20泊)=145,242	1,573	543	"	
(2) アジア地域	役員	1	21		297,048	54,274	(2,014円×21日)+(6,230円×20泊)=166,874	1,573	520	インド、パキスタン ビルマ、インドネシア	
"	2	1	21		214,070	44,100	(1,573円×21日)+(4,846円×20泊)=122,253	1,573	390	"	
開発実施計画協議											
(1) 西アフリカ地域	役員	2	30		130,764×2人 = 1,636,920	65,905×2人 = 131,810	{(3,020円×30日)+(9,251円×29泊)}×2人=717,768	1,573×2人 = 3,146	2,314	ナイジェリア ガーナ、セーシェル	
(2) 中近東地域	役員	1	30		712,979	65,905	(3,020円×30日)+(9,251円×29泊)=358,879	1,573	1,139	エジプト、アフガニスタン サウジアラビア、イラン シリア、ヨルダン	
(3) 中南米地域	役員	1	30		647,465	65,905	358,879	1,573	1,074	メキシコ、グアテマラ パルー、ブラジル	

(単位 千円)

事項及び科目		前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算	基礎	積算	基礎	計	目的地
区	办	等級	人員	期間	航空賃	支度料	日当・宿泊料	旅行雑費	計	目的地
調査指導連絡会議	役員	2	29		582,013 × 2人 = 1,164,026	54,274 × 2人 = 108,548	$[(3,020円 \times 29日) + (2,251円 \times 28泊)] \times 2人 = 693,216$	1,573 × 2人 = 3,146	1,969	ジェネラル・ベース
一般調査指導										
(1) 南米地区	3	5	34		388,498 × 5人 = 1,942,490	47,370 × 5人 = 236,850	$[(1,510円 \times 34日) + (4,783円 \times 32泊)] \times 5人 = 1,021,980$	1,573 × 5人 = 7,865	3,214	"
(2) 北米地区	3	1	16		218,985	39,013	$(1,510円 \times 16日) + (4,783円 \times 14泊) = 91,122$	1,573	351	トロント
移住事務連絡会議	3	1	31		388,499	47,370	$(1,510円 \times 31日) + (4,783円 \times 29泊) = 186,577$	1,573	623	ジェネラル・ベース
在外経理指導調査										
中南米地域	3	2	35		388,499 × 2人 = 776,998	47,370 × 2人 = 94,740	$[(1,510円 \times 35日) + (4,783円 \times 33泊)] \times 2人 = 1,121,378$	1,573 × 2人 = 3,146	1,296	"
予算関係指導調査	3	1	35		388,499	47,370	$(1,510円 \times 35日) + (4,783円 \times 33泊) = 210,689$	1,573	648	"
訟務関係調査	3	1	43		388,499	47,370	$(1,510円 \times 43日) + (4,783円 \times 41泊) = 261,033$	1,573	699	"
監査監査	監事	1	34		582,013	65,905	$(2,077円 \times 34日) + (4,645円 \times 32泊) = 280,658$	1,573	930	"
"	3	1	34		388,429	47,370	$(1,510円 \times 34日) + (4,783円 \times 32泊) = 204,376$	1,573	642	"
※ 専門家語学校定										
(1) アジア地域	2	2	30		143,093 × 2人 = 286,186	53,550 × 2人 = 107,100	$[(1,762円 \times 30日) + (5,412円 \times 29泊)] \times 2人 = 412,616$	1,573 × 2人 = 3,146	816	ジャカルタ、マニラ、バンコック
(2) 中近東・アフリカ地域	2	1	30		231,219	53,550	$(1,826円 \times 30日) + (5,664円 \times 29泊) = 219,006$	1,573	506	キンシャサ、カイロ、ナイロビ、テヘラン
(3) 中南米地域	2	1	30		291,177	53,550	219,006	1,573	565	ジェネラル・ベース、ボゴタ、メキシコ
合計			59						34,756	

(62)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎																				
(甲)現地調査費	(1,328) 1,398	1,398	0	調査費 $49,950円 \times 28人 \times \frac{217}{225} = 1,398 (1,398)$																				
(ロ)増員分																								
(項)業務諸費	0	512	512																					
(目)赴任旅費	0	231	231	$115,360円 \times 3人 \times \frac{2}{3} = 231 (0)$																				
<table><tr><th>基準地</th><th>等級</th><th>旅道項</th><th>日当</th><th>宿泊料</th><th>移動料</th><th>着換手当</th><th>計</th></tr><tr><td rowspan="2">名古屋</td><td rowspan="2">5</td><td rowspan="2">(13,560) 13,560</td><td>1,300円×1日</td><td>6,500円×1泊</td><td>110,000円×$\frac{1}{2}$</td><td>(1,300円+6,500円)</td><td rowspan="2">115,360</td></tr><tr><td>= 1,300円</td><td>= 6,500円</td><td>= 55,000円</td><td>×5日 = 39,000円</td></tr></table>					基準地	等級	旅道項	日当	宿泊料	移動料	着換手当	計	名古屋	5	(13,560) 13,560	1,300円×1日	6,500円×1泊	110,000円× $\frac{1}{2}$	(1,300円+6,500円)	115,360	= 1,300円	= 6,500円	= 55,000円	×5日 = 39,000円
基準地	等級	旅道項	日当	宿泊料	移動料	着換手当	計																	
名古屋	5	(13,560) 13,560	1,300円×1日	6,500円×1泊	110,000円× $\frac{1}{2}$	(1,300円+6,500円)	115,360																	
			= 1,300円	= 6,500円	= 55,000円	×5日 = 39,000円																		
(目)庁費	0	281	281	1. 人当庁費 $39,720円 \times 3人 = 119 (0)$ 2. 厚生費 (1) 人当厚生費 $3,900円 \times 3人 = 12 (0)$ (2) 職員厚生費 成人病予防及び精密検診費 $5,210円 \times 3人 = 16 (0)$ 3. 備品費 (初年度備品) $(44,600)$ $44,600円 \times 3人 = 134 (0)$ 計 1 ~ 3 281 (0)																				

(63)

(單位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
(3) 運営審議会経費				
(項) 業務諸費	(1,089) 1,146	1,146	0	
(目) 諸謝金	(313) 329	329	0	2,350 円 × 10 人 × 14 回 = 329 (329)
(目) 委員旅費	(197) 207	207	0	12,937 円 × 1 人 × 1 回 = 207 (207)
(目) 印刷費	(579) 610	610	0	1. 印刷製本費 39 円 × 50 部 × 3 種 × 4 回 = 23 (23) 2. 借料及び送料 3,103 円 × 4 回 = 12 (12) 3. 会議費 1,244 円 × 33 人 × 14 日 = 575 (575) 計 1 ～ 3 610 (610)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	前年度比較 増△減額	積算基礎
(4) 職員研修経費	(10,830) 10,986	8,369	△ 2,617	
(項) 業務諸費	(8,010) 8,166	8,369	203	
(目) 諸謝金	(6,185) 6,317	6,686	369	
				1. 一般研修
				(1) 人事院方式研修者研修
				(3,340) 3,570 円 × 6H × 8日 × 2回 = 343 (321)
				(2) 語学研修講師謝金(初級及び中級)
				英語
				(3,340) 3,500 円 × 2H × 20日 × 4コース × 5カ所 = 2,800 (2,672)
				スペイン語
				(3,340) 3,500 円 × 3H × 12週 × 11人 × 1カ所 = 126 (120)
				ポルトガル語
				(3,340) 3,500 円 × 3H × 12週 × 1コース = 126 (120)
				フランス語
				(3,340) 3,500 円 × 3H × 12週 × 1コース = 126 (120)
				小計
				3,178 (3,032)
				計 (1) + (2)
				3,521 (3,353)
				2. 実務及び専門研修
				(1) 簿記講習(中・上級)
				(2,870) 3,010 円 × 1H × 30人 × 1人 = 90 (86)
				(2) 金融実務講習
				(2,870) 3,010 円 × 2H × 6日 × 1人 = 36 (34)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
				(3) 語学研修(上級)
				(61,050) 64,040円 × 1人 × 3コース = 192(183)
				(4) 中米米穀販賣、融資専門員合同研修(海外)
				(5,510) 6,900円 × 4人 × $\frac{217}{225}$ = 23(22)
				計 (1) ~ (4) 341(325)
				3. 委託研修
				(1) 研修、人事、契約等関係会参加研修
				(18,133) 19,400円 × 15コース × 2人 = 582(544)
				(2) 研修施設員委託研修
				(31,357) 33,550円 × 2コース × 7人 = 470(439)
				(3) 英語研修
				(20,680) 22,130円 × 1月 × 25人 = 553(517)
				(4) フランス語、スペイン語、アラビア語、ポルトガル語研修
				(12,500) 13,380円 × 1月 × 3人 × 4回 = 161(150)
				計 (1) ~ (4) 1,766(1,650)
				4. スペシャリスト養成研修
				(1) 開発エコノミスト養成研修
				(82,432) 88,200円 × 12月 × 1人 = 1,058(989)
				合 計 1 ~ 4 6,686(6,317)

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
(甲) 庁 費	(454) 478	312	△ 166	1. 備品費 語学研修用テープ (1709) $1,840円 \times 2セット \times 3種 \times 8カ所 = 88 (82)$ 2. 図書購入費 (328) $350円 \times 4種 \times 100冊 = 140 (131)$ 3. 印刷製本費 研修用資料作成費 (198) $210円 \times 4種 \times 100冊 = 84 (79)$ 4. 雑役務費 前年度限り 0 (186) 合 計 1 ~ 4 312 (478)
(甲) 職員旅費	(1,371) 1,371	1,371	0	1. 一般研修 (1) 人事院方式監督研修(3等級、2泊3日、センター) (i) 鉄道賃 $2,052円 \times 2 \times 31人 = 127 (127)$ (ii) 日当・宿泊料 $\{ (708円 \times 3日) + (3,280円 \times 2泊) \} \times 31人 = 269 (269)$ 小 計 (i) + (ii) 396 (396) (2) 国内脱脂職員合同業務研修(4等級、3泊4日、センター) (i) 鉄道賃 $2,052円 \times 2 \times 31人 = 127 (127)$ (ii) 日当・宿泊料 $\{ (643円 \times 4日) + (2,251円 \times 3泊) \} \times 31人 = 289 (289)$ 小 計 (i) + (ii) 416 (416) 計 (1) + (2) 812 (812)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				2. 専門研修
				(1) 農業試験研修(東京～平塚、4等級、10泊/1日)
				(イ) 鉄道賃 $6,250円 \times 2 \times 4人 \times 1回 = 50(50)$
				(ロ) 日当・宿泊料 $\{(643円 \times 11日) + (2,257円 \times 10泊)\}$
				$\times 4人 \times 1回 = 119(119)$
				小計 (イ) + (ロ) 169(169)
				(2) 農業機械技術研修(東京～内原、4等級、9泊/10日)
				(イ) 鉄道賃 $8,349円 \times 2 \times 3人 \times 1回 = 50(50)$
				(ロ) 日当・宿泊料 $\{(643円 \times 10日) + (2,257円 \times 9泊)\}$
				$\times 3人 \times 1回 = 81(81)$
				小計 (イ) + (ロ) 131(131)
				(3) 養蚕技術研修(東京～長野、4等級、9泊/10日)
				(イ) 鉄道賃 $8,750円 \times 2 \times 2人 \times 1回 = 35(35)$
				(ロ) 日当・宿泊料 $\{(643円 \times 10日) + (2,257円 \times 9泊)\}$
				$\times 2人 \times 1回 = 53(53)$
				小計 (イ) + (ロ) 88(88)
				(4) 畜産技術研修(東京～白河、4等級、9泊/10日)
				(イ) 鉄道賃 $8,500円 \times 2 \times 2人 \times 1回 = 34(34)$
				(ロ) 日当・宿泊料 $\{(643円 \times 10日) + (2,257円 \times 9泊)\}$
				$\times 2人 \times 1回 = 53(53)$
				小計 (イ) + (ロ) 87(87)
				(5) 農業土木技術研修
				(東京～平塚、4等級、10泊/1日)
				(イ) 鉄道賃 $6,250円 \times 2 \times 2人 \times 1回 = 25(25)$

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				(甲) 日当・宿泊料 $\{(643円 \times 11日) + (2,257円 \times 10泊)\}$ $\times 2人 \times 1回 = 59(59)$
				小 計 (イ) + (ロ) 84(84)
				計 (イ) ~ (イ)
				合 計 1 + 2 1,371(1,371)
(項) 外国旅費				
(目) 外国研修旅費	(2,820) 2,820	0	△ 2,820	前年度限り

(69)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	前年度比増減額	積算基礎
2. 海外事務所に必要な経費	(715,198) 732,618	864,155	134,537	
(項) 外国旅費	(256,995) 263,063	329,722	66,659	
(目) 外国赴帰任旅費	(141,697) 141,697	167,637	25,940	
				1. 海外事務所 (テヘラン基準、家族構成2.5人、3等級)
				(1) 赴任 (前年度4件、交替赴任11件、計15件)
				航空賃 $\frac{(284,710)}{318,880円 \times 2.5人} = \frac{(711,775)}{797,200円}$
				支度料 $190,000円 \times (1 + \frac{2}{3}) = 316,667$
				移動料 $377,600円 \times (1 + \frac{15}{100}) = 434,125$
				着後手当 $13,555円 \times \frac{6}{3} \times 10日 = 271,100$
				日当 $3,200円 \times \frac{6}{3} = 6,400$
				旅行雑費 20,000
				小計 $\frac{(1,760,067)}{1,845,492円 \times 15件} = \frac{(9)}{27,682 (15,841)}$
				(2) 帰任 (交替帰任11件)
				航空賃 $\frac{(284,710)}{318,880円 \times 2.5人} = \frac{(711,775)}{797,200円}$
				移動料 $377,500円 \times (1 + \frac{15}{100}) = 434,125$
				着後手当 $9,700円 \times \frac{6}{3} \times 5日 = 97,000$
				日当 $3,200円 \times \frac{6}{3} = 6,400$
				旅行雑費 9,570
				小計 $\frac{(1,258,070)}{1,344,295円 \times 11件} = \frac{(8)}{14,187 (10,071)}$
				計 (1) + (2) 42,469 (25,912)

(70)

(単位 千円)

事 項 及 び 科 目	前年度予算額	昭和56年度 予 算 額	対前年度比較 増△減額	積 算 基 礎
				2. 本部～海外支那支店旅費 (フエ) スタイレス基準、家族構成3.5人、3等級)
				(20)
				(1) 赴 任 (交替赴任 21人)
				航空賃 $\frac{(400,180)}{448,200円} \times 3.5人 = 1,401$
				支度料 $150,000円 \times (1 + \frac{2}{3}) = 250$
				移転料 $302,000円 \times (1 + \frac{30}{100}) = 393$
				着検手当 $(2,600円 + 8,100円) \times \frac{8}{3} \times 10日 = 285$
				日 当 $2,600円 \times \frac{8}{3} \times 3日 = 21$
				宿泊料 $8,100円 \times \frac{8}{3} \times 1泊 = 22$
				旅行雑費 $4,000円 \times 4人 = 16$
				小 計 $\frac{(2,388)}{2,556} \times \frac{(20)}{21件} = 53,646 (47,760)$
				(2) 帰 国 (交替帰任 21人)
				航空賃 $\frac{(400,180)}{448,200円} \times 3.5人 = 1,401$
				移転料 $302,000円 \times (1 + \frac{30}{100}) = 393$
				着検手当 $(850円 + 4,100円) \times \frac{8}{3} \times 5日 = 66$
				日 当 $2,600円 \times \frac{8}{3} \times 3日 = 21$
				宿泊料 $8,100円 \times \frac{8}{3} \times 1泊 = 22$
				旅行雑費 //
				小 計 $\frac{(1,907)}{2,076} \times \frac{(20)}{21件} = 43,575 (38,140)$
				計 (1) + (2) 97,251 (85,900)
				3. 駐在員事務所(テヘラン基準、家族構成3.5人、3等級)
				(6) (6)
				(1) 赴 任 (交替赴任、5人、計5人)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比 増△減額	積算 基 礎
				航空賃 $(224,700)$ $251,660円 \times 3.5人 = (786)$ 支度料 $150,000円 \times (1 + \frac{2}{3}) = 250$ 移転料 $274,800円 \times (1 + \frac{30}{100}) = 357$ 着後手当 $(2,600円 + 8,100円) \times \frac{8}{3} \times 10日 = 285$ 日当宿泊料 $(2,600円 + 8,100円) \times \frac{8}{3} \times 2日 = 57$ 旅行雑費 $2,500円 \times 3.5人 = 9$ 小計 $(1,744)$ $1,839 \times 5件 = 9,175 (10,464)$
				(6) (2) 帰国 (交替帰国 5人) 航空賃 $(224,700)$ $251,660円 \times 3.5人 = (786)$ 移転料 $274,800円 \times (1 + \frac{30}{100}) = 375$ 着後手当 $(1,100円 + 5,100円) \times \frac{8}{3} \times 5日 = 83$ 日当宿泊料 $(2,600円 + 8,100円) \times \frac{8}{3} \times 2日 = 57$ 旅行雑費 $2,500円 \times 3.5人 = 9$ 小計 $(1,292)$ $1,405 \times 5件 = 7,025 (7,752)$
				計 (1) + (2) $16,220 (18,216)$
				4. 海外支部関係旅費 (リンパウロ～アスンシオン基準、家族構成3.5人、4名級) 航空賃 $(35,800)$ $40,100円 \times 3.5人 = (140)$ 移転料 $221,000円 \times (1 + \frac{30}{100}) = 287$ 着後手当 $(3,200円 + 2,800円) \times \frac{8}{3} \times 10日 = 347$ 日当宿泊料 $3,200円 \times \frac{8}{3} = 9$ 旅行雑費 5 計 (773) $788 \times 7件 = 5,516 (5,411)$

(22)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
				5. 海外政内間交通旅費 (サンパウロ〜ブラジリア基準、家族構成3.5人、4等級) 航空賃 $\frac{(21,430)}{24,000円} \times 3.5人 = \frac{(75)}{84}$ 移転料 $128,460円 \times (1 + \frac{30}{100}) = 167$ 着後手当 $(2,330円 + 7,150円) \times \frac{8}{3} \times 5日 = 126$ 計 $\frac{(368)}{377} \times 17件 \times \frac{217}{225} = 6,181 (6,268)$ 合 計 1 ~ 5 167,637 (141,697)
(H) 子女呼寄せ旅費	(1,420) 1,495	1,538	43	1. 海外事務所 (テヘラン基準) $\frac{(298,485)}{(334,300 \times \frac{75}{100} - 20,000円)} \times (49人 - 9人) \times \frac{1}{3} \times \frac{1}{2} = 1,538 (1,495)$
(目) 在外職員活動旅費	(51,664) 54,383	59,504	5,121	1. 海外事務所 (イ) 既 設 航空賃 $\frac{(29,925)}{33,520円} \times 1回 \times (12月 \times 22カ所) = 8,849 (7,669)$ 日当宿泊料 $\{(1,818円 \times 4日) + (5,664円 \times 3泊)\} \times 1回 \times (12月 \times 22カ所) = 6,406 (6,218)$ 小 計 15,255 (13,887) (ロ) 新 設 航空賃 $33,520円 \times 3月 \times 1カ所 = 101 (0)$ 日当宿泊料 $\{(1,818円 \times 4日) + (5,664円 \times 3泊)\} \times 1回 \times 3月 \times 1カ所 = 73 (0)$

(単位 千円)

事 項 及 び 科 目	前年度予算額	昭和56年度 予 算 額	対前年度比 増△減 額	積 算 基 礎
				小 計 174 (0)
				計 (イ) + (ロ) 15,429 (13,887)
				2. 海外支部
				航空賃 (32,120) $35,970 \text{ 円} \times 2 \text{ 月} \times 12 \text{ 月} \times 13 \text{ 加所} = 11,223 (10,021)$
				日当預油料 $\{ (1,222 \text{ 円} \times 4 \text{ 日}) + (3,806 \text{ 円} \times 3 \text{ 日}) \} \times 2 \text{ 月}$ $\times 12 \text{ 月} \times 13 \text{ 加所} = 5,087 (5,087)$
				計 $16,310 \times \frac{217}{225} = 15,430 (15,108)$
				3. 駐在員事務所
				(イ) 既 定 分 (120,553) $135,020 \text{ 円} \times 16 \text{ 加所} \times 12 \text{ 月} = 25,924 (23,146)$
				4. 融資管理旅費
				(イ) 現地一般融資の新規貸付及び既貸付債権管理旅費 (158,953) $178,030 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} \times \frac{217}{225} = 2,060 (1,907)$
				(ロ) 更生資金貸付及び指導旅費 (27,867) $31,210 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} \times \frac{217}{225} = 361 (335)$
				計 (イ) + (ロ) 2,421 (2,242)
				合 計 1 ～ 4 59,504 (54,383)
(目) 一時帰国旅費	(62,214) 65,488	701,043	35,555	1. 海外事務所 (テヘラン基準)
				(イ) 一時帰国旅費
				航空賃 (314,200) (8) (6,284) $351,900 \text{ 円} \times 2.5 \text{ 人} \times 9 \text{ 人} = 7,918$
				日 当 $1,812 \text{ 円} \times 1 \text{ 日} \times 2 \text{ 回} \times \frac{6}{3} \times 9 \text{ 人} = 65$ (8) (58)

				(単位 千円)	
事項及び科目	前年度予算額	当年度予算額	対前年度比較増△減額	積算	基礎
				(ロ) 総引帰国旅費	7,983 (8,342)
				航空賃	
				$\frac{(535,860)}{(600,160円 - 50,000円)} \times 49人 \times \frac{(52)}{3} \times \frac{45}{1000} = 809$	(758)
				(ハ) 海外事務所長会議出席旅費(2等級)	
				航空賃、日当宿泊料	
				$\frac{(535,860)}{600,160円 + (3,800円 \times 10日) + (11,400円 \times 9泊)} \times 22人 = 16,297$	(14,882)
				計 (イ) ~ (ハ)	25,089 (21,982)
				2. 海外支部 (ブエノスアイレス基準)	
				(イ) 一時帰国旅費	
				航空賃	$\frac{(440,657)}{493,540円} \times 3.5 = 1,727$
				日当宿泊料 $\{(2,937円 \times 2日) + (2,657円 \times 1日) + 8,880円\}$	
				$\times \frac{8}{3} \times 2往復 = 93$	
				小計 $\frac{(1,635)}{1,820} \times \frac{(5)}{20件} = 36,400$	(5) (8,177)
				(ロ) 総引帰国旅費	
				航空賃	$\frac{(666,400)}{(746,370円 - 50,000円)} \times 5件 = 3,482$
				(ハ) 海外支部長会議出席旅費(2等級)	
				航空賃、日当、宿泊料	
				$\frac{(691,220)}{774,170円 + (3,800円 \times 10日) + (11,400円 \times 9泊)} \times 13人 = 11,892$	(10,814)
				計 (イ) ~ (ハ)	51,774 (22,073)
				3. 駐在員事務所 (テヘラン基準)	
				(イ) 一時帰国旅費	

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎 (単位:千円)
				航空賃 $\frac{(449,400)}{503,330円 \times 3.5人} = \frac{(1,573)}{1,762}$ 日当 $4,200円 \times 1日 \times 2回 \times \frac{8}{3} = 22$ 小計 $\frac{(1,595)}{1,784} \times \frac{(6)}{7件} = 12,488 (9,570)$ (ロ) 尾引帰国旅費 航空賃 $\frac{(535,860)}{600,160円 - 50,000円} \times 1人 = 550 (486)$ (ハ) 駐在員会議出席旅費 航空賃 $\frac{(535,860)}{600,160円} \times \frac{(18)}{16場所} = \frac{(9,645)}{9,603}$ 日当・宿泊料 $\{[(3,800円 \times 2日 \times 2) + (11,400円 \times 1日 \times 2)] + [(1,600円 + 8,100円) \times 6日]\} \times \frac{(18)}{16場所} = \frac{(1,732)}{1,539}$ 小計 11,142 (11,377) 計 (イ) ~ (ハ) 24,180 (21,433) 合計 1 ~ 3 101,043 (65,488)
(項) 業務諸費	$\frac{(446,488)}{457,223}$	524,587	67,364	
(目) 諸謝金	$\frac{(14,714)}{14,714}$	15,433	719	(イ) 顧問謝金 $\frac{(133,371)}{142,710円} \times 1人 \times 12月 = 1,713 (1,361)$ (ロ) 嘱託謝金 $\frac{(61,941)}{66,280円} \times 5人 \times 12月 = 3,977 (3,716)$ (ハ) 弁護士謝金 $\frac{(39,181)}{41,920円} \times \frac{(13)}{13人} \times 12月 = 6,540 (6,112)$ (ニ) 会計士謝金 $\frac{(32,782)}{35,080円} \times 1人 \times 12月 = 421 (393)$ (ホ) カナダ協力員謝金 $\frac{(16,220)}{17,360円} \times 6人 \times 12月 = 1,250 (1,168)$

(単位: 千円)

事 項 及 び 科 目	前年度予算額	昭和56年度 予 算 額	対前年度比較 増 減 額	積 算 基 礎																																																												
(B) 方 費	(311,961) 317,333	377,373	60,040	(b) 重 拓 謝 金 $\frac{(163,618)}{175,070 \times 1人 \times 12月} = 2,101 (1,964)$ 計 (1) ~ (b) $16,002 \times \frac{217}{225} = 15,433 (14,714)$ 1. 人 当 庁 費 $\frac{(57,602)}{62,210円 \times 182人 \times \frac{217}{225}} = 10,920 (11,060)$ 海外支部 $\frac{(192)}{182人}$ 2. 厚 生 費 $\frac{(3,725)}{4,020円 \times 182人 \times \frac{217}{225}} = 706 (715)$ 3. 備 品 費 (1) 海外事務所 (2) 既 設 分 <table border="1"> <thead> <tr> <th>海外事務所名</th><th>品 名</th><th>数 量</th><th>区 分</th><th>金 額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バンコック</td><td>応 接 セ ッ ト</td><td>1</td><td>箱 規</td><td>220</td></tr> <tr> <td>ジャカルタ</td><td>会議用テーブル及椅子</td><td>1セット</td><td>"</td><td>714</td></tr> <tr> <td></td><td>応 接 セ ッ ト</td><td>1</td><td>"</td><td>352</td></tr> <tr> <td></td><td>レ タ ー ケ ー ス</td><td>1</td><td>"</td><td>293</td></tr> <tr> <td>マ ニ ラ</td><td>電動タイプライター</td><td>1</td><td>"</td><td>250</td></tr> <tr> <td>ナ イ ロ ビ</td><td>電動タイプライター</td><td>1</td><td>"</td><td>370</td></tr> <tr> <td>カ イ ロ</td><td>ファイルキャビネット</td><td>1</td><td>"</td><td>25</td></tr> <tr> <td></td><td>会議用テーブル及椅子</td><td>1セット</td><td>"</td><td>336</td></tr> <tr> <td>リ マ</td><td>書 棚</td><td>1</td><td>"</td><td>150</td></tr> <tr> <td>増員分初年度備品</td><td>事務机及椅子等</td><td></td><td>"</td><td>1,547</td></tr> <tr> <td>小 計</td><td></td><td></td><td></td><td>4,257</td></tr> </tbody> </table>	海外事務所名	品 名	数 量	区 分	金 額	バンコック	応 接 セ ッ ト	1	箱 規	220	ジャカルタ	会議用テーブル及椅子	1セット	"	714		応 接 セ ッ ト	1	"	352		レ タ ー ケ ー ス	1	"	293	マ ニ ラ	電動タイプライター	1	"	250	ナ イ ロ ビ	電動タイプライター	1	"	370	カ イ ロ	ファイルキャビネット	1	"	25		会議用テーブル及椅子	1セット	"	336	リ マ	書 棚	1	"	150	増員分初年度備品	事務机及椅子等		"	1,547	小 計				4,257
海外事務所名	品 名	数 量	区 分	金 額																																																												
バンコック	応 接 セ ッ ト	1	箱 規	220																																																												
ジャカルタ	会議用テーブル及椅子	1セット	"	714																																																												
	応 接 セ ッ ト	1	"	352																																																												
	レ タ ー ケ ー ス	1	"	293																																																												
マ ニ ラ	電動タイプライター	1	"	250																																																												
ナ イ ロ ビ	電動タイプライター	1	"	370																																																												
カ イ ロ	ファイルキャビネット	1	"	25																																																												
	会議用テーブル及椅子	1セット	"	336																																																												
リ マ	書 棚	1	"	150																																																												
増員分初年度備品	事務机及椅子等		"	1,547																																																												
小 計				4,257																																																												

(22)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算集																																														
				(ロ)新設分																																														
				<table> <tr> <th>海外事務所名</th><th>品名</th><th>数量</th><th>区別</th><th>金額</th></tr> <tr> <td rowspan="8">コロンボ(スル)</td><td>事務机及び椅子</td><td>5</td><td>新規</td><td>800</td></tr> <tr> <td>会議用テーブル及び椅子</td><td>2</td><td>"</td><td>960</td></tr> <tr> <td>応接セット</td><td>2</td><td>"</td><td>774</td></tr> <tr> <td>書庫類(本棚、キーパー)</td><td>4</td><td>"</td><td>880</td></tr> <tr> <td>ファイル・キャビネット</td><td>5</td><td>"</td><td>100</td></tr> <tr> <td>複写機</td><td>2</td><td>"</td><td>2,600</td></tr> <tr> <td>電動タイプライター</td><td>2</td><td>"</td><td>1,320</td></tr> <tr> <td>卓上計算機</td><td>2</td><td>"</td><td>280</td></tr> <tr> <td>小計</td><td></td><td></td><td></td><td>7,714</td></tr> </table>	海外事務所名	品名	数量	区別	金額	コロンボ(スル)	事務机及び椅子	5	新規	800	会議用テーブル及び椅子	2	"	960	応接セット	2	"	774	書庫類(本棚、キーパー)	4	"	880	ファイル・キャビネット	5	"	100	複写機	2	"	2,600	電動タイプライター	2	"	1,320	卓上計算機	2	"	280	小計				7,714			
海外事務所名	品名	数量	区別	金額																																														
コロンボ(スル)	事務机及び椅子	5	新規	800																																														
	会議用テーブル及び椅子	2	"	960																																														
	応接セット	2	"	774																																														
	書庫類(本棚、キーパー)	4	"	880																																														
	ファイル・キャビネット	5	"	100																																														
	複写機	2	"	2,600																																														
	電動タイプライター	2	"	1,320																																														
	卓上計算機	2	"	280																																														
小計				7,714																																														
				(イ) その他前年度限り 0 (4,257) 計 (イ) ~ (ロ) 11,971 (4,257)																																														
				(2) 海外支部																																														
				<table> <tr> <th>海外支部名</th><th>品名</th><th>数量</th><th>区別</th><th>金額</th></tr> <tr> <td>サンパウロ</td><td>卓上計算機</td><td>1</td><td></td><td>171</td></tr> <tr> <td rowspan="3">ベレン</td><td>電話機</td><td>1</td><td></td><td>318</td></tr> <tr> <td>電動タイプライター</td><td>1</td><td></td><td>332</td></tr> <tr> <td>クーラー</td><td>2</td><td></td><td>261</td></tr> <tr> <td rowspan="2">レシフェ</td><td>輪転機</td><td>1</td><td></td><td>570</td></tr> <tr> <td>輪転機</td><td>1</td><td></td><td>617</td></tr> <tr> <td>ホルトアレグレ</td><td>簡易電話交換機</td><td>1セット</td><td></td><td>414</td></tr> <tr> <td rowspan="2">アスンシオン</td><td>机及び椅子</td><td>3</td><td></td><td>339</td></tr> <tr> <td>外電機</td><td>1</td><td></td><td>2,373</td></tr> </table>	海外支部名	品名	数量	区別	金額	サンパウロ	卓上計算機	1		171	ベレン	電話機	1		318	電動タイプライター	1		332	クーラー	2		261	レシフェ	輪転機	1		570	輪転機	1		617	ホルトアレグレ	簡易電話交換機	1セット		414	アスンシオン	机及び椅子	3		339	外電機	1		2,373
海外支部名	品名	数量	区別	金額																																														
サンパウロ	卓上計算機	1		171																																														
ベレン	電話機	1		318																																														
	電動タイプライター	1		332																																														
	クーラー	2		261																																														
レシフェ	輪転機	1		570																																														
	輪転機	1		617																																														
ホルトアレグレ	簡易電話交換機	1セット		414																																														
アスンシオン	机及び椅子	3		339																																														
	外電機	1		2,373																																														

(28)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎																														
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>海外支部名</th><th>品名</th><th>数量</th><th>区別</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td>卓上計算機</td><td>1</td><td></td><td>528</td></tr> <tr> <td>プエノスアイス</td><td>応接セット</td><td>1</td><td></td><td>180</td></tr> <tr> <td></td><td>会議用テーブル</td><td>1</td><td></td><td>344</td></tr> <tr> <td>リントドミンゴ</td><td>冷蔵庫</td><td>1</td><td></td><td>200</td></tr> <tr> <td>計</td><td></td><td></td><td></td><td>6,647</td></tr> </tbody> </table> その他前年度限り 0 (6,411) 計 $6,647 \times \frac{217}{225} = 6,411$ (6,411) (3) 駐在員事務所 ① 事務所 (1) 既 定 $\frac{(21,530)}{23,250 \text{ 円}} \times 16 \text{ カ所} = 372$ (323) (2) 連 帯 所 (1) 既 定 $\frac{(21,530)}{23,250 \text{ 円}} \times 21 \text{ カ所} = 488$ (453) 計 ① + ② 860 (776) 合 計 (1) ~ (3) 19,242 (11,444) 4. 現地雇人費 (1) 海外事務所 (1) 既 設 分 高級クレーク $\frac{(742.88)}{793.75 \text{ フル}} \times 13 \text{ 月} \times 8 \text{ 人} \times 217 \text{ 円} = 17,918$ (16) (225) (13,022) クレーク $\frac{(282.85)}{307.52 \text{ フル}} \times 13 \text{ 月} \times 20 \text{ 人} \times 217 \text{ 円} = 17,353$ (18) (225) (14,487) タイピスト等 $\frac{(200.82)}{214.75 \text{ フル}} \times 13 \text{ 月} \times 22 \text{ 人} \times 217 \text{ 円} = 13,340$ (225) (12,476)	海外支部名	品名	数量	区別	金額		卓上計算機	1		528	プエノスアイス	応接セット	1		180		会議用テーブル	1		344	リントドミンゴ	冷蔵庫	1		200	計				6,647
海外支部名	品名	数量	区別	金額																														
	卓上計算機	1		528																														
プエノスアイス	応接セット	1		180																														
	会議用テーブル	1		344																														
リントドミンゴ	冷蔵庫	1		200																														
計				6,647																														

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				小 計 48,611 (39,985) (Ⅱ) 新 設 分 (ノカ所) ク ラ ーク $\frac{(287.55)}{307.52 \text{ドル}} \times 3 \text{月} \times 1 \text{人} \times 217 \text{円} = 200$ タイピスト等 $\frac{(200.87)}{214.95 \text{ドル}} \times 3 \text{月} \times 1 \text{人} \times 217 \text{円} = 140$ 小 計 340 (0) 計 (Ⅰ) + (Ⅱ) 48,951 (39,985) (2) 海 外 支 部 $\frac{(44,780)}{47,910 \text{円}} \times 13 \text{月} \times 31 \text{人} \times \frac{217}{225} = 18,621 (18,046)$ (3) 駐在員事務所 ① 事 務 所 (Ⅰ) 既 設 分 高級クラーク $\frac{(742.00)}{793.75 \text{ドル}} \times 13 \text{月} \times 4 \text{カ所} \times 217 \text{円} = 8,959$ (3) (225) (6,511) タイピスト等 $\frac{(200.87)}{214.95 \text{ドル}} \times 13 \text{月} \times 14 \text{カ所} \times 217 \text{円} = 8,489$ (14) (225) (8,226) 小 計 17,448 (14,737) ② 連 絡 所 (Ⅰ) 既 設 分 $\frac{(81.69)}{87.42 \text{ドル}} \times 13 \text{月} \times 21 \text{カ所} \times 217 \text{円} = 5,178$ (225) (5,018) 計 ① + ② 22,626 (19,755) 合 計 (Ⅰ) ~ (3) 90,198 (77,786) 5. 通信運搬費 (Ⅰ) 海外事務所 (Ⅰ) 既 設 分 $\frac{(26,920)}{29,070 \text{円}} \times 12 \text{月} \times 22 \text{カ所} = 7,674$ (6,864) (Ⅱ) 新 設 分

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎 (単位:千円)
				$30,300 \text{ 円} \times 3 \text{ 月} \times 1 \text{ カ所} = \frac{(0)}{91}$ (ハ) テレックス使用料 ① 既設 $\frac{(840)}{910 \text{ 円} \times 13 \text{ 回} \times 20 \text{ 日} \times \{(12 \text{ 月} \times 11 \text{ カ所}) + (3 \text{ 月} \times 1 \text{ カ所})\}} = \frac{(26,842)}{31,741}$ 小計 (イ) ~ (ハ) $32,706 \times \frac{217}{225} = 38,294 (33,706)$ (2) 海外支部 $\frac{(58,440)}{63,120 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} \times 13 \text{ カ所} \times \frac{217}{225}} = 9,497 (9,117)$ (3) 駐在員事務所 (イ) 既設 $\frac{(24,646)}{26,620 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} \times 16 \text{ カ所}} = \frac{(4,732)}{5,111}$ (ロ) テレックス使用料 ① 既設 $\frac{(2,058)}{2,220 \text{ 円} \times 10 \text{ 日} \times 12 \text{ 月} \times 16 \text{ カ所}} = \frac{(10)}{4,262} (3,951)$ 小計 (イ) + (ロ) $2,323 \times \frac{217}{225} = 9,040 (8,683)$ 計 (1) ~ (3) $56,831 (51,506)$ 6. テレックス設置費 $\frac{(1,804,491)}{1,948,850 \text{ 円} \times 1 \text{ カ所}} = \frac{(1)}{1,949} (1,805)$ 7. 借料及び損料 (イ) 海外事務所 (イ) 既設 $\frac{(81,330)}{87,840 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} \times 17 \text{ カ所} \times \frac{217}{225}} = \frac{(21)}{17,282} (19,689)$ (ロ) 合計 (ナイロビ、クアラ Lumpur、ダレサラム)

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
				① ナイロビ 賃借料 $\frac{KSh 50,4430}{\text{Sh } 7,3593} / m^2 \times 220 m^2 \times 217 m = 976$ 管理費 $976 \text{ 千円} \times 0.2 = 195$ 小計 $1,171 \times 12 \text{ 月} = 14,052$
				② グアランプール 賃借料 $\frac{KSh 22,125}{\text{Sh } 2,1745} / m^2 \times 220 m^2 \times 217 m = 486$ 管理費 $486 \times 0.2 = 97$ 小計 $583 \times 12 \text{ 月} = 6,996$
				③ ダレサラム 賃借料 $\frac{TSh 230,131}{\text{Sh } 8,2893} / m^2 \times 220 m^2 \times 217 m = 1,326$ 管理費 $1,326 \times 0.2 = 265$ 小計 $1,591 \times 12 \text{ 月} = 19,092$
				計 ① ~ ③ $40,140 (0)$
				(イ) 事務所借上(バンコック) 賃借料 $\frac{\text{Sh } 431,2763}{\text{Sh } 20,425} / m^2 \times 300 m^2 \times 217 m = 1,375$ 管理費 $1,375 \times 0.2 = 275$ 小計 $1,650 \times 12 \text{ 月} = 19,800 (0)$
				(ニ) 新設分 $128,320 \text{ 円} \times 3 \text{ 月} \times 1 \text{ 割} \times \frac{217}{225} = 371 (0)$
				(ホ) テレックス伝真機料(バンコック、マニラ、ボゴタ) $(276,000)$ $298,080 \text{ 円} \times 3 \text{ カ所} \times \frac{217}{225} = 862 (828)$
				(ヘ) その他前年度限り $0 (32,081)$
				計 (イ) ~ (ヘ) $48,455 (52,607)$
				(2) 海外支部 (イ) 賃借料 $(4,018,586)$ $4,334,670 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} = 52,016 (48,163)$

(82)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	前年度比 増△減額	積算 基礎
				(II) 現職職員宿舍料 (74,410) (6,697) $80,360円 \times 15人 \times 12月 \times \frac{1}{2} = 7,232$ 小計 (I) + (II) $59,248 \times \frac{217}{225} = 57,141$ (54,195) (3) 駐在員事務所 (I) 事務所 (55,505) (16) (10,657) 既設分 $59,950円 \times 12月 \times 13カ所 = 9,352$ (II) 連絡所 (55,500) (13,986) 既設分 $59,940円 \times 12月 \times 21カ所 = 15,105$ 小計 (I) + (II) $24,457 \times \frac{217}{225} = 23,587$ (24,643) 計 (I) ~ (3) 159,183 (132,110) 8. 自動車購入費 (I) 海外事務所 (1,228,500) (6) (7,372) (I) 既設分 $1,326,780円 \times 6台 = 7,961$ (II) 新設分 (0) $1,326,780円 \times 1台 = 1,327$ 小計 (I) + (II) 9,288 (7,372) (2) 海外支部 (1,490,258) (12) (217) $1,609,480円 \times 14台 \times \frac{217}{225} = 21,732$ (17,883) (3) 駐在員事務所 (1,130,272) (5) (5,652) (I) 既設分 $1,220,690円 \times 6台 = 7,324$ 計 (I) ~ (3) 38,344 (30,907) 総計 1 ~ 8 377,373 (317,333)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 渡切費	(112,129) 117,443	123,687	6,244	1. 渡切費 (1) 海外事務所 (イ) 既設分 $\frac{(614,10)}{663,23 \text{ 円}} \times 12 \text{ 月} \times 22 \text{ カ所} \times 217 \text{ 円} = 37,995$ $\frac{(225)}{(35,250)}$ (ロ) 新設分 $\frac{(0)}{663,23 \text{ 円}} \times 3 \text{ 月} \times 1 \text{ カ所} \times 217 \text{ 円} = 432$ $\frac{(0)}$ 小計 (イ) + (ロ) 38,427 (35,250) (2) 海外支部 $\frac{(833,22)}{(900,22 \text{ 円} \times 10 \text{ カ所}) + (1,008,22 \text{ 円} \times 3 \text{ カ所})} \times 12 \text{ 月} \times 217 \text{ 円} = 31,312$ $\frac{(933,57)}{(225)} (30,061)$ (3) 駐在員事務所 ① 事務所 既設分 $\frac{(666,21)}{720,25 \text{ 円}} \times 12 \text{ 月} \times 16 \text{ カ所} \times 217 \text{ 円} = 30,000$ $\frac{(225)}{(28,802)}$ ② 連絡所 既設分 $\frac{(214,61)}{234,29 \text{ 円}} \times 12 \text{ 月} \times 2 \text{ カ所} \times 217 \text{ 円} = 12,850$ $\frac{(225)}{(12,168)}$ 小計 ① + ② 42,850 (40,970) 計 (1) ~ (3) 112,589 (106,281) 2. 勤務環境改善費 (1) 海外事務所

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
	対象地域	保養地	航空賃	日当、宿泊料
			円	円
(アジア地域)				$\{30\text{円} + (10\text{円} \times 4人)\} \times 14日 \times 225$
バングラデッシュ	シンガポール	(119,886) (299,715) $134,270 \times 2.5人 = 335,675$		= 220,461
ネパール	カトマンズ	(138,146) (345,365) $154,720 \times 2.5人 = 386,800$		220,461
(中近東地域)				
サウジアラビア	ローマ	(238,363) (598,908) $266,970 \times 2.5人 = 667,425$		220,461
(アフリカ地域)				
ナイジェリア	マドリッド	(242,584) (606,460) $271,670 \times 2.5人 = 679,225$		220,461
タンザニア	ローマ	(276,190) (690,475) $307,330 \times 2.5人 = 773,325$		220,461
(中南米地域)				
ボリビア(ラパス)	ブエノスアイレス	(154,429) (386,073) $60,960 \times 2.5人 = 152,400$		220,461
計				
				6
				(3,997) 4,318
				$4,318 \times \frac{217}{225} = 4,164 (3,997)$

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
(2) 駐在員事務所				
対象地域	保養地	抵空賃	日当・留泊料	小計 人数 計
(アジア地域)			円 円	千円
			$\{30\text{F} + (10\text{F}) \times 4人\} \times 14日 \times 225 =$	
バングラディッシュ	シンガポール	(119,886) (419,601) $134,270 \times 3.5人 = 469,945$	(315,000) 220,500	(734,601) 690,445 1 (735) 690
ネパール	"	(138,146) (483,511) $154,720 \times 3.5人 = 541,520$	(315,000) 220,500	(798,511) 762,020 1 (798) 762
(アフリカ地域)				
エチオピア	ロニーマ	(220,702) (772,457) $247,190 \times 3.5人 = 865,165$	(315,000) 220,500	(1,087,457) 1,085,665 1 (1,087) 1,086
タンザニア	"	(246,190) (966,665) $309,330 \times 3.5人 = 1,092,655$	(315,000) 220,500	(1,281,665) 1,303,155 1 (1,282) 1,303
マラウイ	"	(293,069) (1,025,741) $328,240 \times 3.5人 = 1,148,840$	(315,000) 220,500	(1,340,741) 1,369,340 1 (1,341) 1,369
ガーナ	マドリッド	(260,113) (712,495) $292,000 \times 3.5人 = 1,022,000$	(315,000) 220,500	(1,227,495) 1,242,500 1 (1,228) 1,243
計				6 (6,471) 6,453

$$6,453 \times \frac{217}{225} = 6,224(6,471)$$

計 (1) + (2) 10,388(10,468)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎			
				3. 高地并索費 (1) 海外事務所 (家族構成 2.5人 等級 3号)			
対象地域	保養地	航 空 賃		日 当、宿 泊 料	小 計	回 数	計
メキシコ	アカプルコ	$\begin{array}{l} (16,600) \\ (18,590 \times 2.5人) \times 3家族 = 139,425 \end{array}$		$\begin{array}{l} \text{円} \\ \{30\text{円} + (10\text{円} \times 2人)\} \times 4日 \times 3家族 \times 225 \\ = 135,000 \end{array}$	$\begin{array}{l} \text{円} \\ (259,500) \\ 274,525 \end{array}$	1	$\begin{array}{l} \text{千円} \\ (260) \\ 275 \end{array}$
ボゴタ	サンタマルタ	$\begin{array}{l} (17,400) \\ (19,490 \times 2.5人) \times 2家族 = 97,450 \end{array}$		$\begin{array}{l} \text{円} \\ \{30\text{円} + (10\text{円} \times 2人)\} \times 4日 \times 2家族 \times 225 \\ = 90,000 \end{array}$	$\begin{array}{l} \text{円} \\ (177,000) \\ 187,450 \end{array}$	1	$\begin{array}{l} \text{千円} \\ (177) \\ 187 \end{array}$
ラパス	サンタクルス	$\begin{array}{l} (16,800) \\ (18,820 \times 2.5人) \times 1家族 = 47,050 \end{array}$		$\begin{array}{l} \text{円} \\ \{30\text{円} + (10\text{円} \times 2人)\} \times 4日 \times 1家族 \times 225 \\ = 45,000 \end{array}$	$\begin{array}{l} \text{円} \\ (87,000) \\ 92,050 \end{array}$	1	$\begin{array}{l} \text{千円} \\ (87) \\ 92 \end{array}$
計						3	554
					$554 \times \frac{217}{225} = 534 (524)$		
					(2) 駐在員事務所 (家族構成 3.5人 等級 3号)		
対象地域	保養地	航 空 賃		日 当、宿 泊 料	小 計	回 数	計
アジスアベバ	アスマラ	$\begin{array}{l} (30,660) \\ (34,340 \times 3.5人) \times 1家族 = 120,190 \end{array}$		$\begin{array}{l} \text{円} \\ \{30\text{円} + (10\text{円} \times 4人)\} \times 4日 \times 1家族 \times 225 \\ = 63,000 \end{array}$	$\begin{array}{l} \text{円} \\ (170,310) \\ 183,190 \end{array}$	1	$\begin{array}{l} \text{千円} \\ 183 \end{array}$
					$183 \times \frac{217}{225} = 176 (170)$		
				計 (1) + (2)			710 (694)
				合 計 1 ~ 3			123,687 (117,443)

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	令和5年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 移住地管理費	(7,684) 7,733	8,094	361	1. サンファン、オキナワ移住地境界線清掃費 サンファン移住地境界線 $120\text{km} \times \frac{1}{2} \times 10,520\text{円} = 631$ (9,743) (584) オキナワ移住地境界線 $234\text{km} \times \frac{1}{2} \times 10,520\text{円} = 1,231$ (9,743) (1,140) 境界線巡回見回り雑費 $6,320\text{円} \times 2\text{回} \times 12\text{月} = 152$ (5,809) (142) 小計 $2,014 \times \frac{217}{225} = 1,942$ (1,866) 2. グアタラ移住地管理費 (事業団所有地区画保全のための排水路清掃費負担金) 低地地区所有内訳 事業団所有面積 350 ha 入植者利用面積 843 ha 計 1,193 ha 保全費内訳 ア. 幹線排水路補修(延長8,500m) 年1回 ドラグライン経費 $2,830\text{円} \times \frac{8,500\text{m}}{40\text{hr}} = 601$ (2,622) (557) ブルドーザー経費 $2,300\text{円} \times 50\text{hr} = 115$ (2,126) (107) 小計 716 (664) イ. 支線排水路補修(延長17,500m) 年2回 ドラグライン経費 $2,830\text{円} \times \frac{17,500\text{m}}{60\text{hr}} \times 2\text{回} = 1,651$ (2,622) (1,529) ブルドーザー経費 $2,300\text{円} \times 50\text{hr} \times 2\text{回} = 230$ (2,126) (213) 小計 1,881 (1,742)

(89)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎 (単位 千円)
				ウ、排水機運搬 $\text{ポン・プ} \frac{(2,315)}{2,500\text{円} \times 240\text{hr} \times 2\text{回}} = 1,200 (1,112)$ 計 ア～ウ 3,797 (3,518)
				(1) 事業田負担額 $\frac{(3,518)}{3,797\text{千円}} \times \frac{350}{1,193\text{ha}} \times \frac{217}{225} = \frac{(1,032)}{1,074}$
				3. アンデス移住地管理費 (1) 水 利 税 $\text{水利税賦課面積} \frac{\text{総面積}}{(1,257\text{ha} - \text{分譲地+分譲見込})} = \frac{570\text{ha}}{687\text{ha}}$ $\text{税 額} \frac{(4,835)}{5,220\text{円}} \times 687\text{ha} = 3,586 (3,322)$
				(2) 水路維持費(事業田負担分) $\text{主 水 路} \frac{(80.3)}{90\text{円}} \times 854\text{m} \times 2\text{回} = \frac{(137)}{154}$ $\text{幹 線 水 路} \frac{(40.7)}{45\text{円}} \times 1,289\text{m} \times 2\text{回} = \frac{(105)}{116}$ $\text{支 線 水 路} \frac{(19.7)}{25\text{円}} \times 2,662\text{m} \times 2\text{回} = \frac{(105)}{133}$ 小 計 403 (347)
				(3) 分水口維持費 $\text{分 水 口 (大)} \frac{(76.7)}{82.8\text{千円}} \times 1\text{千円} \times \frac{687}{1,257\text{ha}} = \frac{(42)}{45}$ $\text{分 水 口 (小)} \frac{(45.3)}{48.9\text{千円}} \times 6\text{千円} \times \frac{687}{1,257\text{ha}} = \frac{(148)}{160}$ 小 計 205 (190)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	決算 基 礎
				計 (1) ~ (3) $\frac{(3,859)}{4,194} \times \frac{217}{225} = 4,045 (3,859)$
				4. 融資管理業務印刷製本費
				現地融資の貸付、回収管理等に要する諸様式の印刷代
				$\frac{(91.1)}{100円} \times 10,710部 \times \frac{217}{225} = 1,033 (976)$
				合 計 1 ~ 4 8,094 (7,733)
(項) 施設費	(11,715) 12,332	12,846	514	
(目) 施設費	(11,715) 12,332	12,846	514	職員宿舍建設
				(イ) アスンシオン支部
				イグアス事業所 1棟
				アルトバラナ事業所 1棟
				(ロ) サンタクルス支部
				サンフアン試験農場 1棟
				工事費 $\frac{(57,014)}{61,580円} \times 70m^2 \times 3棟 = 12,932$ (11,913)
				工事雑費 $\frac{(11,913)}{12,9324円} \times 0.03 = 388$ (359)
				計 $13,320 \times \frac{217}{225} = 12,846 (12,332)$

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 要 求 額	対前年度比較 増△減額	積 算 基 礎
3. 国際協力計画実施調査及び 効果測定経費	(13,930) 14,663	15,309	646	
(1) 国際協力等調査員派遣経費	(5,797) 6,102	6,350	248	
(項) 外 国 旅 費	(4,382) 4,613	4,791	178	
(目) 外国出張旅費	(3,950) 4,158	4,317	159	

区 分	等級	人員	期間	旅 費 額	支 度 料	日 当 宿 泊 料	旅行雑費	計
	等	人	日	円	円	円	円	千円
1. 国際協力調査								
アジア地域 (バンコック基準)	3	4	30	(86,759) (347,036) 96,050 × 4人 = 384,200	48,418 × 4人 = 193,672	{(1,672 × 30日) + (5,210 × 29泊)} × 4人 = 805,000	1,608 × 4人 = 6,432	(1,348) 1,389
アフリカ地域 (ナイロビ基準)	3	2	30	(239,283) (476,566) 268,000 × 2人 = 536,000	48,418 × 2人 = 96,836	{(1,672 × 30日) + (5,210 × 29泊)} × 2人 = 402,500	1,608 × 2人 = 3,216	(998) 1,039
小 計		6						(2,346) 2,428
2. 効果測定調査								
アジア地域 (ダツカ基準)	3	2	30	(125,474) (250,948) 140,530 × 2人 = 281,060	48,418 × 2人 = 96,836	{(1,672 × 30日) + (5,210 × 29泊)} × 2人 = 402,500	1,608 × 2人 = 3,216	(753) 784
アフリカ地域 (ナイロビ基準)	3	1	30	(239,283) (476,566) 268,000 × 1人 = 268,000	48,418 × 1人 = 48,418	{(1,672 × 30日) + (5,210 × 29泊)} × 1人 = 201,250	1,608 × 1人 = 1,608	(499) 519
中米地域 (リオ基準)	3	1	30	(299,200) (598,400) 335,100 × 1人 = 335,100	48,418 × 1人 = 48,418	{(1,672 × 30日) + (5,210 × 29泊)} × 1人 = 201,250	1,608 × 1人 = 1,608	(560) 586
小 計		4						(1,812) 1,889
合 計		10						(4,158) 4,317

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
(四) 現地調査費	(432) 455	474	19	(91,105) $98,390 \text{円} \times 54\text{-人} \times \frac{217}{223} = 474 (455)$
(五) 業務諸費	(1,415) 1,489	1,569	70	
(四) 諸謝金	(558) 587	612	25	(1) 会議出席謝金 (2,610) $2,740 \text{円} \times 9 \text{人} \times 6 \text{回} = 148 (141)$ (2) 外国資料翻訳料 (558) $580 \text{円} \times 100 \text{枚} \times 8 \text{種} = 464 (446)$ 計 (1) + (2) 612 (587)
(四) 委員旅費	(62) 65	65	0	会議上京旅費(大阪基準、3等級、3泊4日) $(8,686 \text{円} + 12,922 \text{円}) \times 3 \text{人} = 65 (65)$
(四) 職員旅費	(59) 62	62	0	会議打合旅費(大阪基準、3等級、3泊4日) $(7,740 \text{円} + 12,922 \text{円}) \times 3 \text{人} = 62 (62)$
(四) 印刷費	(736) 775	820	45	(1) 印刷製本費 調査報告書作成費 (171) $180 \text{円} \times 450 \text{部} \times 9 \text{種} = 129 (692)$ (2) 通信運搬費 連絡通信費 (4,025) $4,330 \text{円} \times 6 \text{種} = 26 (24)$ (3) 会議費 出張前席打合費 (164) $180 \text{円} \times 10 \text{人} \times 6 \text{回} \times 6 \text{種} = 65 (59)$ 計 (1) ~ (3) 820 (775)

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	費 算 基 礎
(2) 業務別及び効果測定研究会 経費				
(Ⅰ) 業務諸費	(3,049) 3,210	3,335	125	
(ⅱ) 諸謝金	(814) 857	896	39	(ⅰ) 委員謝金 (1,813) 1,900円×7人×4回×8委員会 = 426 (406) (ⅱ) 調査資料作成謝金 (451) 470円×100枚×10種 = 470 (451) 計 (ⅰ) + (ⅱ) 896 (857)
(ⅲ) 委員旅費	(781) 822	822	0	委員上京旅費(大阪基準、3等級、3泊4日) (11,191円 + 12,293円) × 5人 × 7回 = 822 (822)
(ⅳ) 印刷費	(1,454) 1,531	1,617	86	(ⅰ) 印刷製本費 (ⅱ) 委員会資料 (123) 130円×100部×6回×2委員会 = 156 (147) (ⅲ) 委員会報告書 (290) 290円×100部×2委員会 = 58 (54) (ⅳ) 報告書作成 (398) 430円×200部×2種 = 172 (159) (ⅳ) 調査資料作成 (226) 240円×200部×10種 = 480 (451) 計 (ⅰ) + (ⅳ) 866 (811)
				(ⅲ) 通信運搬費 連絡通信費 (1,387) 1,490円×12回 = 18 (17)
				(ⅳ) 図書購入費 研究図書 (1,387) 1,490円×20種 = 30 (28)
				(ⅳ) 会議費

事項及び科目		前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	(単位 千円)			
					積算基礎			
					(i) 委員会	(375) $400円 \times 10人 \times 8回 \times 3委員会 =$	960	(90)
					(ii) 研究発表会	(357) $380円 \times 7人 \times 10回 =$	270	(25)
					計	(i) + (ii)	1230	(115)
					(5) 賃金			
					臨時雇員	(2,420) $2,510円 \times 3人 \times 77日 =$	580	(560)
					合計	(i) ~ (5)	1,617	(1,531)
(3) 技術協力要請等関係途上国調査費								
(項) 外国旅費		(5,084) 5,351	5,624	273				
(目) 外国出張旅費		(4,606) 4,848	5,100	252				
区分	等級	人員	期間	航空賃	支度料	日当・宿泊料	旅行雑費	計
東南アジア (バンコック基準)	3	2	30	(210,791) (421,582) $236,090 \times 2人 = 472,180$	65,986 × 2人 = 131,972	$\{(3,320 \times 30日) + (9,965 \times 29日)\}$ × 2人 = 777,170	2,185 × 2人 = 4,370	(1,336) 1,385
西南アジア (テヘラン基準)	3	2	30	(335,170) (670,340) $375,390 \times 2人 = 750,780$	131,512	777,170	4,370	(1,584) 1,664
中近東・アフリカ (カイロ基準)	3	2	30	(508,119) (1,016,358) $569,160 \times 2人 = 1,138,320$	131,512	777,170	4,370	(1,929) 2,051
計		6						(4,848) 5,100
(目) 現地調査費		(478) 503	524	21	(167,562) 180,970 円	× 34人 × $\frac{217}{225}$	= 524	(503)

(94)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比 増△減額	積算 基 礎
4. 情報管理に必要な経費	(13,507) 14,218	15,170	952	
(1) 総 計 費				
(項) 業務諸費				
(目) 庁 費	(1,652) 1,139	1,836	97	
				1. 備 品 費
				(1) ファイルキャビネット (3,500) 3,770円 × 4個 = 15 (14)
				(2) カードボックス (17,000) 18,310円 × 1個 = 18 (17)
				計 (1) + (2) 33 (31)
				2. 印刷製本費
				(1) 実績表 (和文) (227) 240円 × 500部 × 4回 = 480 (454)
				(2) 実績表 (英文) (382) 410円 × 300部 × 2回 = 246 (230)
				(3) 統計カード (7) 8円 × 2,000部 = 16 (14)
				(4) 統計帳票 (34) 37円 × 2,220部 × 3回 = 246 (227)
				計 (1) ~ (4) 988 (925)
				3. 賃 金
				実績集計臨時雇員 (2,120) 2,510円 × 300人月 = 753 (727)
				4. 通信運搬費
				(1) 実績表 (国内) (35) 38円 × 150部 × 4回 = 23 (21)
				(2) 実績表 (海外) (45) 48円 × 100部 × 2回 = 10 (9)
				計 (1) + (2) 33 (30)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比 増△減額	積算 基 礎
				5. 会議費
				統計作成打合せ $\frac{(144)}{160円 \times 15人 \times 12回} = 29(26)$
				合 計 1 ~ 5 1,836(1,739)
(2) 資料費				
(Ⅰ) 業務諸費	(4,897) 5,155	5,489	334	
(ⅱ) 諸謝金	(685) 721	745	24	1. 外国資料翻訳料 $\frac{(526)}{520円 \times 50枚 \times 20種} = 520(506)$
				2. 情報資料分析謝金 $\frac{(430)}{450円 \times 100枚 \times 5件} = 225(215)$
				計 1 + 2 745(721)
(Ⅲ) 方 費	(4,212) 4,434	4,744	310	1. 資料収集費
				(1) 資料購入費(図書資料用)
				イ) 外国雑誌等 $\frac{(700)}{750円 \times 5種 \times 12回} = 45(42)$
				ロ) 国内雑誌等 $\frac{(346)}{370円 \times 20種 \times 12回} = 89(83)$
				ハ) 外国図書 $\frac{(1,390)}{1,500円 \times 100部} = 150(139)$
				ニ) 国内図書(一般) $\frac{(347)}{370円 \times 300部} = 111(104)$
				ホ) 国内図書(専門) $\frac{(1,720)}{1,850円 \times 50部} = 93(86)$
				ヘ) 世界経済情報サービス「ARCLポート」年間 216(200)
				ト) 新聞縮刷版 $\frac{(1,030)}{1,110円 \times 5種 \times 12回} = 67(62)$
				チ) その他資料 $\frac{(1,730)}{1,860円 \times 5種 \times 12回} = 112(104)$
				小 計 1) ~ 4) 883(820)

(単位:千円)

事 項 及 び 科 目	前年度予算額	昭和56年度 予 算 額	対前年度比増 減 率	積 算 基 礎
				(2) マイクロフィルム作成費
				イ) 専門家報告書 $\frac{(6.8)}{7 \text{ 冊}} \times 20 \text{ 枚} \times 2,000 \text{ 件} = 280 (273)$
				ロ) 一般資料 $\frac{(6.9)}{7 \text{ 冊}} \times 100 \text{ 枚} \times 100 \text{ 件} = 70 (69)$
				小 計 イ) + ロ) 350 (342)
				計 (1) ~ (3) 1,233 (1,162)
				2. 備 品 費
				マイクロフィルムキャビネット $\frac{(48,679)}{52,430 \text{ 冊}} \times 2 \text{ 個} = 105 (97)$
				3. 印刷製本費
				(1) 資料室蔵書目録 $\frac{(724)}{780 \text{ 冊}} \times 500 \text{ 部} = 390 (362)$
				(2) 刊行物資料目録 $\frac{(82)}{88 \text{ 冊}} \times 500 \text{ 部} \times 2 \text{ 冊} = 88 (82)$
				(3) 図書目録カード用紙 $\frac{(7)}{8 \text{ 冊}} \times 3,000 \text{ 部} = 24 (21)$
				(4) 翻訳資料作成 $\frac{(151)}{160 \text{ 冊}} \times 100 \text{ 部} \times 20 \text{ 種} = 320 (301)$
				(5) 国別技術出力実績 $\frac{(382)}{410 \text{ 冊}} \times 500 \text{ 部} = 205 (191)$
				(6) 分析情報資料作成 $\frac{(256)}{280 \text{ 冊}} \times 100 \text{ 部} \times 5 \text{ 件} = 140 (128)$
				計 (1) ~ (6) 1,167 (1,085)
				4. 会 費 費
				関係機関情報収集打合せ $\frac{(205)}{220 \text{ 冊}} \times 20 \text{ 人} \times 12 \text{ 冊} = 53 (49)$
				5. 消 耗 品 費

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
				(13.7) (1) コピー用紙 15円 × {(10枚×1,500件)+(100枚×100件)} = 375 (342) (2) 現像液(MA) (1,400) 1,510円 × 5瓶 = 8 (7) (3) 現像液(MN) (4,200) 4,520円 × 5瓶 = 23 (21) 計 (1) ~ (3) 406 (370) 6. 借料及び混料 和文静電ファックス受信機借料 (94,535) 105,050円 × 12カ月 = 1,261 (1,170) 7. 賃金 (2,420) (1) 図書資料整理臨時雇員 2,510円 × 2人 × 73日 = 366 (363) (2,420) (2) マイクロフィルム複写雇員 2,510円 × 1人 × 61日 = 153 (148) 計 (1) + (2) 519 (501) 合 計 1 ~ 7 4,744 (4,434)
(3) 長崎協力情報整備費				
(項) 業務諸費	(2,958) 2,903	3,091	188	
(目) 諸謝金	(1,659) 1,746	1,866	120	図書資料室の一般公開に伴う整備費 (1,400) (1) 資料整備費 1,500円 × 1人 × 1時間 × 25日 × 10月 = 150 (140) (2) 目録整備費 (430) 1) 目録カード(和書)作成 460円 × 1,950冊 = 897 (839)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	前年度比 増△減額	算 基
				Ⅱ) 目録カード(洋書)作成 $\frac{(590)}{630 \text{ 冊}} \times 1,300 \text{ 冊} = 819 (767)$ 小 計 Ⅰ) + Ⅱ) $1,716 (1,606)$ 合 計 Ⅰ) ~ Ⅱ) $1,866 (1,746)$
(H) 委員旅費	(142) 149	149	0	専門図書館連絡会議出席(大阪基準、3巻綴、3泊4日) $(11,686 \text{ 円} + 13,142 \text{ 円}) \times 1 \text{ 人} \times 3 \text{ 回} \times 4 \text{ 件} \times \frac{1}{2} = 149 (149)$
(H) 庁費	(959) 1,008	1,076	68	1. 印刷製本費 Ⅰ) 報告書作成 $\frac{(144)}{160 \text{ 冊}} \times 150 \text{ 部} \times 4 \text{ 件} = 96 (86)$ Ⅱ) 資料作成 $\frac{(68)}{70 \text{ 冊}} \times 40 \text{ 部} \times 3 \text{ 巻} \times 4 \text{ 件} = 34 (33)$ 計 Ⅰ) + Ⅱ) $130 (119)$ 2. 会議費 図書資料整備打ち合わせ $\frac{(205)}{220 \text{ 冊}} \times 12 \text{ 人} \times 3 \text{ 回} \times 4 \text{ 件} = 32 (30)$ 3. 賃金 臨時雇員 $\frac{(2,420)}{2,570 \text{ 円}} \times 56 \text{ 日} \times 2 \text{ 人} = 281 (271)$ 4. 雑役務費 技術協力費整備費 $633 (538)$ 合 計 1 ~ 4 $1,076 (1,008)$
(4) フィルムライブラリー経費				
(H) 業務諸費				

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(甲) 庁 費	(607) 639	689	50	1. 消耗品費 (1) フィルム(白黒) $\frac{(130)}{140円} \times 200本 = 28(26)$ (2) フィルム(カラー) $\frac{(547)}{590円} \times 200本 = 118(109)$ 計 (1) ~ (2) 146(135) 2. 備品費 キャビネット $\frac{(19,820)}{21,350円} \times 2個 = 43(40)$ 3. 買上げ費 (1) 映画フィルム買上げ $\frac{(69,540)}{14,890円} \times 3本 = 225(208)$ (2) スライド買上げ $\frac{(10,100)}{10,880円} \times 12本 = 131(127)$ 計 (1) ~ (2) 356(329) 4. 雑費寄費 (1) フィルムプリント $\frac{(109)}{120円} \times 200本 = 24(22)$ (2) フィルム洗付 38(35) (3) スライド製作経費 $\frac{(48)}{50円} \times 1,000枚 = 50(48)$ 計 (1) ~ (3) 112(105) 5. 会議費 打会社会議 $\frac{(205)}{220円} \times 12人 \times 12回 = 32(30)$ 合 計 1 ~ 5 689(639)

(100)

(単位:千円)

事 項 及 び 科 目	前年度予算額	昭和56年度 予 算 額	対前年度比較 増 減 額	概 算 基 礎
(5) 調査用収集資料整備費				
(項) 業 務 諸 費				
(目) 庁 費	(3,593) 3,782	4,065	283	1. 印刷製本費 (1) 収集資料コピー作成費 $\frac{(18,08)}{19 \text{ 冊} \times 250 \text{ 頁} \times 100 \text{ 冊}} = 475 (452)$ (2) 図別収集資料目録作成費 $\frac{(2,500)}{2,690 \text{ 冊} \times 300 \text{ 部}} = 807 (750)$ (3) 専門分野別目録作成費 $\frac{(2,500)}{2,690 \text{ 冊} \times 300 \text{ 部}} = 807 (750)$ (4) 地図目録作成費 $\frac{(1,500)}{1,620 \text{ 冊} \times 300 \text{ 部}} = 486 (450)$ 計 (1) ~ (4) 2,575 (2,402) 2. 備 品 費 リーダープリンター $1,490 \text{ 冊} \times 1 \text{ 台} = 1,490 (1,380)$ 合 計 1 + 2 4,065 (3,782)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
5. 電子計算機に必要な経費				
(項) 業務諸費	(202,357) 202,192	233,329	27,137	
(目) 諸謝金	(39,280) 44,347	44,688	3,341	
				1. プログラム専委託謝金
				(1) 人事・給与システムプログラム開発費
				(人事管理資料作成システムプログラム開発)
				システム開発費 (348,800) 364,800円 × 6ヵ月 = 2,189 (2,093)
				プログラミング (193) 210円 × 10,000ステップ = 2,100 (1,931)
				小計 4,289 (4,024)
				(2) 経費予算管理システムプログラム開発費
				(事業費執行管理システムプログラム開発)
				システム開発費 (348,800) 364,800円 × 6ヵ月 = 2,189 (2,093)
				プログラミング (193) 210円 × 10,000ステップ = 2,100 (1,931)
				小計 4,289 (4,024)
				(3) 調査団・プロジェクト専門家派遣システム開発費
				(調査団・プロジェクト専門家経費管理システム開発及びプログラム開発)
				システム開発費 (348,800) 364,800円 × 6ヵ月 = 2,189 (2,093)
				プログラミング (193) 210円 × 10,000ステップ = 2,100 (1,931)
				小計 4,289 (4,024)
				(4) 協力隊員派遣情報システム開発費
				(協力隊員訓練プロジェクト情報システム及びプログラム開発)
				システム開発費 (348,800) 364,800円 × 2ヵ月 = 430 (698)

(単位 千円)

事 項 及 び 科 目	前年度予算額	昭和56年度 予 算 額	対前年度比較 増△減額	積 算 基 礎
				プログラミング $\frac{(193)}{210 \text{ 円}} \times 5,000 \text{ ステップ} = 1,050 (965)$ 小 計 1,780 (1,663)
				(5) 移住地農業経営調査分析システム開発費 (移住地農業経営及び生活環境等分析システム及びプログラム開発)
				システム開発費 $\frac{(410,350)}{429,200 \text{ 円}} \times 6 \text{ カ月} = 2,575 (2,462)$ プログラミング $\frac{(227)}{240 \text{ 円}} \times 5,000 \text{ ステップ} = 1,200 (1,136)$ 小 計 3,775 (3,598)
				(6) 移住者実態統計システム及びプログラム開発 (移住者管理統計システムプログラム開発)
				システム開発費 $\frac{(446,030)}{466,500 \text{ 円}} \times 6 \text{ カ月} = 2,799 (2,676)$ プログラミング $\frac{(247)}{260 \text{ 円}} \times 10,000 \text{ ステップ} = 2,600 (2,470)$ 小 計 5,399 (5,146)
				(7) 統計システムプログラム開発 (DAC年次調査統計及びCRS統計集計システム開発)
				システム開発費 $\frac{(469,510)}{491,100 \text{ 円}} \times 6 \text{ カ月} = 2,947 (2,817)$ プログラミング $\frac{(260)}{280 \text{ 円}} \times 8,000 \text{ ステップ} = 2,240 (2,080)$ 小 計 5,187 (4,897)
				計 (1) ~ (7) 29,008 (27,376)
				2. パンチ業務費
				(h) 専門家登録関係 $\frac{(60)}{64 \text{ 円}} \times 1,000 \text{ 人} \times 30 \text{ 枚} = 1,920 (1,800)$

(単位 千円)

事 項 及 分 科 目	前年度予算額	昭和56年度 予 算 額	対前年度比較 増△減額	積 算 基 礎
(1) 専門隊派遣関係				(60) 64円 × 1,000人 × 30枚 = 1,920 (1,800)
(2) 専門隊経費関係				(60) 64円 × 1,000人 × 30枚 = 1,920 (1,800)
(3) 研修員食入関係				(60) 64円 × 1,000人 × 30枚 = 1,920 (1,800)
(4) 人事給与関係				(60) 64円 × 1,000人 × 30枚 = 1,920 (1,800)
(5) 統計関係				(60) 64円 × 27,000枚 = 1,728 (1,620)
(6) 抽力防汚濾過関係				(60) 64円 × 10,000枚 = 640 (448)
(7) 農家経営統計関係				(60) 64円 × 50,000枚 = 3,200 (2,423)
(8) DAC統計関係				(60) 64円 × 8,000枚 = 512 (480)
計				(1) ~ (9) 15,680 (13,971)
合 計				1 + 2 44,688 (41,347)
(目) 片 費	(163,077) 164,845	188,641	23,796	人 備 品 費 (電子計算機室用備品)
				(1) 入出力磁票保管庫(ベース付) 79,000円 × 1台 = 79 (79)
				(2) ディスク・バック拾納庫 74,000円 × 1台 = 94 (94)
				(3) マニュアルハンガー 65,000円 × 2台 = 130 (130)
				(4) データ・ファイル・キャビネット 44,500円 × 2台 = 89 (89)
				(5) カード・キャビネット 44,500円 × 2台 = 89 (89)
				(6) テープ・キャビネット 44,500円 × 2台 = 89 (89)
				(7) テープ輸送用コンテナ(3本入) 11,000円 × 2個 = 22 (22)
				(8) エッジ・カード・トラック 6,000円 × 1個 = 6 (6)
				(9) データ・トラック 45,000円 × 1台 = 49 (49)

(単位 千円)

事 項 及 び 科 目	前年度予算額	昭和56年度 予 算 額	前年度比 増△減額	概 算 基 礎
				小 計 (1) ~ (9) 643 (643)
				2. 消耗品費
				(1) 80種カード(汎用) 0.78円 × 910,000枚 = 710 (710)
				(コボルアセンブルカード) 0.89円 × 100,000枚 = 89 (89)
				(2) 速読用紙 ノート 1.34円 × 860,000枚 = 1,150 (1,150)
				スパート 4.64円 × 160,000枚 = 743 (743)
				(3) 複写テープ 5,878円 × 115巻 = 676 (676)
				(4) コンソール・タイプライター用紙 1.26円 × 50,000枚 = 63 (63)
				(5) コンソール・タイプライター用リボン 780円 × 100本 = 78 (78)
				(6) カード穿孔機用リボン 620円 × 200本 = 126 (126)
				(7) フローチャート用紙 250円 × 300冊 = 75 (75)
				(8) 接続テープ 3,900円 × 10巻 = 39 (39)
				(9) 設 計 用 紙 245円 × 1,000冊 = 245 (245)
				(10) ライン・プリンターリボン 4,450円 × 50本 = 223 (223)
				(11) 漢字出力用紙 8.55円 × 100,000枚 = 855 (855)
				(12) ト ナ ー 1,980円 × 8カートン = 16 (16)
				(13) 現 像 液 6,300円 × 35本 = 221 (221)
				(14) 紙 テ ー プ 450円 × 100巻 = 45 (45)
				小 計 (1) ~ (14) 5,354 (5,354)
				3. 印刷製本費
				(1) マスタ関係用紙印刷(貸入・派遣・経理・人事・給与)
				11.15円 × 10,000部 × 11種 = 1,226 (1,226)
				(2) 要請関係用紙印刷 10.67円 × 1,500部 × 1種 = 16 (16)
				(3) 登録関係用紙印刷 10.75円 × 5,000部 × 4種 = 215 (215)
				(4) 送金関係用紙印刷 10.75円 × 5,000部 × 11種 = 593 (593)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
				(5) 統計関係用紙印刷 10.75円 × 5,000セット × 6種 = 323 (323)
				(6) 経理関係用紙印刷 13円 × 5,000セット × 6種 = 390 (390)
				(7) 人事関係用紙印刷 10.75円 × 5,000セット × 6種 = 270 (270)
				(8) 給与関係用紙印刷 10.75円 × 5,000セット × 5種 = 270 (270)
				(9) 移住農政経営統計関係用紙印刷 10.75円 × 5,000セット × 5種 = 270 (270)
				(10) コードブック・マニュアル等作成 773円 × 100部 × 12種 = 927 (927)
				(11) スペーシング・チャート等作成 11.37円 × 50,000セット × 1種 = 568 (568)
				(12) 移住管理統計関係印刷 12.26円 × 10,000セット × 6種 = 613 (613)
				(13) DAC統計関係用紙印刷 15.5円 × 5,000セット × 5種 = 389 (389)
				計 (1) ~ (13) 6,070 (6,070)
				4. 交 通 費
				連絡打合せ
				(1) 自動車 654円 × 20回 × 12月 = 157 (157)
				(2) 地下鉄等 67円 × 40回 × 12月 = 32 (32)
				小 計 (1) + (2) 189 (189)
				5. 図 書 購 入 費
				(1) 電子計算機業務系図書
				和 書 876円 × 23冊 = 20 (20)
				洋 書 2,203円 × 20冊 = 44 (44)
				定期刊行物 4,398円 × 5冊 = 22 (22)
				小 計 86 (86)
				(2) 要員研修図書資料

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増減額	積算 概算
				要員等研修図書 $7,035 \text{ 円} \times 8 \text{ 冊} = 56 (56)$ 講演会資料 $1,761 \text{ 円} \times 2 \text{ 冊} \times 24 \text{ 回} \times \frac{1}{4} = 21 (21)$ 小 計 77 (77) 計 (1) + (2) 163 (163)
				6. 会議費 (1) システム分折打合せ $205 \text{ 円} \times 6 \text{ 人} \times 2 \text{ 回} \times 12 \text{ 月} = 30 (30)$ (2) 電算関係打合せ $615 \text{ 円} \times 12 \text{ 人} \times 12 \text{ 月} = 89 (89)$ (3) その他打合せ $205 \text{ 円} \times 5 \text{ 人} \times 12 \text{ 月} = 12 (12)$ 小 計 (1) ~ (3) 131 (131)
				7. 借料及び損料 経費借料 (56.4.1 ~ 57.3.31 の12カ月間) (1) 電子計算機HITAC - M型 (端末機を含む) 借料 $8,808.4 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} = 105,696 (105,696)$ (2) 漢字入出力装置一式借料 (6) $3,966.4 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} = 47,592 (23,796)$ 小 計 (1) + (2) 153,288 (129,492)
				8. 賃 金 (2,420) 臨時職員 $2,510 \text{ 円} \times 180 \text{ 月} \times 2 \text{ 人} \times 0.95 = 872 (872)$
				9. 雑 役 務 費 (1) 電子計算機運用管理費 (a) オペレータ $262,104 \text{ 円} \times 3 \text{ 人} \times 12 \text{ 月} = 9,436 (9,436)$ (b) パンチャー (カード) $105,324 \text{ 円} \times 2 \text{ 人} \times 12 \text{ 月} = 2,528 (2,528)$ (c) コ ー ダ $105,324 \text{ 円} \times 2 \text{ 人} \times 12 \text{ 月} = 2,528 (2,528)$ (二) 漢字入力タイピスト $131,000 \text{ 円} \times 3 \text{ 人} \times 12 \text{ 月} = 5,047 (2,358)$

(単位: 千円)

事 項 及 次 科 目	前年度予算額	昭和56年度 予 算 額	対前年度比較 増△減 額	積 算 基 礎
				小 計 (1) ~ (2) 19,539 (16,844)
				(2) 機械室清掃 25,416円 × 12月 = 305 (305)
				(3) 回線使用料 280,000円 × 12月 = 3,360 (3,360)
				(4) 前年度限り 0 (1,422)
				小 計 (1) ~ (4) 21,931 (21,931)
				合 計 1 ~ 9 188,641 (164,845)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 実績額	対前年度比較 増△減額	演 算 基 礎
6. 広報に必要な経費				
(1) 広報出版費				
(項) 業務諸費	(85,434) 89,931	89,931	0	
(目) 諸謝金	(1,139) 1,199	1,199	0	1. 事業用親要紙料(英文) 376円×100枚 = 38 (38) 2. 国際協力誌原稿料 376円×250枚×12月 = 1,128 (1,128) 3. 講師謝金 560円×4時間×1人×15回 = 33 (33) 計 1 ~ 3 1,199 (1,199)
(目) 職員旅費	(482) 507	507	0	1. 講師旅費(大阪基準、2泊3日、特級) (10,550円+10,157円)×2人×5回 = 207 (207) 同行旅費等(大阪基準 2泊3日、3等級) (10,550円+2,089円)×5回 = 98 (98) 2. 国際協力誌取材費 (10,550円+6,265円)×12回 = 202 (202) 計 1 + 2 507 (507)
(目) 印刷費	(12,592) 13,255	13,255	0	1. 印刷製本費 (1) 国際協力誌 104円×5,950部×12月 = 7,426 (7,426) (2) 事業用概要(英文) 409円×3,000部 = 1,226 (1,226) (3) 事業用概要(和文) 126円×6,000部 = 758 (758) (4) 事業用パンフレット(英語、和文) 103円×8,000部×2種 = 1,641 (1,641) 小 計 (1) ~ (4) 11,051 (11,051) 2. 通信運搬費 展示パネル模型運搬料 69,536円×2回 = 139 (139)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	前年度比 増△減額	決 算 基 礎
				3. 借料及び損料 会場映写機借料等 $69,536 \text{ 円} \times 10 \text{ カ所} = 695 (695)$
				4. 会 議 費 国際協力誌寄稿料 $143 \text{ 円} \times 15 \text{ 人} \times 12 \text{ 回} = 26 (26)$ 新聞発表打合せ $349 \text{ 円} \times 20 \text{ 人} \times 12 \text{ 回} = 83 (83)$ 小 計 109 (109)
				5. 賃 金 臨時雇員増上料 $2,420 \text{ 円} \times 7 \text{ 日} \times 3 \text{ 人} = 51 (51)$
				6. 権 限 務 費 (1) ポスター作成費 $69 \text{ 円} \times 300 \text{ 枚} \times 10 \text{ 種} = 207 (207)$ (2) ポスター掲載料 $144 \text{ 円} \times 150 \text{ 枚} \times 10 \text{ 種} = 216 (216)$ (3) 展 示 品 作 成 費 (グラフィック作成) $13,244 \text{ 円} \times 5 \text{ 件} = 66 (66)$ (4) 写真パネル白黒 $6,957 \text{ 円} \times 20 \text{ 件} = 139 (139)$ (5) 写真パネルカラー $20,864 \text{ 円} \times 10 \text{ 件} = 208 (208)$ (6) 模 型 $104,307 \text{ 円} \times 2 \text{ 件} = 208 (208)$ (7) 広報写真プリント焼付 98 (98) (8) スライド製本複写 $34 \text{ 円} \times 2,000 \text{ 本} = 68 (68)$ 小 計 (1) ~ (8) 1,210 (1,210) 合 計 1 ~ 6 13,265 (13,265)
(甲) 広報諸費	(71,221) 74,970	74,970	0	マスメディア広報費 (1) テレビ・フィルム制作・放送費 (30分番組、Bタイム、13回(1クール13話)、3局ネット、日曜日放送) (4) 番組制作費 内 内 外 アジア地域分 中東・アフリカ地域分 (728,566 円 × 6 本) + (910,708 円 × 4 本) + (1,156,652 円 × 1 本)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	前年度比増△減額	積算基礎																																	
				中南米地域分 $\div (1,366,062 \text{ 円} \times 1 \text{ 本}) = 10,537 (10,537)$ (四) 電 波 料 東京放送(TBS)、中部放送(CBC)、毎日(大阪)放送 $(463,220 \text{ 円} + 402,040 \text{ 円} + 445,740 \text{ 円}) \times 13 \text{ 回} = 17,043 (17,043)$ 計 (イ) + (ロ) 27,580 (27,580) (2) 記事掲載費 特別企画(3誌) 国際関係ジャーナル記事 4回分 1,311 (1,311) パシフィックフレンド記事 5回分 1,311 (1,311) ルック・ジャパン記事 2回分 5,681 (5,681) 計 8,303 (8,303) (3) ルポライター等取次費 (ルポライター1名を中南米・アフリカ6カ国へ派遣する。) (イ) 取材費 (ロ) 派遣旅費 1,244 (1,244)																																	
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>地 域</th><th>必 遣 国</th><th>等級</th><th>期日</th><th>員数</th><th>航空運賃</th><th>支度料</th><th>日 当</th><th>宿 泊 料</th><th>旅行雑費</th><th>合 計</th></tr> <tr> <th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>円</th><th>円</th><th>円</th><th>円</th><th>円</th><th>円</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中 南 米</td><td>亜、芭、欧、慕</td><td>2</td><td>50</td><td>1</td><td>513,410</td><td>74,290</td><td>3,321 × 50日 = 166,050</td><td>7,964 × 49泊 = 488,236</td><td>2,185</td><td>1,244,171</td></tr> </tbody> </table>	地 域	必 遣 国	等級	期日	員数	航空運賃	支度料	日 当	宿 泊 料	旅行雑費	合 計						円	円	円	円	円	円	中 南 米	亜、芭、欧、慕	2	50	1	513,410	74,290	3,321 × 50日 = 166,050	7,964 × 49泊 = 488,236	2,185	1,244,171
地 域	必 遣 国	等級	期日	員数	航空運賃	支度料	日 当	宿 泊 料	旅行雑費	合 計																											
					円	円	円	円	円	円																											
中 南 米	亜、芭、欧、慕	2	50	1	513,410	74,290	3,321 × 50日 = 166,050	7,964 × 49泊 = 488,236	2,185	1,244,171																											
										(ロ) 現地調査費(資料費含む) 319 (319)																											
										<table border="1"> <thead> <tr> <th>通訳備上料</th><th>車両借上料</th><th>会議費</th><th>通信料等諸雑費</th><th>資 料 費</th><th>計</th></tr> <tr> <th>円</th><th>円</th><th>円</th><th>円</th><th>円</th><th>円</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,192 × 5日 × 5回 = 79,800</td><td>3,830 × 5日 × 6回 = 95,750</td><td>1,596 × 10人 × 5回 = 79,800</td><td>3,192 × 1 = 3,192</td><td> (3,000円外6×6月分) 3,192 × 5日 294 × 150 = 44,100 = 15,760 </td><td>318,602</td></tr> </tbody> </table>	通訳備上料	車両借上料	会議費	通信料等諸雑費	資 料 費	計	円	円	円	円	円	円	3,192 × 5日 × 5回 = 79,800	3,830 × 5日 × 6回 = 95,750	1,596 × 10人 × 5回 = 79,800	3,192 × 1 = 3,192	(3,000円外6×6月分) 3,192 × 5日 294 × 150 = 44,100 = 15,760	318,602									
通訳備上料	車両借上料	会議費	通信料等諸雑費	資 料 費	計																																
円	円	円	円	円	円																																
3,192 × 5日 × 5回 = 79,800	3,830 × 5日 × 6回 = 95,750	1,596 × 10人 × 5回 = 79,800	3,192 × 1 = 3,192	(3,000円外6×6月分) 3,192 × 5日 294 × 150 = 44,100 = 15,760	318,602																																

(11)

(単位 千円)

事 項 及 び 科 目	前年度予算額	昭和56年度 予 算 額	対前年度比較 増△減 額	積 算 基 礎
				計 (i) + (ii) 1,563 (1,563)
				(iv) 取材報告費
				原稿集料 1,836円 × 1,000枚 = 1,836 (1,836)
				報告会謝金 4,590円 × 3H × 2回 = 28 (28)
				計 1,864 (1,864)
				合 計 (i) + (iv) 3,427 (3,427)
				(4) アンケート調査費(対象2,000人)
				調査企画費 304 (304)
				調査準備費 2,185 (2,185)
				調査実施費 4,076 (4,076)
				集 計 費 537 (537)
				分 析 費 247 (247)
				報告書作成費 322 (322)
				計 7,671 (7,671)
				(5) 事業周年報費上費
				(i) 和 文 年 報 1,880円 × 2,000部 = 3,760 (3,760)
				(ii) 英 文 年 報 1,460円 × 1,500部 = 2,640 (2,640)
				計 (i) + (ii) 6,400 (6,400)
				6. 映 画 制 作 (地域、分野別シリーズ、30分16mmカラー)
				「中南海の島方前線を行く！」
				(制作スタッフ5名、35日間撮影)
				企 画 費 1,228千円
				スタッフ費 5,187千円

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基	積算 額
				機材費	2,321千円
				フィルム費	3,818千円
				編集費	892千円
				録音費	587千円
				ロケーション費	7,574千円
				計	21,589 (21,589)
				合計 (1) ~ (6)	74,970 (74,970)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎															
7. 青年協力隊業務に必要な経費	(255,823) 252,125	270,370	18,245																
(1) 協力隊有務員に必要な経費	(159,264) 155,946	167,541	11,595																
(項) 業務諸費	(159,264) 155,946	167,541	11,595																
(目) 諸謝金	(860) 905	942	37	(1) 山口県選挙委員会 (1,955) 2,050円 × 16回 × 8回 = 262 (250)															
				(2) 履歴書タイプ謝金 (54,535) \ \ \ 56,660円 × 1人 × 12月 = 680 (655)															
				小計 (1) + (2) 942 (905)															
(目) 職員旅費	(2,418) 2,545	2,545	0	(1) 検査検収専 (水島基準 3等級、2泊3日、起特往復) 17,200円 × 8回 × 12月 = 1,653 (1,653)															
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>等級</th><th>鉄道賃</th><th>日当</th><th>宿泊料</th><th>計</th></tr> <tr> <th></th><th>円</th><th>円</th><th>円</th><th>円</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td><td>5,640</td><td>1,030円 × 3日 = 3,090</td><td>4,245円 × 2泊 = 8,490</td><td>17,220</td></tr> </tbody> </table>	等級	鉄道賃	日当	宿泊料	計		円	円	円	円	3	5,640	1,030円 × 3日 = 3,090	4,245円 × 2泊 = 8,490	17,220
等級	鉄道賃	日当	宿泊料	計															
	円	円	円	円															
3	5,640	1,030円 × 3日 = 3,090	4,245円 × 2泊 = 8,490	17,220															
				(2) 駒ヶ根連絡 (3等級、2泊3日) 37,180円 × 2回 × 12月 = 892 (892)															
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>等級</th><th>鉄道賃</th><th>日当</th><th>宿泊料</th><th>計</th></tr> <tr> <th></th><th>円</th><th>円</th><th>円</th><th>円</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td><td>17,780</td><td>1,600円 × 3日 = 4,800</td><td>11,300円 × 2泊 = 22,600</td><td>34,180</td></tr> </tbody> </table>	等級	鉄道賃	日当	宿泊料	計		円	円	円	円	3	17,780	1,600円 × 3日 = 4,800	11,300円 × 2泊 = 22,600	34,180
等級	鉄道賃	日当	宿泊料	計															
	円	円	円	円															
3	17,780	1,600円 × 3日 = 4,800	11,300円 × 2泊 = 22,600	34,180															
				計 (1) + (2) 2,545 (2,545)															

(114)

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎																												
(目) 赴任旅費	(1,102) 1,102	1,102	0	(1) 駒ヶ根訓練所赴任(駒ヶ根基準、3等級) $275,530 \text{ 円} \times 2 \text{ 人} \times 2 = 1,102 (1,102)$ <table border="1"> <thead> <tr> <th>等級</th><th>鉄道賃</th><th>移動料</th><th>着服手当</th><th>日当</th><th>宿泊料</th><th>計</th></tr> <tr> <th></th><th>円</th><th>円</th><th>円</th><th>円</th><th>円</th><th>円</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td><td>8,290円×3人</td><td></td><td>(1,600+7,300) ×58×$\frac{8}{3}$</td><td>1,600円×1日 ×$\frac{8}{3}$</td><td>7,300円×1日 ×$\frac{8}{3}$</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>= 31,120</td><td>102,000</td><td>= 118,670</td><td>= 4,270</td><td>= 19,470</td><td>275,530</td></tr> </tbody> </table>	等級	鉄道賃	移動料	着服手当	日当	宿泊料	計		円	円	円	円	円	円	3	8,290円×3人		(1,600+7,300) ×58× $\frac{8}{3}$	1,600円×1日 × $\frac{8}{3}$	7,300円×1日 × $\frac{8}{3}$			= 31,120	102,000	= 118,670	= 4,270	= 19,470	275,530
等級	鉄道賃	移動料	着服手当	日当	宿泊料	計																										
	円	円	円	円	円	円																										
3	8,290円×3人		(1,600+7,300) ×58× $\frac{8}{3}$	1,600円×1日 × $\frac{8}{3}$	7,300円×1日 × $\frac{8}{3}$																											
	= 31,120	102,000	= 118,670	= 4,270	= 19,470	275,530																										
(目) 庁費	(154,884) 151,394	162,952	25,773	(1) 人当庁費 $38,420 \text{ 円} \times (85 \text{ 人} - 16 \text{ 人}) = 2,651 (2,651)$ (2) 厚生費 $1,243 (1,033)$ ① レクリエーション $3,900 \text{ 円} \times \frac{(85)}{87 \text{ 人}} = 339 (332)$ ② 一般定期健康診断費 $500 \text{ 円} \times \frac{(85)}{87 \text{ 人}} \times 2 \text{ 回} = 87 (85)$ ③ 海外帰国職員特別健康診断費 $22,000 \text{ 円} \times 3.5 \times \frac{(8)}{11 \text{ 人}} = 847 (616)$ (3) 備品費 $1,557 (1,490)$ ① 万能調理機 585 ② ダイキンパッケージエア・コンデショナー $32,444 \text{ 円} \times 3 \text{ 台} = 972$ (4) 通信運搬費 $16,583 (16,381)$ ① 電話料 ① 基本料 $1,777 \text{ 円} \times 26 \text{ 本} \times 12 \text{ 月} = 534 (534)$ ② 長敷料 $6,83 \text{ 円} \times 69 \text{ 通話} \times 26 \text{ 本} \times 25 \text{ 日} \times 12 \text{ 月} = 3,537 (3,537)$ ③ 市外通話料 $246 \text{ 円} \times 6 \text{ 通話} \times 26 \text{ 本} \times 10 \text{ 本} \times 12 \text{ 月} = 4,429 (4,429)$																												

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算
				② 国際通話料 $7,476 \text{ 円} \times 16 \text{ 所} \times 12 \text{ 月} = 1,436 (1,436)$
				④ 交換台維持費 $\frac{(20,864)}{22,470 \text{ 円}} \times 12 \text{ 月} = 270 (250)$
				⑤ 内線使用料 $\frac{(34)}{37 \text{ 円}} \times 50 \text{ 本} \times 12 \text{ 月} = 22 (21)$
				小計 ③ ~ ⑤ $10,228 (10,207)$
				② テレックス
				④ 使用基本料 $13,600 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} = 164 (164)$
				⑥ 通信用料 $885 \text{ 円} \times 8 \text{ 分} \times 25 \text{ 日} \times 12 \text{ 月} = 1,854 (1,854)$
				小計 ④ + ⑥ $2,018 (2,018)$
				③ 郵便料
				④ 国内 $34 \text{ 円} \times 56 \text{ 通} \times 25 \text{ 日} \times 12 \text{ 月} = 575 (575)$
				⑥ 海外 $\frac{(164)}{180 \text{ 円} \times \{ (400 \text{ 人} \times 4 \text{ 月}) + (200 \text{ 人} \times 12 \text{ 月}) + (300 \text{ 人} \times 7 \text{ 月}) + (70 \text{ 人} \times 4 \text{ 月}) + (20 \text{ 人} \times 10 \text{ 月} \times 12 \text{ 月}) \}} = 1,580 (1,440)$
				⑤ 印刷物送達費 $\frac{(43,779)}{47,150 \text{ 円}} \times 12 \text{ 月} = 566 (525)$
				小計 ④ ~ ⑤ $2,721 (2,540)$
				④ 電報料
				④ 国内 $137 \text{ 円} \times 355 \text{ 語} \times 12 \text{ 月} = 582 (582)$
				⑥ 国外 $144 \text{ 円} \times 30 \text{ 語} \times 20 \text{ 通} \times 12 \text{ 月} = 1,034 (1,034)$
				小計 ④ + ⑥ $1,616 (1,616)$
				(5) 消耗品費 $2,115 (1,978)$
				① 感光紙 $\frac{(840)}{900 \text{ 円}} \times 50 \text{ 冊} \times 12 \text{ 月} = 540 (504)$
				② ロール感光紙 $\frac{(2,910)}{3,130 \text{ 円}} \times 25 \text{ 巻} \times 12 \text{ 月} = 939 (873)$
				③ 項目別分類カード $10 \text{ 円} \times 15,000 \text{ 枚} = 150 (150)$
				④ 整理用ファイル $\frac{(240)}{260 \text{ 円}} \times 600 \text{ 枚} = 156 (144)$

(116)

(単位: 千円)

事 項 及 び 科 目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積 算 基 礎
				⑤ その他事務用紙 $\frac{(25,530)}{27,500 \text{ 円}} \times 12 \text{ 月} = 330 (307)$
				(6) 自動車維持費 $\frac{(146,030)}{157,270 \text{ 円}} \times 2 \text{ 台} = 315 (292)$
				(7) 光 熱 水 料 $16,509 (13,185)$
				① 電 気 $40 \% 7,174 (5,124)$
				② ガ ス $35 \% 1,040 (770)$
				③ 重 油 $42 \% 3,395 (2,391)$
				④ 水 道 $- 4,900 (4,900)$
				(8) 印刷製本費 $3,684 (3,378)$
				① 派遣計画及び実施要領関係 $\frac{(164)}{180 \text{ 冊}} \times 50 \text{ 部} \times 25 \text{ 種} \times 12 \text{ 月} = 2,700 (2,460)$
				② 協力隊年次報告書 $\frac{(383)}{410 \text{ 冊}} \times 2,400 \text{ 部} = 984 (918)$
				(9) 交 通 費 $561 (521)$
				① 電車自動車 $\frac{(1,250)}{1,350 \text{ 円}} \times 25 \text{ 日} \times 12 \text{ 月} = 405 (375)$
				② 自動車路上 $\frac{(485)}{520 \text{ 円}} \times 25 \text{ 日} \times 12 \text{ 月} = 156 (146)$
				(10) 図書購入費
				参考図書 $\frac{(795)}{860 \text{ 冊}} \times 20 \text{ 冊} \times 12 \text{ 月} = 206 (191)$
				(11) 会 議 費 $1,346 (1,258)$
				① 協力隊運営委員会 $\frac{(198)}{210 \text{ 冊}} \times 20 \text{ 人} \times 8 \text{ 回} = 34 (32)$
				② 派遣打合せ等 $\frac{(198)}{210 \text{ 冊}} \times 20 \text{ 人} \times 40 \text{ 種} \times 4 \text{ 回} = 672 (635)$

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	当年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
				③ 歓送迎会 $\frac{(369)}{400 \text{ 円} \times 200 \text{ 人} \times 8 \text{ 回}} = 640 (591)$
				(2) 借料及び損料 889 (825)
				ゼロックス $\frac{(339,950)}{\text{基本料 } 366,130 \text{ 円} + \text{超額分 } 22,610 \text{ 円}} = 889 (825)$
				(13) 修 理 費 8,716 (8,716)
				① 内装工事 4,000
				② 真空ポンプ修理 2,500
				③ 変電圧調整圧動力修理 2,216
				(14) 預 金 3,012 (2,900)
				臨時備入 $\frac{(2,420)}{2,510 \text{ 円} \times 20 \text{ 日} \times 5 \text{ 人} \times 12 \text{ 月}} = 3,012 (2,900)$
				(15) 諸 税 公 課 6,599 (6,599)
				① 固定資産税 $380,000 \text{ 円} \times \frac{17}{1,000} = 6,460 (6,460)$
				② 自動車税 $31,500 \text{ 円} \times 2 \text{ 台} = 63 (63)$
				③ 自動車重量税 $37,800 \text{ 円} \times 2 \text{ 台} = 76 (76)$
				(16) 保 險 料 355 (329)
				① 火災保険料 180 (167)
				② 自動車保険料(任意自賠責) $\frac{(80,850)}{87,320 \text{ 円} \times 2 \text{ 台}} = 175 (162)$
				(17) 雑 役 務 費 96,581 (89,667)
				① 事務所保守料
				① 管理費及び清掃費 72,198 (67,036)
				② その他(設置関係法定検査費等) 8,053 (7,477)
				小 計 ① + ② 80,251 (74,513)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				② 海外送付送料
				④ 隊員分(新規・再派遣)
				$\frac{(3,200)}{(3,450円 \times 2回)} + \frac{(1,370)}{(1,480円 \times 2回)} \times 300件 = 2,958(2,742)$
				⑤ 隊員分(継続・帰国)
				$\frac{(3,200)}{(3,450円 \times 4回)} + \frac{(1,370)}{(1,480円 \times 4回)} \times 600件 = 11,832(10,968)$
				⑥ 駐在員調整員
				$\frac{(3,200)}{(3,450円 \times 4回)} + \frac{(1,370)}{(1,480円 \times 4回)} \times 30件 = 592(548)$
				小 計 ④ ~ ⑥ 15,382(14,258)
				③ 隊員バッヂ作成費 $\frac{(349)}{380円} \times \frac{(400)}{360人} = 137(137)$
				④ 強光灯取替 $\frac{(397)}{430円} \times 615本 \times \frac{1}{2} = 132(122)$
				⑤ 職員委託研協費
				① 語 学(仏、西語) $\frac{(93,400)}{100,590円} \times 5コース = 503(468)$
				② 事務管理関係 $\frac{(32,600)}{35,110円} \times 5コース = 176(167)$
				小 計 ① ~ ② 679(635)
				所 費 計 (1) ~ (17) 162,952(151,394)

(単位 千円)

事 項 及 び 科 目	前年度予算額	昭和56年度 予 算 額	対前年度比較 増△減額	積 算 基 礎										
(2) 駒ヶ根訓練所に必要経費	(96,559) 96,779	102,829	6,650											
(項) 業 務 諸 費	(96,559) 96,779	102,829	6,650											
(目) 職 員 旅 費	(929) 978	978	0	業務用合世尊(東京基準、3等級、1泊2日) $27,180 \text{ 円} \times 3 \text{ 回} \times 12 \text{ 月} = 978 (978)$										
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>等級</th><th>鉄道賃</th><th>日 当</th><th>宿 泊</th><th>計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td><td>16,880 円</td><td>$1,600 \text{ 円} \times 2 \text{ 日}$ $= 3,200 \text{ 円}$</td><td>$8,100 \text{ 円} \times 1 \text{ 泊}$ $= 8,100 \text{ 円}$</td><td>27,180 円</td></tr> </tbody> </table>	等級	鉄道賃	日 当	宿 泊	計	3	16,880 円	$1,600 \text{ 円} \times 2 \text{ 日}$ $= 3,200 \text{ 円}$	$8,100 \text{ 円} \times 1 \text{ 泊}$ $= 8,100 \text{ 円}$	27,180 円
等級	鉄道賃	日 当	宿 泊	計										
3	16,880 円	$1,600 \text{ 円} \times 2 \text{ 日}$ $= 3,200 \text{ 円}$	$8,100 \text{ 円} \times 1 \text{ 泊}$ $= 8,100 \text{ 円}$	27,180 円										
(目) 方 費	(96,630) 95,201	101,851	6,650	(1) 備 品 費 3,591 (3,591) ① 自家発電機 3,591 (0) ② 前年度限り 0 (3,591) 計 ① + ② 3,591 (3,591) (2) 通信運搬費 7,611 (7,611) ① 電 話 料 ① 基 本 料 $2,600 \text{ 円} \times 10 \text{ 本} \times 12 \text{ 月} = 312 (312)$ ② 市外通話料 $345 \text{ 円} \times 7 \text{ 通話} \times 25 \text{ 回} \times 10 \text{ 本} \times 12 \text{ 月} = 7,245 (7,245)$ ③ $50 \text{ 円} \times 40 \text{ 回} \times 12 \text{ 月} = 24 (24)$ 小 計 ① ~ ③ 7,581 (7,581) ② 郵便料(国内) $50 \text{ 円} \times 50 \text{ 通} \times 12 \text{ 月} = 30 (30)$ (3) 消耗品費 2,856 (2,653) ① トイレ用紙・清掃関係消耗品 $(52,100)$ $56,110 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} = 673 (625)$										

(単位 千円)

事 項 及 び 科 目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積 算 基 礎
				② 感 光 紙 $\frac{(1,180)}{1,270 \text{ 冊} \times 40 \text{ 冊} \times 12 \text{ 月}} = 610 (566)$ ③ ロール感光紙 $\frac{(4,090)}{4,400 \text{ 冊} \times 20 \text{ 巻} \times 12 \text{ 月}} = 1,056 (982)$ ④ 筆 務 用 品 $\frac{(40,000)}{43,080 \text{ 冊} \times 12 \text{ 月}} = 517 (480)$ (4) 自動車維持費 $213,680 \text{ 円} \times 2 \text{ 台} = 427 (427)$ (5) 光 熱 水 料 13,107 (11,049) ① 電 気 (54年度実績) $\frac{(500,560)}{700,780 \text{ 円} \times 12 \text{ 月}} = 8,409 (6,007)$ 40% ② ガ ス $\frac{(186,700)}{58,530 \text{ 円} \times 12 \text{ 月}} = 702 (2,228)$ 35% ③ 重 油 $\frac{(234,500)}{332,990 \text{ 円} \times 12 \text{ 月}} = 3,996 (2,814)$ 42% (6) 諸 税 公 課 14,416 (14,416) ① 地 方 税 (建物) $839,819 \text{ 円} \times \frac{17}{1,000} = 14,277 (14,277)$ ② 自動車重量税 $37,800 \text{ 円} \times 2 \text{ 台} = 76 (76)$ ③ 自 動 車 税 $31,500 \text{ 円} \times 2 \text{ 台} = 63 (63)$ (7) 借 料 及 び 賃 料 2,030 (1,776) ① 敷 地 借 料 $60 \text{ 円} \times 18,996 \text{ 坪} = 1,140 (950)$ ② ゼロックス借料 基本料 $\frac{(388,960)}{418,910 \text{ 円} + \text{超過分} 470,690 \text{ 円}} = 890 (826)$ (437,040) (8) 保 險 料 245 (227) ① 火災保険料 (建物、不動産) 70 (65)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
				② 自動車保険料 $\frac{(80,850)}{87,320円} \times 2台 = 175(162)$
				(9) 租 役 務 費 51,568(53,451)
				① 訓練所管理委託費 $\frac{(4,090)}{4,405千円} \times 12月 = 52,860(49,080)$
				② その他(設置関係法外検査費等) 4,708(4,371)
				行 費 計 (1) ~ (9) 101,851(95,210)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
II 事業運営に必要な経費	(76,675) 80,708	86,345	5,637	
1. 研修員受入業務経費				
(項) 業務諸費	(27,644) 10,275	10,766	491	
(目) 諸謝金	(140) 147	153	6	カリキュラム作成報酬 (690) $720 \text{ 円} \times 5 \text{ 枚} \times (125 + 25) \times \frac{1}{5} = 108 (104)$ 実態調査謝金 (144) $150 \text{ 円} \times 300 \text{ 回} = 45 (43)$ 計 153 (147)
(目) 職員旅費	(2,455) 3,637	3,637	0	(1) 研修先打合せ案内(大阪基準、3等級3泊4日) $(2,548 \text{ 円} + 10,017 \text{ 円}) \times 14 \text{ 回} \times 12 \text{ 月} = 2,951 (2,951)$ (2) 管理旅費(3等級、1泊2日) 内原センター $5,937 \text{ 円} \times 1 \text{ 回} \times 12 \text{ 月} = 71 (71)$ 神楽川センター $4,940 \text{ 円} \times 1 \text{ 回} \times 12 \text{ 月} = 60 (60)$ 名古屋センター $2,041 \text{ 円} \times 1 \text{ 回} \times 12 \text{ 月} = 109 (109)$ 大阪センター $10,530 \text{ 円} \times 1 \text{ 回} \times 12 \text{ 月} = 127 (127)$ 兵庫センター $10,930 \text{ 円} \times 1 \text{ 回} \times 12 \text{ 月} = 131 (131)$ 淡路センター $8,323 \text{ 円} \times 1 \text{ 回} \times 12 \text{ 月} = 100 (100)$ 小 計 598 (598) (3) 調査打合せ旅費(大阪基準3等級、1泊2日) $10,956 \text{ 円} \times 2 \times 4 \text{ 回} = 88 (88)$

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	減算基礎
(目) 労 資	(6,169) 6,491	6,976	485	
				1. 印刷製本費
				年間受入訓導作成 (35) 38円 × 2,000部 × 3種 = 228 (210)
				研修インフォメーション作成 (157) 170円 × 100部 × 120 = 2,040 (1,884)
				研修終了証書 (349) 380円 × 2,600部 = 988 (906)
				研修員ニュース (96) 100円 × 2,600部 × 2種 = 520 (499)
				研修員名簿年度別 (226) 240円 × 600部 = 144 (136)
				〃 月別 (116) 120円 × 150部 × 30回 = 540 (522)
				研修員調査票 (7) 8円 × 2,200部 = 18 (15)
				研修員カード(集計用パンチカード) (14) 15円 × 2,200部 = 33 (31)
				Technical Training in Japan (75) 80円 × 4,000部 = 320 (300)
				調査表作成費 (109) 120円 × 1,950部 = 234 (213)
				調査報告書 (472) 510円 × 650部 = 332 (307)
				果硬別調査報告書 (403) 430円 × 90部 = 39 (36)
				小 計 5,426 (5,059)
				2. 通信運搬費
				研修費調査依頼資料 (15) 16円 × 2,000部 = 32 (30)
				3. 会議費
				インフォメーション作成打合せ (198) 210円 × 5人 × 3回 × 12月 = 38 (35)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	概算 基 礎
				集団受入計画作成等打合せ $\frac{(89)}{96 \text{ 円}} \times 8 \text{ 人} \times 100 \text{ 件} \times 3 \text{ 回} = 230 (214)$ 個別受入計画作成等打合せ $\frac{(89)}{96 \text{ 円}} \times 8 \text{ 人} \times 400 \text{ 件} = 307 (285)$ 研修管理業務打合せ $\frac{(89)}{96 \text{ 円}} \times 3 \text{ 人} \times 120 \text{ 件} = 35 (32)$ 研修機関実態調査打合せ $\frac{(219)}{246 \text{ 円}} \times 10 \text{ 人} \times 10 \text{ 回} = 24 (22)$ 小 計 634 (588)
				4. 交 通 費 関係各省連絡 $\frac{(41)}{40 \text{ 円}} \times 80 \text{ 回} \times 12 \text{ 月} = 38 (40)$ $\frac{(280)}{300 \text{ 円}} \times 50 \text{ 回} \times 12 \text{ 月} = 180 (168)$ 関係事務所連絡 $\frac{(75)}{80 \text{ 円}} \times 3,000 \text{ 件} = 240 (225)$ 研修費案内 $\frac{(554)}{800 \text{ 円}} \times 400 \text{ 件} = 240 (222)$ 小 計 698 (655)
				5. 賃 金 カード整理等業務臨時雇員 $\frac{(2420)}{2,510 \text{ 円}} \times 24 \text{ 日} \times 2 \text{ 人} = 120 (107)$
				6. 機 役 務 費 研修期間更新手数料 $\frac{(1040)}{1,120 \text{ 円}} \times 50 \text{ 件} = 56 (52)$ 計 (1 ~ 6) 6,976 (6,491)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
2. 帰国研修員アフターケア 業務経費				
(項) 業務諸費	(6,267) 6,597	2810	1,213	
(目) 諸謝金	(43) 46	48	2	調査対象国研究のための諸師謝金 (3,800) $3,790円 \times 21 \times 3人 \times 2チーム = 48 (116)$
(目) 職員旅費	(117) 123	123	0	調査団集合および調査報告(大阪基準 3等級 2泊3日) $(8,069円 + 7,304円) \times 4人 \times 2回 = 123 (123)$
(目) 庁費	(6,107) 6,428	2,639	1,211	1. 印刷製本費 調査系作成費 (21) $20円 \times 3,000部 = 60 (63)$ 同窓会規則印刷費 (308) $330円 \times 170部 \times 2種 = 112 (105)$ KENSHU-IN誌作成費 (116) $120円 \times 8,810部 \times 4回 = 4,229 (4,094)$ 日本語テキスト (69) $70円 \times 170部 \times 4種 \times 2回 = 95 (94)$ 参考文献 (1,668) $1,800円 \times 3ヶ国 \times 2チーム = 11 (10)$ 小計 4,507 (4,366) 2. 通信運搬費 調査系送付等 (144) $76円 \times 2回 \times 100人 \times 3ヶ国 \times 2種 = 19 (17)$ KENSHU-IN誌送料 (287) $30円 \times 8,810部 \times 4回 = 1,057 (1,012)$ 小計 1,076 (1,029)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
				3. 備品費
				技術フィルム購入 $\frac{(48,500)}{52,230円} \times 2本 = 104(97)$
				4. 消耗品費
				KENSHU-IN 絶封筒作成費 $\frac{(13.7)}{2.6円} \times 8,810部 \times 4回 = 338(482)$
				宛名カード作成費 $\frac{(41)}{43円} \times 8,810部 \times 4回 \frac{(1)}{1} = 1,515(362)$
				日本語学習テープ $\frac{(1400)}{1,510円} \times 3種 \times 10本 \times 2回 = 91(84)$
				小計 1,944(928)
				5. 会議費
				英能調査打合せ $\frac{(134)}{140円} \times 10人 \times 3回 \times 2千円 = 8(8)$
				計 (1 ~ 5) 7,639(6,428)

(単位 千円)

事項及公科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
3. 専門隊フォローアップ 業務費				
(項)業務諸費	(3,162) 3,328	3,596	268	
(目)諸謝金	(164) 172	252	80	エキスパート誌原稿料 (410) 420円 × 20枚 × 5件 × 6回 = 252 (172)
(目)職員旅費	(114) 120	120	0	帰国専門地域別会議旅費 (8,553円 + 11,445円) × 6人 × 1回 = 120 (120)
(目)庁費	(2,884) 3,036	3,224	188	1. 印刷製本費 エキスパート誌作成費 (171) 180円 × 2,260部 × 6回 = 2,441 (2,317) 2. 通信運搬費 エキスパート誌送料 (144) (1) 海外 160円 × 750部 × $\frac{1}{2}$ 手数料 × 6回 = 360 (325) (2) 国内 (27) 29円 × 1,000部 × 6回 = 174 (162) 計 (1) ~ (2) 534 (487) 3. 交通費 (1) 事務連絡 50円 × 5人 × 12月 = 3 (2) 事務連絡 (350) 380円 × 5人 × 12月 = 23 (21) 計 (1) ~ (2) 26 (24) 4. 会議費 (1) 帰国専門地域会 (355) 380円 × 1,500人 × $\frac{1}{3}$ = 190 (177)

(128)

(単位 千円)

事項及公科目	前年度予算額	昭和54年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				(2) 滞国専門医地政訓会議 $\frac{(205)}{220 \text{ 月}} \times 50 \text{ 人} \times 3 \text{ 回} = 33 (31)$
				計 (1) ~ (2) 223 (208)
				合 計 1 ~ 4 3,224 (3,036)

(129)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
4 専門家の業務経費				
(項) 業務諸費	(3,547) 3,733	4,109	376	
(目) 謝金	(539) 567	595	28	1. 専門家選考委員会謝金 $\frac{(2,070)}{2,170 \text{円} \times 3人 \times 220件} \times \frac{1}{10} = 143 (137)$ 2. 専門家身上調査謝金 $\frac{(3,451)}{3,620 \text{円} \times 220件} \times \frac{1}{5} = 159 (152)$ 3. 市場調査謝金 $\frac{(3,485)}{3,660 \text{円}} \times 80件 = 293 (278)$ 計 595 (567)
(目) 職員旅費	(1,073) 1,129	1,129	0	1. 派遣業務11台車 (左島基準 4等級 2泊3日) $(10,871 \text{円} + 6,186 \text{円}) \times 358件 \times \frac{2}{3} \times \frac{1}{5} = 705 (705)$ 2. 横越検収縮機立合 (大阪基準 4等級 2泊3日) $(2,488 \text{円} + 6,186 \text{円}) \times 220件 \times \frac{1}{10} = 345 (345)$ 3. 資料収集及び連絡 (大阪基準 3等級 3泊4日) $(2,758 \text{円} + 10,019 \text{円}) \times 4回 = 79 (79)$ 計 1,129 (1,129)
(目) 印刷費	(1,935) 2,037	2,385	348	1. 印刷製本費 定期報告書作成 $\frac{(137)}{150 \text{円} \times 50部 \times 3種 \times 12月} = 270 (246)$ 派遣計画作成 $\frac{(144)}{160 \text{円} \times 115部 \times 12月} = 221 (199)$ インボイス、パッキングリスト、輸送依頼書作成 $\frac{(300)}{320 \text{円} \times 120部 \times 4種} = 154 (51)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				専門業務報告書、業務連絡、調査報告書 行動日程表等作成 $\frac{(137)}{150 \text{ 円}} \times 3 \text{ 冊} \times 5 \text{ 種} \times 389 \times \frac{1}{3} = 438 (346)$
				計 1,083 (842)
				2. 備品費
				キャビネット $\frac{(15,000)}{16,200 \text{ 円}} \times 1 \text{ 台} = 16 (15)$
				3. 交通費
				一般事務連絡 $\frac{(41)}{44 \text{ 円}} \times 3 \text{ 冊} \times 22 \text{ 日} \times 12 \text{ 月} = 35 (33)$
				$\frac{(342)}{370 \text{ 円}} \times \frac{(4)}{5 \text{ 冊}} \times 10 \text{ 日} \times 12 \text{ 月} = 222 (164)$
				専門家送迎 $\frac{(800)}{(860 \text{ 円} + 120 \text{ 円})} \times \frac{(110)}{450 \text{ 人}} \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{3} = 74 (68)$
				計 331 (265)
				4. 会議費
				選考委員会及び派遣打合せ $\frac{(171)}{180 \text{ 円}} \times 11 \text{ 人} \times 220 \text{ 件} \times \frac{1}{5} = 87 (83)$
				各省連絡 $\frac{(171)}{180 \text{ 円}} \times 5 \text{ 人} \times 13 \text{ 省庁} \times 12 \text{ 月} \times \frac{1}{3} = 47 (44)$
				帰国報告会 $\frac{(171)}{180 \text{ 円}} \times 10 \text{ 人} \times 220 \text{ 件} \times \frac{1}{2} = 198 (188)$
				携行機材品目打合せ $\frac{(171)}{180 \text{ 円}} \times 5 \text{ 人} \times 220 \text{ 件} \times \frac{1}{5} = 40 (38)$
				調査打合せ $\frac{(171)}{180 \text{ 円}} \times 5 \text{ 人} \times 40 \text{ 回} = 36 (34)$
				計 408 (387)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和54年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
				5. 図書購入費
				関係図書 $\frac{(700)}{250冊} \times 20冊 = 15 (14)$
				6. 賃金
				資料作成係人賃 $\frac{(2,420)}{2,510日} \times 106日 \times 2人 = 532 (514)$
				合 計 (1 ~ 6) 2,385 (2,037)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比 増△減額	算 算 基 礎
5. 機材供与業務経費				
(項) 業務諸費	(1,462) 1,537	1,840	101	
(目) 諸謝金	(583) 614	641	27	仕様書作成謝金 $\frac{(3,650)}{3,830 \text{ 円}} \times 10 \text{ 枚} \times 25 \text{ 件} \times \frac{1}{2} = 477 (456)$ 仕様書郵送料 (和文外語訳) $\frac{(527)}{540 \text{ 円}} \times 5 \text{ 枚} \times 3 \text{ 種} \times 20 \text{ 件} = 162 (158)$ 計 641 (614)
(目) 職員旅費	(251) 264	264	0	仕様書打合せ、検収及び船積立会 (大阪基準 3等級 3泊4日) $(8,840 \text{ 円} + 10,020 \text{ 円}) \times 2 \text{ 種} \times 14 \text{ 件} \times \frac{1}{2} = 264 (264)$
(目) 庁 費	(628) 661	735	74	1. 印刷製本費 仕様書作成 $\frac{(144)}{160 \text{ 円}} \times \frac{(30)}{38 \text{ 件}} = 6 (3)$ 図面 (トレス焼付) $\frac{(2,200)}{2,370 \text{ 円}} \times 2 \text{ 種} \times 15 \text{ 件} \times \frac{1}{3} = 24 (22)$ 品目リスト $\frac{(267)}{270 \text{ 円}} \times 2 \text{ 種} \times 20 \text{ 件} \times 10 \text{ 部} = 116 (107)$ インボイス・パッキングリスト作成 $\frac{(871)}{740 \text{ 円}} \times 2 \text{ 種} \times 20 \text{ 部} = 38 (35)$ 計 184 (167) 2. 備品費 ファビネット $\frac{(17,500)}{18,800 \text{ 円}} \times 2 \text{ 台} = 38 (35)$ 3. 消耗品費 ファイル $\frac{(35)}{38 \text{ 円}} \times 600 \text{ 枚} = 23 (21)$

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				4 図書購入費
				執務参考図書 $\frac{(700)}{750円} \times 50種 = 38(35)$
				5 交 通 費
				タクシー $\frac{(280)}{300円} \times 20回 \times 12月 = 72(67)$
				地下鉄 $\frac{(41)}{40円} \times 40回 \times 12月 = 20(20)$
				計 72(87)
				6 会 議 費
				奨励講演会 $\frac{(171)}{180円} \times 10人 \times \frac{(3)}{6回} = 11(5)$
				仕様書作成会 $\frac{(171)}{180円} \times 5人 \times 2回 \times \frac{(23)}{38件} = 69(40)$
				調査打合せ $\frac{(171)}{180円} \times 5人 \times 2回 \times 8件 = 14(14)$
				計 74(59)
				7 賃 金
				資料作成係人賃 $\frac{(2,420)}{2,510円} \times 106日 \times 1人 = 266(257)$
				合 計 1 ~ 7 735(661)

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
6 技術協力センター業務経費				
(項)業務諸費	(2,823) 2,972	3,142	170	
(目)諸謝金	(776) 838	883	45	1. 専門協議会委員謝金 $\frac{(2,070)}{2,170 \text{円} \times 5人 \times 1回 \times 2件} = 22 (21)$ 2. 専門家身上調査謝金 $\frac{(3,450)}{3,620 \text{円} \times 20人 \times \frac{2}{3}} = 48 (46)$ 3. 仕様書作成謝金 $\frac{(2,070)}{2,170 \text{円} \times 70枚 \times 2件} = 304 (290)$ 4. 仕様書作成謝金 $\frac{(417)}{440 \text{円} \times 7頁 \times 70枚 \times 2件} = 431 (409)$ 5. 委員謝金 $\frac{(1,030)}{1,080 \text{円} \times 4人 \times 9回 \times 2件} = 78 (74)$ 計 (1) ~ (5) 883 (838)
(目)職費旅費	(601) 633	633	0	1. 調査船積立会 (大阪基準 3等級 3泊4日) $(2,586 + 10,018) \text{円} \times 4回 \times 2件 = 141 (141)$ 2. 検収連絡旅費 $(2,586 + 10,018) \text{円} \times 3回 \times 5件 = 264 (264)$ 3. 派遣連絡旅費 $(2,586 + 10,018) \text{円} \times 5回 \times 2件 = 176 (176)$ 4. 専門家採用口合せ $(2,586 + 10,018) \text{円} \times 3回 \times 1件 = 52 (52)$ 計 633 (633)
(目)労賃	(1,426) 1,501	1,626	125	1. 備品費 キヤビネット $\frac{(19,670)}{21,200 \text{円} \times 3台} = 64 (59)$ 2. 消耗品費 ファイル $\frac{(35)}{38 \text{円} \times 600枚} = 23 (21)$

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				3. 印刷製本費
				(1) 仕様著作成 和文 ⁽¹⁰⁹⁾ 120円 × 25部 × 50種 × 2件 = 300 (273)
				英文 ⁽¹⁰⁹⁾ 120円 × 18部 × 50種 × 2件 = 216 (196)
				(2) 図面作成(トレース焼付)
				⁽²⁶⁰⁰⁾ 2,810円 × 15種 × 2件 = 84 (78)
				(3) 品目リスト ⁽²³⁹⁾ 260円 × 20部 × 2種 × 4件 = 42 (38)
				(4) 通関船積関係書類(インボイス・パッキングリスト等)
				⁽⁴⁸⁵⁾ 520円 × 20部 × 3種 × 4件 = 125 (116)
				⁽²⁸⁰⁾ 300円 × 20部 × 3種 × 4件 = 72 (67)
				(5) 調達資料 ⁽²⁸⁰⁾ 300円 × 10部 × 3種 × 2件 = 18 (17)
				⁽¹⁵⁰⁾ 160円 × 5部 × 2種 × 7件 = 11 (11)
				(6) 専門調査委員会資料
				⁽²⁸⁰⁾ 300円 × 30部 × 4種 = 36 (34)
				(7) 渡航前打合せ関係資料
				⁽²⁸⁰⁾ 300円 × 30部 × 4種 = 36 (34)
				(8) 報告者用紙 ⁽¹⁴⁴⁾ 160円 × 100部 × 2種 = 32 (29)
				(9) 定期報告者用紙 ⁽¹⁴⁴⁾ 160円 × 40部 × 2種 = 13 (12)
				計 (1) ~ (9) 985 (905)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	概 算 基 礎
				4. 図書購入費
				教科参考図書 $\frac{(700)}{250 \text{ 円}} \times 70 \text{ 種} = 53(49)$
				5. 交通費
				(1) 一般定額研修交通費
				$40 \text{ 円} \times 50 \text{ 回} \times 4 \text{ 件} = 8(8)$
				(2) "
				$\frac{(350)}{380 \text{ 円}} \times 15 \text{ 回} \times 8 \text{ 件} = 46(42)$
				計 (1) ~ (2) 54(50)
				6. 会費費
				(1) 社務著作成打合せ
				$\frac{(205)}{220 \text{ 円}} \times 20 \text{ 人} \times 2 \text{ 回} \times 4 \text{ 件} = 35(33)$
				(2) 調査打合せ
				$\frac{(205)}{220 \text{ 円}} \times 26 \text{ 人} \times 2 \text{ 回} \times 4 \text{ 件} = 46(43)$
				(3) 研修打合せ
				$\frac{(205)}{220 \text{ 円}} \times 10 \text{ 人} \times 2 \text{ 回} \times 4 \text{ 件} = 18(16)$
				(4) 据付関係打合せ
				$\frac{(205)}{220 \text{ 円}} \times 10 \text{ 人} \times 2 \text{ 回} \times 2 \text{ 件} = 9(8)$
				(5) 専門研修委員会
				$\frac{(205)}{220 \text{ 円}} \times 15 \text{ 人} \times 2 \text{ 回} \times 2 \text{ 件} = 13(12)$
				(6) 市国報協会
				$\frac{(205)}{220 \text{ 円}} \times 40 \text{ 人} \times 2 \text{ 回} = 18(16)$

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	前年度比増△減額	積算基礎
				(7) 渡航前打合せ (205) 220円 × 15人 × 2回 × 2件 = 13 (12)
				(8) 設置関係打合せ (205) 220円 × 17人 × 2回 × 11件 = 82 (77)
				計 (7) ~ (8) 234 (211)
				2 賃 金 (2,420) 2,510円 × 85日 × 1人 = 213 (206)
				合 計 1 ~ 7 1,626 (1,501)

				(単位:千円)	
事業及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算	基礎
2 開発調査業務経費					
(項)業務諸費	(4064) 4,278	4,565	287		
(目)諸謝金	(1204) 1,268	1,320	52		
				1. 資料翻訳料(英和訳)	(478) 490円 × 60頁 × 17件 = 500(488)
				2. " (特殊翻訳)	(478) 490円 × 50頁 × 17件 = 417(406)
				3. 調査オリエンテーション講師謝金	(1497) 1,570円 × 2時間 × 3人 × 17件 = 160(153)
				4. 果樹別委員会委員謝金(交通、運輸、水資源)	(1380) 1,450円 × 5人 × 3果樹 × 3回 = 65(62)
				5. プロジェクト選定委員会	(1380) 1,450円 × 5人 × 3果樹 × 3回 = 65(62)
				6. コンサルタント選定委員会委員謝金	(1380) 1,450円 × 10人 × 4回 = 58(55)
				7. 開発調査実績校受審謝金	(1050) 1,090円 × (40) 50枚 = 55(42)
				合 計	1 ~ 7 1,320(1,268)
(目)職員旅費	(365) 384	384	0	1. 調査出張運打台せ	(8,669 + 3,734)円 × 2回 × 25件 × $\frac{1}{3}$ = 207(207)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
				2. 調査用機材換装費積立金 $(8,669 + 3,734) \text{円} \times 1 \text{回} \times 15 \text{件} \times \frac{1}{3} = 62 (62)$
				3. 地方国員打合出席旅費 $(8,669 + 3,734) \text{円} \times 3 \text{人} \times 2 \text{回} = 74 (74)$
				4. 相手国関係者案内旅費 $(8,669 + 3,734) \text{円} \times 1 \text{人} \times 10 \text{件} \times \frac{1}{3} = 41 (41)$
				合 計 1 ～ 4 384 (384)
(用) 方 費	(2,495) 2,626	2,861	235	1. 備品費 (1) キヤビネット $\frac{(14,604)}{15,730 \text{円}} \times 6 = 74 (87)$ (2) 地図整理棚 $\frac{(10,436)}{11,240 \text{円}} \times 5 = 56 (52)$ (3) 備品補修費 $\frac{(3,472)}{3,740 \text{円}} \times 30 \text{点} = 112 (104)$ 計 262 (243)
				2. 印刷製本費 (1) 欧 文 $\frac{(3,472)}{3,740 \text{円}} \times 1 \text{種} \times 14 \text{件} = 52 (49)$ (2) 和 文 $\frac{(1,387)}{1,490 \text{円}} \times 2 \text{種} \times 14 \text{件} = 42 (39)$ (3) 地 図 $\frac{(417)}{450 \text{円}} \times 10 \text{種} \times 14 \text{件} = 63 (58)$ (4) トレース (B4) $\frac{(1,387)}{1,490 \text{円}} \times 30 \text{枚} = 45 (42)$ (5) 実行計画作成費 $\frac{(109)}{120 \text{円}} \times 10 \text{種} \times 10 \text{部} \times 14 \text{件} = 168 (153)$

040)

				(単位 千円)	
事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算	基礎
				(6) 各種統計作成費	$\frac{(205)}{220円} \times 2種 \times 10部 \times 14件 = 62(57)$
				(7) 地図図面作成費	$\frac{(2084)}{2,240円} \times 10種 \times 15件 = 336(313)$
				(8) 資料作成費	$\frac{(144)}{160円} \times 50部 \times 7種 \times 75件 = 840(756)$
				(9) 調査田手引作成費	$\frac{(144)}{160円} \times \frac{(200)}{300円} = 48(29)$
				(10) 開元調査資料	$\frac{(205)}{220円} \times 100部 \times 4種 = 88(82)$
				(11) 地図索引目録	$\frac{(1,070)}{1,150円} \times 100部 = 115(107)$
				計 (1) ~ (11)	1,859(1,685)
				3. 交通費	
				(1) 派遣車運務	$\frac{(41)}{44円} \times 30回 \times 14件 = 18(17)$
					$\frac{(280)}{300円} \times 20回 \times 14件 = 84(79)$
				(2) 帰国後連絡	$\frac{(41)}{44円} \times 20回 \times 14件 = 12(11)$
					$\frac{(280)}{300円} \times 15回 \times 14件 = 63(59)$
				(3) プロジェクト調査連絡会	$\frac{(280)}{300円} \times 2回 \times 2人 \times 12月 = 14(14)$
				計 (1) ~ (3)	191(180)
				4. 会議費	
				(1) 調査司派遣打合せ	$\frac{(205)}{220円} \times 10人 \times 10回 \times 14件 = 308(287)$
				(2) 関係機関打合せ	$\frac{(205)}{220円} \times 10人 \times 14件 = 31(29)$

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
				計 (1) ~ (2) 339 (316)
				5. 通信運搬費
				調査報告書追加資料 (727) $780円 \times 20頁 \times 11件 \times 1/5 = 34 (32)$
				6. 賃金
				資料作成係人賃 (2,420) $2,510円 \times 70日 \times 1人 = 176 (170)$
				合 計 1 ~ 6 2,861 (2,626)

(162)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
8 保健医療協力業務経費				
(項)業務諸費	(7,168) 7,545	7,923	378	
(目)謝金	(779) 1,030	1,068	38	委員会謝金 委員会 $\frac{(2,078)}{2,180円} \times 15人 \times 2回 \times \frac{1}{2} = 33 (31)$ 専門部会 $\frac{(2,078)}{2,180円} \times 15人 \times 6回 \times \frac{1}{2} = 98 (94)$ 専門医人選打合せ謝金 $\frac{(2,078)}{2,180円} \times 3人 \times 68件 \times \frac{1}{10} = 44 (42)$ 打合せ会謝金 $\frac{(1,722)}{1,810円} \times 2回 \times 5件 = 18 (17)$ 仕様書作成謝金 $\frac{(1,380)}{1,450円} \times 9種 \times 28件 = 365 (348)$ 翻訳料 $\frac{(478)}{490円} \times 4頁 \times 10種 \times 26件 = 510 (498)$ 計 1,068 (1,030)
(目)職員旅費	(1,894) 1,994	1,994	0	調査前打合せ旅費 (広島基準 5等級 2泊3日) $(9,689 + 6,144円) \times 4人 \times 13件 \times \frac{1}{4} = 206 (206)$ 専門医人選打合せ (大阪基準 3等級 3泊4日) $(2,583 + 10,018円) \times 68件 \times \frac{1}{3} = 399 (399)$ 専門医採用打合せ旅費 $(2,583 + 10,018円) \times 68件 \times \frac{2}{3} \times \frac{1}{5} = 160 (160)$ 専門医旅運連絡旅費 $(2,583 + 10,018円) \times 68件 \times \frac{2}{3} \times \frac{1}{4} = 200 (200)$ 携行機材旅費(船立会旅費) $(2,583 + 10,018円) \times 68件 \times \frac{1}{4} = 300 (300)$

(143)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				帰国専門協会の地域別会議出席旅費(大阪基準 3等級 3泊4日) $(7,583 + 10,018 \text{円}) \times 14人 = 71(71)$ 模範仕様打合せ旅費及び船積立会(大阪基準 3等級 3泊4日) $(7,583 + 10,018 \text{円}) \times 2棟 \times 28件 \times \frac{2}{3} = 658(658)$ 計 1,994(1,994)
(目) 委員旅費	(740) 779	779	0	委員上京旅費(大阪基準 3等級 3泊4日) 委員会 $(10,956 + 8,517 \text{円}) \times 15人 \times 2回 \times \frac{1}{3} = 195(195)$ 専門部会 $(10,956 + 8,517 \text{円}) \times 15人 \times 6回 \times \frac{1}{3} = 584(584)$ 計 779(779)
(目) 労 費	(2,555) 3,742	4,082	340	1. 印刷製本費 定期報告書用紙作成費 $(144) 160 \text{円} \times 50部 \times 2種 \times 12月 = 192(192)$ 調査用紙送付料 $(205) 220 \text{円} \times 30部 \times 3種 \times 8 = 158(158)$ 派遣計画書作成費 $(137) 150 \text{円} \times 50部 \times 12月 = 90(90)$ 入選打合せ資料 $(144) 160 \text{円} \times 20部 \times 25種 = 80(80)$ 専門業務報告書、事務局用紙 $(137) 150 \text{円} \times 3冊 \times 3種 \times 133人 \times \frac{1}{2} = 90(90)$ 委員会資料 $(281) 300 \text{円} \times 20部 \times 8種 = 48(48)$ 図面作成(トレス焼付) $(2,900) 3,120 \text{円} \times 10種 \times 2件 = 62(62)$

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				仕様書作成
				和文 $\frac{(69)}{70 \text{ 円}} \times 30 \text{ 枚} \times 5 \text{ 種} \times 6 \text{ 件} = 63 (63)$
				英文 $\frac{(144)}{160 \text{ 円}} \times 30 \text{ 枚} \times 5 \text{ 種} \times 2 \text{ 件} = 48 (44)$
				インボイス、パッキングリスト
				$\frac{(349)}{380 \text{ 円}} \times 10 \text{ 部} \times 2 \text{ 種} \times 30 \text{ 件} = 228 (210)$
				品目リスト
				$\frac{(281)}{300 \text{ 円}} \times 2 \text{ 種} \times 20 \text{ 部} \times 30 \text{ 件} = 360 (315)$
				翻譯資料
				$\frac{(287)}{300 \text{ 円}} \times 20 \text{ 部} \times 2 \text{ 種} \times 28 \text{ 件} \times \frac{1}{3} = 112 (105)$
				計 1,531 (1,398)
				2. 通信運搬費
				海外回 $\frac{(126)}{140 \text{ 円}} \times 130 \text{ 部} \times 3 \text{ 回} = 55 (50)$
				国内回 $\frac{(22)}{24 \text{ 円}} \times 300 \text{ 部} \times 3 \text{ 回} = 22 (20)$
				計 77 (70)
				3. 消耗品費
				医事雑誌購読費 $\frac{(2,437)}{2,600 \text{ 円}} \times 6 \text{ 種} \times 10 \text{ 冊} = 156 (146)$
				4. 交通費
				一般事務連絡 地下鉄 $\frac{(48)}{50 \text{ 円}} \times 1,370 \text{ 回} = 69 (66)$

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				自動車 $\frac{(349)}{380 \text{ 円}} \times 1,370 = 521 (478)$ 専門隊送迎 $\frac{(834)}{(900 \text{ 円} + 160 \text{ 円})} \times 2 \times (\text{短期 } 138 \text{ 人} + \text{長期 } 85 \text{ 人} + \text{大卒放校等 } 25 \text{ 人}) \times \frac{1}{2} = 262 (254)$ 空港送迎 $\frac{(759)}{(820 \text{ 円} + 130 \text{ 円})} \times 2 \times 8 \text{ 件} \times 2 \text{ 送迎} = 30 (28)$ 計 882 (826)
				5. 会議費
				顔直印隊連打台也 $\frac{(232)}{250 \text{ 円}} \times 10 \text{ 人} \times 3 \text{ 回} \times 13 \text{ 件} = 98 (90)$ 専門隊入選打台也 $\frac{(205)}{220 \text{ 円}} \times 10 \text{ 人} \times 68 \text{ 件} \times \frac{1}{3} = 50 (46)$ 専門隊総連打台也 $\frac{(137)}{150 \text{ 円}} \times 10 \text{ 人} \times 68 \text{ 件} \times \frac{1}{3} = 34 (31)$ 専門隊帰国報告会 $\frac{(137)}{150 \text{ 円}} \times 30 \text{ 人} \times 90 \text{ 件} \times \frac{1}{3} = 135 (123)$ 専門隊機行機校打台也 $\frac{(137)}{150 \text{ 円}} \times 10 \text{ 人} \times 68 \text{ 件} \times \frac{1}{3} = 34 (31)$ 帰国専門隊地域別会議 $\frac{(376)}{400 \text{ 円}} \times 30 \text{ 人} \times 3 \text{ 回} = 37 (34)$ $\frac{(376)}{400 \text{ 円}} \times 150 \text{ 人} \times \frac{1}{3} = 20 (19)$ 仕様書打台也 $\frac{(137)}{150 \text{ 円}} \times 10 \text{ 人} \times 2 \text{ 回} \times 28 \text{ 件} = 84 (77)$ 設計図仕様打台也 $\frac{(205)}{220 \text{ 円}} \times 10 \text{ 人} \times 2 \text{ 回} \times 2 \text{ 件} = 9 (9)$ 機校調整打台也 $\frac{(137)}{150 \text{ 円}} \times 10 \text{ 人} \times 28 \text{ 件} = 42 (39)$ 船機校収打台也 $\frac{(137)}{150 \text{ 円}} \times 10 \text{ 人} \times 2 \text{ 回} \times 28 \text{ 件} = 84 (77)$ 委員会打台也専門部会 $\frac{(349)}{380 \text{ 円}} \times 15 \text{ 人} \times 7 \text{ 回} = 40 (37)$

(146)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎	
				計	667(613)
				4. 図書購入費	
				業務参考図書	(1,750) 1,880 冊 × 40 種 = 75 (70)
				7. 賃金	
				資料作成係人	(2,420) 2,510 円 × 126 日 × 2 人 = 633 (562)
				8. 備品費	
				キヤビネット	(12,000) 20,460 円 × 3 台 = 61 (57)
				合 計 1 ~ 8	4,082 (3,742)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
2 農林業協力業務経費				
(項)業務諸費	(5,580) 5,814	6,220	346	親類漁業専門家謝金 $\frac{(41,790)}{43,840 \text{ 円} \times 5 \text{ 種} \times 3 \text{ 人}} = 658 (7,627)$
(目)諸謝金	(1,093) 1,130	1,186	56	親業協力委員謝金 $\frac{(2,276)}{2,390 \text{ 円} \times 10 \text{ 人} \times 4 \text{ 回}} = 96 (91)$
				専門家選考謝金 $\frac{(757)}{800 \text{ 円} \times 5 \text{ 人} \times 5 \text{ 件}} = 20 (19)$
				仕様者作成謝金 $\frac{(2,276)}{2,390 \text{ 円} \times 10 \text{ 種} \times 137 \text{ 回以上}} = 311 (296)$
				翻訳謝金 $\frac{(752)}{780 \text{ 円} \times 10 \text{ 種} \times 137 \text{ 回以上}} = 101 (97)$
				計 1,186 (1,130)
(目)職員旅費	(1,091) 1,148	1,148	0	旅費前連絡 (左島基準 3等級 3泊4日) $(9,845 \text{ 円} + 9,950 \text{ 円}) \times 3 \text{ 回} \times 107 \text{ 回以上} \times \frac{1}{3} = 198 (198)$
				旅費打合後連絡 (左島基準 3等級 2泊3日) $(9,845 \text{ 円} + 9,950 \text{ 円}) \times 4 \text{ 回} \times 127 \text{ 回以上} = 250 (250)$
				計 1,148 (1,148)
(目)庁費	(3,416) 3,596	3,886	290	1. 交通費
				一般事務連絡 $\frac{(41)}{44 \text{ 円} \times 40 \text{ 回} \times 12 \text{ 月} \times 2 \text{ 件}} = 42 (40)$
				$\frac{(191)}{210 \text{ 円} \times 50 \text{ 回} \times 12 \text{ 月} \times 2 \text{ 件}} = 252 (230)$
				検収連絡 $\frac{(349)}{380 \text{ 円} \times 250 \text{ 回}} = 95 (87)$
				計 389 (357)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				2. 会 議 費
				派遣前打合せ帰国報告会
				(137) $150円 \times (20人 \times 2回 + 30人 \times 1回) \times 15件 = 158(144)$
				仕様書作成打合せ (144) $160円 \times 10人 \times 3回 \times 137シート \times \frac{1}{2} = 62(52)$
				調整給換検収打合せ (144) $160円 \times 10人 \times (3 \times 3回) \times 137シート \times \frac{1}{2} = 187(155)$
				施設関係打合せ (144) $160円 \times 10人 \times 3回 \times 137シート \times \frac{1}{2} = 62(52)$
				漁業協力委員会打合せ (144) $160円 \times 10人 \times 3回 \times 137シート \times \frac{1}{2} = 62(52)$
				委員募集関係機関協議会 (205) $220円 \times 9人 \times 6回 = 12(11)$
				専門家帰国報告会 (144) $160円 \times 20人 \times 13回 \times \frac{8}{10} = 42(23)$
				計 585(489)
				3. 印刷製本費
				調整関係資料 (205) $220円 \times 50部 \times 2種 \times 127シート \times \frac{2}{3} = 264(246)$
				仕様書作成(和文) (191) $210円 \times 50部 \times 207シート \times \frac{2}{3} = 140(127)$
				仕様書作成(英文) (383) $410円 \times 30部 \times 207シート \times \frac{2}{3} = 164(153)$
				品目リスト (308) $330円 \times 30部 \times 207シート \times \frac{2}{3} = 132(123)$
				図面作成 (2,179) $2,890円 \times 5種 \times 207シート \times \frac{2}{3} = 193(179)$
				通訳能積関係 (514) $550円 \times 3種 \times 200部 = 330(308)$
				漁業委員会資料 (226) $240円 \times 30部 \times 4回 = 29(29)$

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				要領図表委員資料 (226) 240冊×50部×5種 = 60(59)
				定期報告書作成 (278) 290冊×150部×5種 = 218(205)
				専門学刊作成 (383) 410冊×100部 = 41(39)
				計 1,571(1,464)
				4. 賃金
				資料作成俸人費 (2,420) 2,510冊×99冊×4人 = 994(959)
				5. 図書購入費
				業務参考書 (1,531) 1,650冊×5種×12冊以下 = 99(92)
				職業専門図書 (2,296) 2,470冊×5種×11冊以下 = 136(126)
				計 235(218)
				6. 通信運搬費
				図書資料海外送料 (267) 290冊×5冊×11冊以下 = 16(15)
				7. 備品費
				電子式卓上計算機 (2,892) 26,000冊×1冊 = 96(94)
				計 (1~7) 3,886(3,596)

(52)

(単位 千円)

事 項 及 公 科 目	前年度予算額	昭和56年度 予 算 額	対前年度比較 増△減額	積 算 基 礎
10. 産業開発協力業務経費				
(項) 業 務 諸 費	(2,587) 2,723	2,891	168	
(目) 諸 謝 金	(282) 297	311	14	開発技術専門謝金 $\frac{(41,441)}{43,470 \text{ 円} \times 1人 \times 4種} = 174 (166)$ 専門家庭労働謝金 $\frac{(690)}{720 \text{ 円} \times 5人 \times 3件} = 11 (10)$ 資料作成謝金 $\frac{(342)}{360 \text{ 円} \times 10頁 \times 10種} = 36 (34)$ 仕様書作成謝金 $\frac{(2,064)}{2,170 \text{ 円} \times 5種 \times 5件} = 54 (52)$ 仕様書編纂謝金 $\frac{(690)}{710 \text{ 円} \times 10頁 \times 5件} = 36 (35)$ 計 311 (297)
(目) 職 員 旅 費	(384) 404	404	0	(大坂基準 3等級) 機材調達等打合せ(2泊3日) $(2,769 + 6,876 \text{ 円}) \times 9回 = 131 (131)$ 機材船積等打合せ(2泊3日) $(2,769 + 6,876 \text{ 円}) \times 9回 = 131 (131)$ 機材搬取打合せ(3泊4日) $(2,769 + 10,021 \text{ 円}) \times 8回 = 142 (142)$ 計 404 (404)
(目) 交 通 費	(1,921) 2,022	2,176	154	一般事務連絡 $\frac{(349)}{380 \text{ 円} \times 300回} = 12 (12)$ 計 126 (117)

(単位 円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
				2. 会議費
				機材調達等打合せ (205) 220円 × 10人 × 90回 = 198(185)
				専門家報告会 (349) 380円 × 35人 × 1回 = 13(12)
				仕様書作成打合せ (205) 220円 × 10人 × 25回 = 55(51)
				専門家派遣打合せ (205) 220円 × 20人 × 5回 = 22(21)
				計 288(269)
				3. 印刷製本費
				調査用派遣計画書作成 (144) 160円 × 30部 × 10種 = 48(43)
				仕様書添削書類等作成 (144) 160円 × 30部 × 20種 × 4件 = 384(345)
				指導用資料作成 (218) 230円 × 50部 × 5種 × 4件 = 230(218)
				計 662(606)
				4. 通信運搬費
				資料等送料 (144) 160円 × 60部 × 3種 × 7件 = 202(181)
				5. 図書購入費
				専門図書 (2084) 2,240円 × 10部 × 8種 = 179(167)
				執務参考図書 (1,387) 1,490円 × 10種 = 15(13)
				計 194(180)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				△ 備 品
				キャビネット等 262 (243)
				2 賃 金
				資料作成係人費 $\frac{(2,420)}{2,510 \text{ 円}} \times 88 \text{ 月} \times 2 \text{ 人} = 442 (426)$
				合 計 (1 ~ 7) 2,176 (2,022)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	算 基 礎
11. 開発協力業務経費				
(項) 業務諸費	(2,100) 2,211	2,311	100	
(目) 諸 謝 金	(402) 423	438	15	1. 資料翻訳料 英文和訳 (565) $580 \text{ 円} \times 50 \text{ 頁} \times 5 \text{ 件} = 142 (142)$ 特殊語訳 (802) $830 \text{ 円} \times 40 \text{ 頁} \times 5 \text{ 件} = 166 (160)$ 2. 開発協力調査研修旅費 (2,422) $2,540 \text{ 円} \times 5 \text{ 人} \times 10 \text{ 回} = 127 (121)$ 計 (1 + 2) 438 (423)
(目) 職 員 旅 費	(202) 213	213	10	(大阪基準 3等級 3泊4日) 開発協力事業職業旅費 (7,525 円 + 13,775 円) $\times 10 \text{ 回} = 213 (213)$
(目) 庁 費	(1,496) 1,575	1,660	85	1. 図書購入費 洋 者 (4,064) $4,380 \text{ 円} \times 100 \text{ 部} = 438 (406)$ 和 者 (2,036) $2,190 \text{ 円} \times 100 \text{ 部} = 219 (204)$ 定期刊行物 (24,382) $26,260 \text{ 円} \times 10 \text{ 部} = 263 (244)$ 計 920 (854) 2. 印刷製本費 開発協力関係印刷物作成 $21 \text{ 円} \times 944 \text{ 枚} \times 10 \text{ 種} = 198 (198)$ 3. 賃 金 夜間力一下班記録時要員 (2,420) $2,510 \text{ 円} \times 216 \text{ 人日} = 542 (523)$ 合 計 1,660 (1,575)

(US\$)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	技 術 基 礎
12. 開発投資業務経費				
(項) 業務諸費	(4,884) 5,141	5,451	310	
(目) 諸謝金	(1,570) 1,652	1,726	74	投資調査技術顧問謝金 (40,389) 42,350 円 × 13 件 = 551 (525) 資料翻訳料 (40,192) 41,540 円 × 13 件 = 540 (522) 評価謝金 (201,839) 211,730 円 × 3 件 = 635 (605) 計 1,726 (1,652)
(目) 職員旅費	(262) 276	276	10	研究機関等打合せ (大阪基準 3等級 3泊4日) (2,456 円 + 13,774 円) × 13 回 = 276 (276)
(目) 図書費	(3,352) 3,213	3,449	236	1. 図書購入費 専門書 (4,417) 4,760 円 × 30 種 = 143 (132) 法律書等一般書 (2,213) 2,380 円 × 30 種 = 71 (66) 外国文献購入 (4,417) 4,760 円 × 50 種 = 238 (221) 国内雑誌購入 (444) 480 円 × 12 月 × 20 種 = 115 (107) 外国雑誌購入 (880) 950 円 × 12 月 × 10 種 = 114 (105) 計 681 (632) 2. 印刷製本費 審査中間報告書 (502) 540 円 × 80 部 × 20 件 = 864 (803)

(465)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
				審査報告書 (501) 540円 × 80部 × 20件 = 864(802)
				計 1,728(1,605)
3. 交通費				関係機関等連絡 (81) 90円 × 400回 = 36(32)
				(533) 570円 × 200回 = 114(107)
				計 150(139)
4. 会議費				授受資料打合せ (245) 260円 × 20人 × 3回 × 12月 = 187(176)
				関係者連絡打合せ (245) 260円 × 20人 × 3回 × 12月 = 187(176)
				個別案件調整会議 (245) 260円 × 20件 × 3回 × 13人 = 203(192)
				関係機関等打合せ (245) 260円 × 157回 × 20人 = 78(74)
				融資審査会議 (245) 260円 × 10人 × 2回 × 13件 = 68(64)
				計 723(682)
5. 借料及び賃料				関係機関等打合せ会場賃料 (7,752) 8,350円 × 10時間 × 2日 = 167(155)
				合 計 (1 ~ 5) 3,449(3,212)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	概算 基 礎
13. 無償協力業務経費	(5,886) 6,196	6,478	282	
(項) 業務諸費	(5,886) 6,196	6,478	282	
(目) 諸謝金	(1,183) 1,245	1,295	50	資料翻刻料 $\frac{(51,376)}{52,120 \text{円}} \times 30 \text{件} \times \frac{1}{2} = 797 (770)$
				調査資料収集・整理及び立案 498 (475)
				計 1,295 (1,245)
(目) 職員旅費	(1,530) 1,611	1,611	0	(1) 関係機関打合せ旅費 (大阪基準 3等級 3泊4日) $(21,112 \text{円} + 32,991 \text{円}) \times 20 \text{回} = 1,082 (1,082)$
				(2) 被援助国政府職員同行旅費 (広島基準 4等級 5泊6日) $(22,978 \text{円} + 45,614 \text{円}) \times 7 \text{回} = 529 (529)$
				計 (1) + (2) 1,611 (1,611)
(目) 印刷費	(3,173) 3,340	3,572	232	(1) 交通費
				関係機関連絡 $\frac{(143)}{150 \text{円}} \times 4 \text{回} \times 12 \text{月} \times 25 \text{件} = 180 (171)$
				$\frac{(1,482)}{1,600 \text{円}} \times 2 \text{回} \times 12 \text{月} \times 25 \text{件} = 960 (889)$
				計 1,140 (1,060)
				(2) 図書購入費
				専門書 $\frac{(5,719)}{6,160 \text{円}} \times 10 \text{種} = 62 (57)$
				法律等一般書 $\frac{(2,860)}{3,080 \text{円}} \times 10 \text{種} = 31 (29)$

(単位 円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	概算基礎
				外国文献 $\frac{(5,715)}{6,160円} \times 20種 = 123 (114)$ 国内雑誌 $\frac{(570)}{610円} \times 12月 \times 10種 = 73 (68)$ 外国雑誌 $\frac{(1,710)}{1,840円} \times 12月 \times 10種 = 221 (205)$ 計 510 (473)
				(3) 印刷製本費
				業務資料作成 $\frac{(608)}{650円} \times 80部 \times 20件 = 1,040 (973)$
				(4) 会議費
				関係各社打合せ $\frac{(257)}{280円} \times 20人 \times 2回 \times 25件 = 280 (257)$
				関係各機関打合せ $\frac{(257)}{280円} \times 10人 \times 1回 \times 25件 = 70 (64)$
				計 350 (321)
				(5) 賃金
				臨時傭員 $\frac{(2,420)}{2,510円} \times 2人 \times 106日 = 532 (513)$
				合 計 (1) ~ (5) 3,572 (3,199)

事 項 及 び 科 目	前年度予算額	昭和56年度 予 算 額	対前年度比較 増 減 額	算 基
14. 特殊模範仕様書作成業務経費	(17,381) 18,296	19,443	1,147	
(甲) 業務諸費	(17,381) 18,296	19,443	1,147	
(Ⅱ) 諸 謝 金	(13,597) 14,313	15,422	1,109	
				1. 特別定注模範仕様書作成のための実施設計作業費 $\frac{(2,905,176)}{3,157,570 \text{円} \times 160 \text{件} \times \frac{1}{4}} = 12,630.280 \text{円} = 12,630 (11,621)$ 160件の内訳(センター23棟提供 47 保健医療 40 養休業 42 産業開発 8) 単価内訳 (1) 直接人件費 主任技師 $30,000 \text{円} \times \frac{(1.00)}{1.08} \times 23 \text{日} \times 1 \text{人} \times 1 \text{月} = 745,200 (690,000)$ 技 師 A $25,400 \text{円} \times \frac{(1.00)}{1.095} \times 23 \text{回} \times 1 \text{人} \times 1 \text{月} = 639,699 (584,200)$ 計 $1,384,899 (1,274,200)$ (2) 諸経費 $\frac{(1,274,200)}{1,384,899 \text{円}} \times \frac{20}{100} = 1,246,409 (1,146,780)$ (3) 技術経費 $\frac{(1,274,200)}{(1,384,899 \text{円} + 1,246,409 \text{円})} \times \frac{20}{100} = 526,262 (484,196)$ 単価合計 (1) ~ (3) $= 3,157,570 \text{円} (2,905,176)$ 2. 仕様書作成経費 (1) 仕様書作成謝金 $\frac{(3,110)}{3,260 \text{円}} \times 5 \text{種} \times 160 \text{件} \times \frac{1}{4} = 652 (622)$ (2) 仕様書謝送料 $\frac{(5,1750)}{53,510 \text{円}} \times 160 \text{件} \times \frac{1}{4} = 2,140 (2,070)$ 計 (1) + (2) $2,792 (2,692)$ 合 計 1 + 2 $15,422 (14,313)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	算 基 礎 (単位 円)	
(B) 職員旅費	1,807 1,904	1,904	0	(大阪基準 4泊5日 3等級)	
				(1) 機材検収	$(7,605円 + 16,792円) \times 58件 = 1,427 (1,427)$
				(2) 船積立金	$23,855円 \times 20件 = 477 (477)$
				計 (1) + (2)	1,904 (1,904)
(B) 庁 費	(1,975) 2,079	2,117	38	1. 交通費	
				機材検収	$(209) 230円 \times 20人 \times 4回 \times 12月 = 221 (201)$
				2. 会議費	
				機材調達打合せ	$(342) 370円 \times 10人 \times 50回 = 185 (171)$
				仕様打合せ	$(342) 370円 \times 12人 \times 10回 = 44 (41)$
				計	229 (212)
				3. 賃 金	
				臨時雇費	$(2,420) 2,510円 \times 223日 = 560 (636)$
				4. 図書購入費	
				専門書	$(4,950) 5,200円 \times 10種 = 52 (49)$
				一般書	$(988) 1,100円 \times 8種 = 9 (8)$
				計	61 (57)
				5. 備品費	
				書 庫	96 (89)

(160)

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				6. 消耗品費
				ファイル $\frac{(57)}{60 \text{ 冊}} \times 500 \text{ 枚} = 30 (29)$
				7. 印刷製本費
				機械留目リスト $\frac{(1069)}{1,150 \text{ 冊} \times 100 \text{ 部} \times 160 \text{ 件} \times \frac{1}{20}} = 920 (855)$
				合 計 1 ~ 7 2,117 (2,077)